

投資信託説明書（請求目論見書）

使用開始日 2023.11.16

NZAM 上場投信 S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数

追加型投信/国内/株式/ETF/インデックス型

本書により行うNZAM 上場投信 S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数の受益権の募集については、委託者である農林中金全共連アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引法（昭和23年法律第25号）第5条の規定により有価証券届出書を2023年11月15日に関東財務局長に提出しており、2023年11月16日にその効力が発生しております。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

本書は金融商品取引法第13条の規定に基づく目論見書です。

【発行者名】	農林中金全共連アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 牛窪 克彦
【本店の所在の場所】	東京都千代田区九段南一丁目6番5号
【縦覧に供する場所】	名称 株式会社東京証券取引所 所在地 東京都中央区日本橋兜町2番1号

《目次》

	頁
第一部 【証券情報】	1
第二部 【ファンド情報】	3
第1 【ファンドの状況】	3
第2 【管理及び運営】	24
第3 【ファンドの経理状況】	34
第4 【内国投資信託受益証券事務の概要】	93
第三部 【委託会社等の情報】	94
第1 【委託会社等の概況】	94

約款

本書は、投資家の請求により交付される投資信託説明書（請求目論見書）です。本書を請求された場合には、投資信託説明書（交付目論見書）に加え、本書の内容をご確認のうえで注文いただきますようお願いいたします。

第一部【証券情報】

(1) 【ファンドの名称】

NZAM 上場投信 S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数
(以下「ファンド」という場合があります。)

(2) 【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託 (振替内国投資信託受益権)

ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律 (以下「社振法」といいます。) の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述の「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関及び当該振替機関の下位の口座管理機関 (社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。) の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります (以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。)。委託者である農林中金全共連アセットマネジメント株式会社は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社の依頼により、信用格付業者 (金融商品取引法第2条第36項に規定する信用格付業者をいう。以下同じ。) から提供され、若しくは閲覧に供された信用格付 (金融商品取引法第2条第34項に規定する信用格付をいう。以下同じ。) 又は信用格付業者から提供され、若しくは閲覧に供される予定の信用格付はありません。

(3) 【発行 (売出) 価額の総額】

10兆円を上限とします。

(4) 【発行 (売出) 価格】

100口当たり取得申込受付日の基準価額[※]とします。

原則として、取得申込みが正午までに行われたものを当該取得申込受付日の受付分とします。

※ 基準価額とは、投資信託財産の純資産総額を計算日における受益権総口数で除した額をいいます。なお、ファンドにおいては100口当たりの価額で表示されます。

基準価額は、原則として委託者の営業日において日々算出され、委託者 (下記参照) または販売会社 (注) に問い合わせることにより知ることができます。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口

<フリーダイヤル>0120-439-244 (営業日の午前9時から午後5時まで)

<ホームページアドレス><https://www.ja-asset.co.jp/>

(注) 委託者の指定する第一種金融商品取引業者を「販売会社」ということがあります。(以下同じ。)

(5) 【申込手数料】

販売会社は、当該販売会社が個別に定める申込手数料ならびに当該申込手数料に係る消費税および地方消費税 (以下「消費税等」といいます。) に相当する金額を取得申込者から徴収することができるものとします。

詳しくは、委託者 (下記参照) または販売会社にお問い合わせください。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口

<フリーダイヤル>0120-439-244 (営業日の午前9時から午後5時まで)

<ホームページアドレス><https://www.ja-asset.co.jp/>

(6) 【申込単位】

1ユニット[※]以上1ユニット単位

※ 「ユニット」とは、「対象株価指数」を構成する各銘柄の株式の数の構成比率に相当する比率により構成される各銘柄の株式として委託者が指定するもの（対象株価指数に連動すると委託者が想定する、1単位の現物株式のポートフォリオ）に相当する口数の受益権をいいます。

1ユニットの受益権の口数は、1口の整数倍とし、取得申込受付日に委託者が定めます。

取得申込受付日の3営業日前までに、申込ユニット数に応じた現物株式のポートフォリオを販売会社に提示します。

(7) 【申込期間】

2023年11月16日から2024年5月15日までとします。（継続申込期間）

※ 上記期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。

原則として、次に該当する場合は、受益権の取得申込の受付を停止します。ただし、委託者は、投資信託財産の状況、資金動向、市況動向等を鑑み、投資信託財産に及ぼす影響が軽微である等と判断される場合には、受益権の取得申込みの受け付けを行うことがあります。

1. 対象株価指数の構成銘柄の配当落日および権利落日の各々前営業日から起算して2営業日以内
2. 対象株価指数の銘柄変更実施日および銘柄株数変更実施日の各々前々営業日から起算して3営業日以内
3. 対象株価指数の構成銘柄の株式移転および合併等に伴う新規銘柄の対象株価指数への採用日ならびに存続銘柄の指数用株式数変更日の前営業日
4. 計算期間終了日の3営業日前から起算して4営業日以内（ただし、計算期間終了日が休業日の場合は、当該計算期間終了日の4営業日前から起算して4営業日以内）
5. この信託が終了となる場合において、償還日の直前5営業日間
6. 上記1. から上記5. のほか、委託者が、運用の基本方針に沿った運用に支障をきたすおそれがあると判断した場合その他やむを得ない事情があると認めた場合

(8) 【申込取扱場所】

当ファンドの申込取扱場所（販売会社）については下記の照会先までお問い合わせください。

■照会先

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口 <フリーダイヤル>0120-439-244（営業日の午前9時から午後5時まで） <ホームページアドレス> https://www.ja-asset.co.jp/

(9) 【払込期日】

受益権の取得申込者は、取得申込みにかかる発行価額に相当する有価証券および金銭を、販売会社が指定する日までに販売会社が指定する方法で払込みます。取得申込みにかかる株式等については、販売会社によって、追加信託が行われる日に、受託者の指定するファンド口座に移管されます。金銭については、販売会社によって、追加信託が行われる日に、委託者の指定する口座を経由して、受託者の指定するファンド口座に払い込まれます。

(10) 【払込取扱場所】

上記「(9) 払込期日」に記載の払込みは、販売会社において行うものとします。販売会社については、上記(8)に同じです。

(11) 【振替機関に関する事項】

ファンドの受益権に係る振替機関は下記の通りです。
株式会社 証券保管振替機構

(12) 【その他】

該当事項ありません。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(1)【ファンドの目的及び基本的性格】

当ファンドは、投資信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」（以下「対象株価指数」といいます。）の変動率に一致させることを目的とします。

一般社団法人 投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類は以下の通りです。

商品分類：追加型投信/国内/株式/ETF/インデックス型

属性区分：株式（一般）/年2回/日本/その他（S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数）

○商品分類および属性区分 一覧表

（当ファンドが該当する部分を網掛け表示しています。定義などの詳細については、一般社団法人 投資信託協会のホームページ<<https://www.toushin.or.jp/>>をご覧ください。）

商品分類表

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	独立区分	補足分類
単位型投信 追加型投信	国内 海外 内外	株式 債券 不動産投信 その他資産 () 資産複合	MMF MRF ETF	インデックス型 特殊型

商品分類定義

追加型投信	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいう。
国内	目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
株式	目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいう。
ETF	投資信託及び投資法人に関する法律施行令（平成12年政令480号）第12条第1号及び第2号に規定する証券投資信託並びに租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第9条の4の2に規定する上場証券投資信託をいう。
インデックス型	目論見書又は投資信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいう。

属性区分表

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	対象インデックス
株式 一般 大型株 中小型株 債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 () 不動産投信 その他資産 () 資産複合 () 資産配分固定型 資産配分変更型	年1回 年2回 年4回 年6回 (隔月) 年12回 (毎月) 日々 その他 ()	グローバル 日本 北米 欧州 アジア オセアニア 中南米 アフリカ 中近東 (中東) エマージング	日経225 TOPIX その他 (S&P/JPX カーボン・エフィシ エント指数)

属性区分定義

株式（一般）	大型株、中小型株属性にあてはまらない全てのものをいう。
年2回	目論見書又は投資信託約款において、年2回決算する旨の記載があるものをいう。
日本	目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
S&P/JPX カーボン・エフィ シエント指数	目論見書又は投資信託約款において、S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数に連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいう。

<信託金の限度額>

委託者は、受託者と合意のうえ、金10兆円に相当する有価証券および金銭を限度として追加信託することができます。

委託者は、受託者と合意のうえ、上記の限度額を変更することができます。（信託の目的、金額および信託金の限度額（約款第3条））

<ファンドの特色>

ファンドの目的

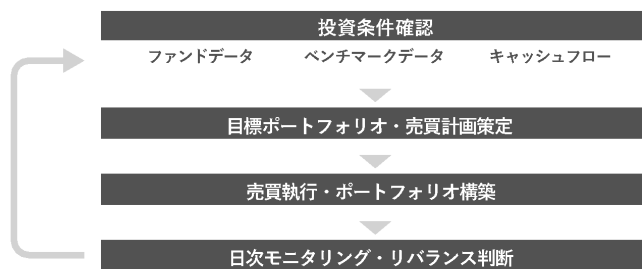
この投資信託は、投資信託財産の一口当たりの純資産額の変動率をS&P/JPXカーボン・エフィシエント指数の変動率に一致させることを目的とします。

ファンドの特色

S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数の動きに連動する投資成果をめざし、S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数に採用されている銘柄（採用予定を含みます。）の株式を主要投資対象とします。

上記のファンドの目的に沿うよう、投資信託財産の構成を調整するための指図を行うこと（有価証券指数等先物取引等を利用することを含みます。）があります。

<運用プロセスのイメージ図>



※上記プロセスは変更となる場合があります。

S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数

- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数は、東証株価指数（TOPIX）をユニバースとして、同じ産業グループ内で環境情報の開示を十分に行っている企業や炭素効率性の高い（売上高当たりの炭素排出量が少ない）企業のウェイトを引き上げるなどの調整を行うことで、構成銘柄のウェイトを決定する指数です。市場全体の環境に対する取り組み、情報開示を促すことを目指しています。
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数は、基準日を2009年3月20日、基準値を100ポイント（基準時の対象時価総額）として、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスおよびJPX総研が算出・公表しております。

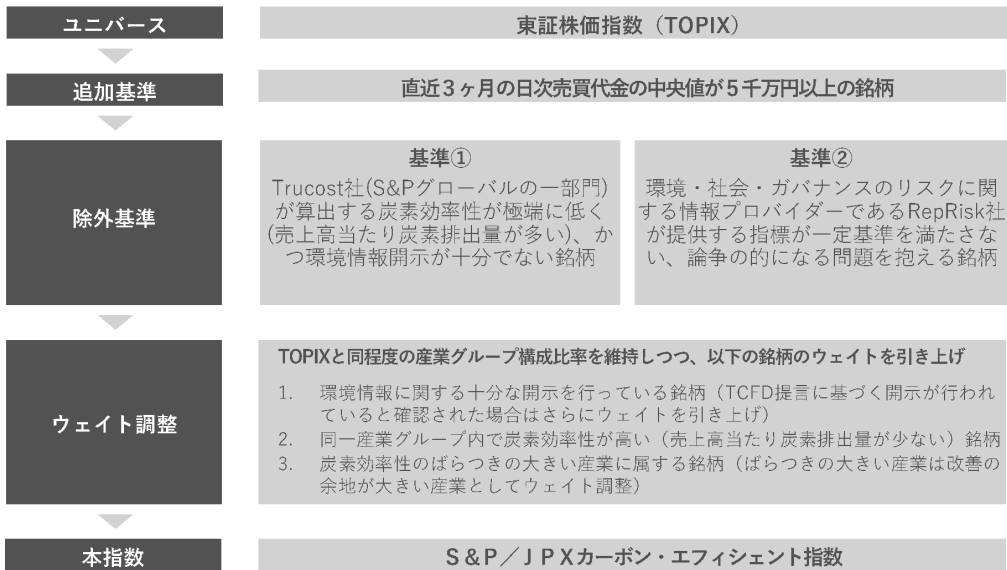
S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数の著作権等について

「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」（以下「当指数」）は、S&P Dow Jones Indices LLC（以下「SPDJI」）、株式会社日本取引所グループ（以下「JPX」）および株式会社JPX総研（以下、「JPX総研」）の商品であり、これを利用するライセンスが農林中金全共連アセットマネジメント株式会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®はStandard & Poor's Financial Services LLC（以下「S&P」）の登録商標で、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC（以下「Dow Jones」）の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが農林中金全共連アセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。JPX®はJPXの登録商標であり、これを利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが農林中金全共連アセットマネジメント株式会社に付与されています。TOPIXの指数値及びTOPIXの商標は、JPX総研の知的財産であり、株価指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXの商標に関するすべての権利はJPX総研が有します。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはもしくはそれぞれの関連会社、JPXまたはJPX総研によって支援、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

S & P / J P Xカーボン・エフィシエント指数をベンチマークとして選定した理由

東証株価指数（TOPIX）とのトラッキングエラーを低く抑えつつ、ユニバースと比較して指数全体の炭素効率性を高められることから、ファンドのベンチマークとして選定しました。

当指数の構築プロセス



・年に一度、6月にリバランス（構成銘柄やウェイトの変更）が行われます。

・指数構築プロセスの詳細は

SPDJウェブサイト <https://www.spglobal.com/spdji/jp/indices/esg/sp-jpx-carbon-efficient-index/#overview>

JPXウェブサイト <https://www.jpx.co.jp/markets/indices/carbon-efficient/index.html> をご覧ください。

当指数の特色

炭素効率性

・本指数は、親指数であるTOPIX対比で、**炭素効率性が約30%高い**です(売上高当たりの炭素排出量が約30%少ない)[※]。

※ 2023年6月時点

※ 炭素効率性(炭素排出量(tCO2e)/売上高(USDmillion))

・詳細は、SPDJウェブサイト>概要>ドキュメント>追加情報>親指数との炭素効率性比較をご覧ください。

構成銘柄情報

・本指数の透明性は高く、構成銘柄情報（環境情報の十分な開示の有無、炭素効率性の十分位）の詳細は、SPDJウェブサイト>概要>ドキュメント>追加情報>構成銘柄および炭素効率性情報 からご確認いただけます。

委託会社の全社スチュワードシップ方針

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社は、お客様の中長期的な利益に貢献するには、投資先の持続的成長や、投資先の事業活動を支える持続可能な環境社会の構築に貢献することが重要であると認識しており、原則として受託財産に係る全ての運用資産において、ESG要素を勘案したスチュワードシップ活動を行う方針です。詳細は、「ESGステートメント」「スチュワードシップポリシー」をご覧ください。

(<https://www.ja-asset.co.jp/company/pri/index.html>)

当ファンドは、以下の点で、通常の投資信託とは異なる仕組みを有しています。

1 受益権が上場されます

受益権を東京証券取引所に上場しており、取引時間中であればいつでも株式と同様に売買することができます。

- ・売買単位は、10口です。
 - ・売買手数料は、販売会社が個別に定めます。
 - ・取引方法は、原則として株式と同様です。
- ※詳しくは、販売会社へお問い合わせください。

2 取得申込みは有価証券により行われます

受益権の取得申込者は、取得時の「ユニット」を単位として、有価証券による取得申込みを行うことができます。

※「ユニット」とは、受益権取得時に適用される現物株式のポートフォリオで、対象株価指数に連動すると委託会社が想定するもので、委託会社が指定します。

原則として、所定の方法に定められている場合を除き、金銭によって受益権の取得申込みを行うことはできません。

3 受益権と引き換えに有価証券を交付（交換）します

一定口数以上の受益権を保有する受益者は、それに相当する投資信託財産中の有価証券との交換を請求することができます。

通常の投資信託における換金手続きの解約申込みにより、受益権を換金することはできません。

主な投資制限

- 株式への投資割合には、制限を設けません。
- 外貨建資産への投資は、行いません。

分配方針

毎計算期間末（毎年2月、8月の各15日）に、経費等控除後の配当等収益（配当金、貸付有価証券に係る品貸料およびこれらに類する収益から支払利息を控除した額をいいます。以下同じ。）の全額を分配することを原則とします。ただし、分配金が零となる場合もあります。

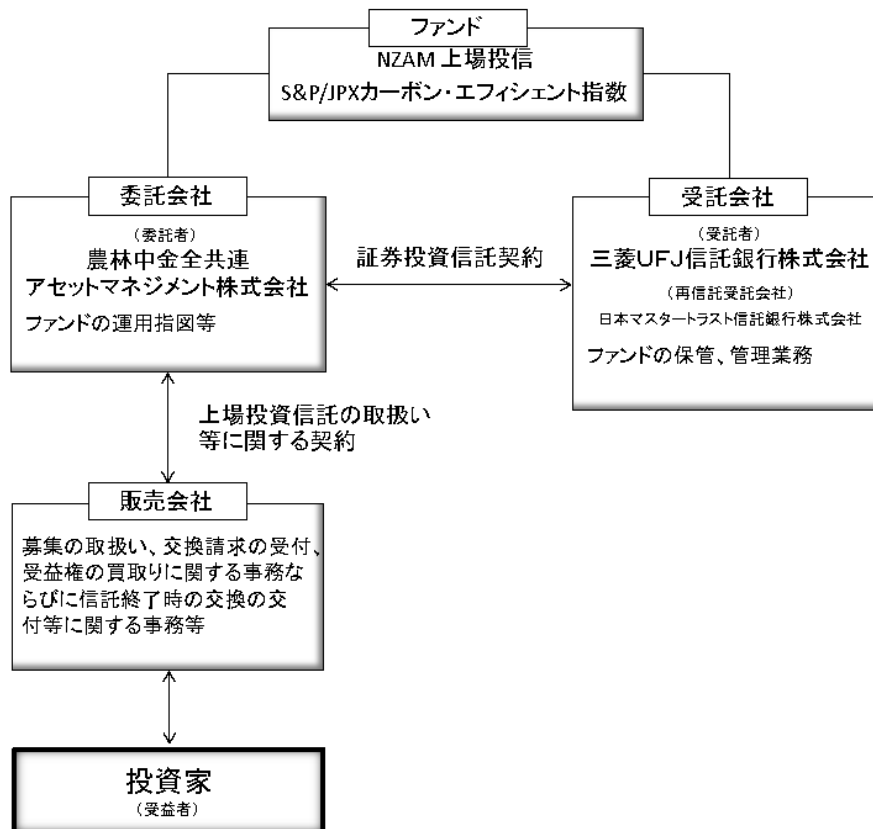
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

- 市況動向や資産規模などによっては、上記の運用が行えないことがあります。

(2) 【ファンドの沿革】

- 2020年8月24日 有価証券届出書の提出
- 2020年9月10日 信託契約締結日、ファンドの設定、運用開始日
- 2020年9月11日 受益権を東京証券取引所に上場

(3) 【ファンドの仕組み】



委託者（委託会社）の概況（2023年8月31日現在）

① 資本金の額

1,466百万円

② 沿革

1993年9月28日 農中投信株式会社設立

10月8日 証券投資信託委託業の免許取得

10月13日 営業開始

1996年8月20日 投資顧問業務の登録

9月30日 投資一任業務認可取得

10月1日 エヌケイユー投資顧問株式会社と合併し、同日付で「農中投信投資顧問株式会社」へ商号変更

2000年10月1日 「農林中金全共連アセットマネジメント株式会社」へ商号変更

2007年9月30日 金融商品取引業の登録

③ 大株主の状況

株主名	住所	持株数 (株)	持株比率 (%)
農林中央金庫	東京都千代田区大手町1丁目2番1号	19,551	66.66
全国共済農業協同組合連合会	東京都千代田区平河町2丁目7番9号	9,779	33.34

(注) 農林中央金庫が保有する株式は普通株式19,550株および議決権を有しないA種優先株式1株であり、全国共済農業協同組合連合会が保有する株式は普通株式9,778株および議決権を有しないB種優先株式1株です。

なお、議決権保有比率の状況は次のとおりです。

農林中央金庫 66.66%

全国共済農業協同組合連合会 33.34%

2【投資方針】

(1)【投資方針】

運用の基本方針（約款第19条）※

委託者は、投資信託財産の運用にあたっては、次に掲げる運用の基本方針に従って、その指図を行います。

1. この信託は、投資信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を対象株価指数の変動率に一致させることを目的として、対象株価指数に採用されている銘柄（採用予定を含みます。）の株式を組入れることを原則とします。
2. 上記1.の基本方針に沿うよう、投資信託財産の構成を調整するための指図を行うこと（有価証券指数等先物取引等を利用することを含みます。）があります。
3. 市況動向や資産規模などによっては、上記の運用が行えないことがあります。
4. 投資信託財産の効率的な運用に資するため、投資信託財産に属する株式の貸付けを行うことができるものとします。

※ 「約款第〇条」とは、信託約款の条項等と対応しております。（以下同じ。）

(2)【投資対象】

a. 投資の対象とする資産の種類（約款第17条）

この信託において投資の対象とする資産（本邦通貨表示のものに限ります。）の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）
 - イ. 有価証券
 - ロ. デリバティブ取引に係る権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、約款第23条に定めるものに限ります。）
 - ハ. 金銭債権
 - ニ. 約束手形
2. 次に掲げる特定資産以外の資産
 - イ. 為替手形

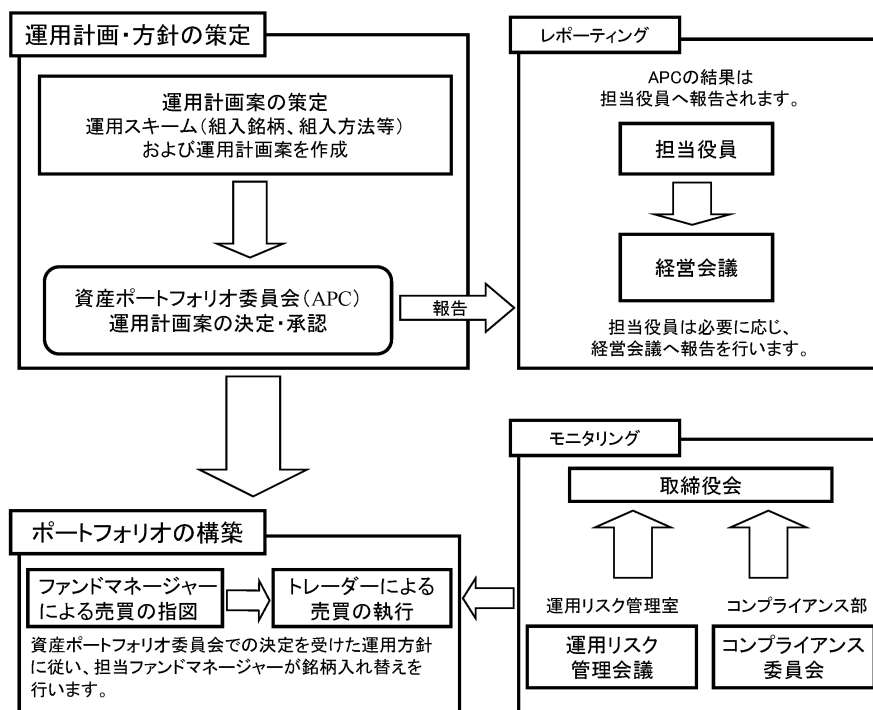
b. 運用の指図範囲（約款第18条）

- ① 委託者は、投資信託財産を、主として次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。
 1. 株式
 2. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
- ② 委託者は、投資信託財産を、上記①に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。
 1. 預金
 2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
 3. コール・ローン
 4. 手形割引市場において売買される手形

(3)【運用体制】

1. 運用体制

当ファンドは、以下の投資プロセスに基づいた組織的運用を行います。



<資産ポートフォリオ委員会（APC）>

原則月1回以上開催し、ファンドの運用計画を決定（承認）します。

2. ファンドの運用に携わる人員等

部署	人員
運用部	100名程度 (うち 投資判断に携わる者 80名程度)
トレーディング部	10名程度
コンプライアンス部	10名程度
運用リスク管理室	5名程度

3. ファンドの関係者に対する管理体制等

委託者は、ファンドの関係法人である受託会社について、その財務状況、管理体制、法令遵守体制等について定期的にモニタリングを行うとともに、必要に応じ適宜ヒアリング等を実施します。

※ 運用体制は、本書提出日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

(4) 【分配方針】

a. 収益分配方針（約款第20条）

- ① 毎計算期末（原則として2月、8月の各15日。）に、経費等控除後の配当等収益（配当金、貸付有価証券に係る品貸料およびこれらに類する収益から支払利息を控除した額をいいます。以下同じ。）の全額を分配することを原則とします。ただし、分配金が零となる場合もあります。
- ② 売買益（評価益を含みます。）からの分配は行いません。
- ③ 収益の分配にあてなかった利益については、約款第19条の規定に基づいて運用を行います。

b. 収益の分配（約款第35条）

- ① 投資信託財産から生じる配当等収益と前期から繰り越した分配準備積立金は、約款第33条各号の諸費用、信託報酬および当該信託報酬に係る消費税等に相当する金額を控除し、前期から繰り越した負数の分配準備積立金があるときはその全額を補てんした後、その残額を受益者に分配することができます。ただし、収益分配金額の調整のためその一部または全部を投資信託

財産内に留保したときは分配準備積立金として積み立て、次期以降の分配にあてることができます。なお、諸費用、信託報酬等および負数の分配準備積立金を控除しきれないときは、その差額を負数の分配準備積立金として次期に繰り越します。

- ② 毎計算期末に投資信託財産から生じた次の1. に掲げる利益の合計額は、次の2. に掲げる損失を控除し、繰越欠損金があるときは、その全額を補てんした後、次期に繰越します。
1. 有価証券売買益（評価益を含みます。）、先物取引等取引益（評価益を含みます。）、追加信託差益金、交換（解約）差益金
 2. 有価証券売買損（評価損を含みます。）、先物取引等取引損（評価損を含みます。）、追加信託差損金、交換（解約）差損金

（5）【投資制限】

a. 株式への投資制限（約款第19条）

株式への投資割合には、制限を設けません。

b. 投資する株式等の範囲（約款第22条）

- ① 委託者が投資することを指図する株式は、金融商品取引所（金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号ロに規定する外国金融商品市場をいいます。以下同じ。）に上場されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当により取得する株式等については、この限りではありません。
- ② 第1項の規定にかかわらず、上場予定の株式で目論見書等において上場されることが確認できるものについては、委託者が投資することを指図することができるものとします。

c. 外貨建資産への投資制限（約款第19条）

外貨建資産への投資は、行いません。

d. 先物取引等の運用指図（約款第23条）

委託者は、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めて取り扱うものとします。

e. デリバティブ取引等に係る投資制限（約款第19条）

デリバティブ取引等については、一般社団法人投資信託協会の規則に定める合理的な方法により算出した額が、投資信託財産の純資産総額を超えないものとします。

f. 株式の貸付けの指図および範囲（約款第24条）

- ① 委託者は、投資信託財産の効率的な運用に資するため、投資信託財産に属する株式を貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、投資信託財産で保有する株式の時価合計額を超えない範囲内で貸付けることの指図をすることができるものとします。
- ② 上記①に定める限度額を超えることとなった場合には、委託者は、すみやかにその超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- ③ 委託者は、株式の貸付けにあたって必要と認めるときは、担保の受入れの指図を行うものとします。

g. 株式売却等の指図（約款第27条）

委託者は、投資信託財産に属する株式の売却等の指図ができます。

h. 再投資の指図（約款第28条）

委託者は、前条（上記g.）の規定による売却代金、株式の清算分配金、株式の配当金およびその他の収入金を再投資することの指図ができます。

i. 信用リスク集中回避のための投資制限（約款第19条）

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、同規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

j. **デリバティブ取引に係る制限**（金融商品取引法第42条の2第7号、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号）

委託者は、運用財産に関し、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額としてあらかじめ金融商品取引業者等が定めた合理的な方法により算出した額が当該運用財産の純資産額を超えることとなる場合において、デリバティブ取引（新株予約権証券、新投資口予約権証券又はオプションを表示する証券若しくは証書に係る取引及び選択権付債券売買を含む。）を行い、又は継続することを内容とした運用を行わないものとなっております。

k. **同一の法人の発行する株式**（投資信託及び投資法人に関する法律第9条及び同法施行規則第20条）

委託者は、同一の法人の発行する株式を、その運用の指図を行うすべての委託者指図型投資信託につき、投資信託財産として有する当該株式に係る議決権（株主総会において決議をすることができる事項の全部につき議決権を行使することができない株式についての議決権を除き、会社法（平成17年法律第86号）第879条第3項の規定により議決権を有するものとみなされる株式についての議決権を含む。）の総数が、当該株式に係る議決権の総数に100分の50の率を乗じて得た数を超えることとなる場合においては、投資信託財産をもって取得することを受託者に指図しないこととなっております。

3【投資リスク】

(1) 投資リスク

当ファンドの取得申込者には、慎重に投資判断を行うために、当ファンドの投資目的、リスクおよび留意事項を認識することが求められます。当ファンドは、株式など値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、受益者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。また、投資信託は、預貯金と異なります。

当ファンドが有する主なリスクは以下のとおりです。

① 株価変動リスク

一般に、株式は国内外の景気、政治、経済、社会情勢等の影響を受け、また、個別企業の業績や株式市場全体の動向を反映して価格が大きく変動します。

ファンドに組入れている株式の価格が下落した場合には、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、ファンドが投資する企業が業績悪化や倒産等に陥った場合は、その企業の株式の価格が大きく下落しあるいは無価値となるため、ファンドに重大な損失が生じることがあります。

② 乖離リスク

当ファンドは、対象株価指数との連動性をより高めるよう運用を行いますが、主として次の要因により対象株価指数の動きと乖離が生じます。

イ. 対象株価指数の構成銘柄異動、その他一部の交換の場合等によってポートフォリオの調整が行われる場合、個別銘柄の売買などにあたりマーケット・インパクトを受ける可能性があること、また、売買手数料などの取引費用を負担すること

ロ. 追加設定の一部が金銭にて行われた場合、および組入銘柄の配当金や権利処理等によって信託財産に現金が発生すること

ハ. 対象銘柄の売買価格と評価価格に価格差が生じる場合があること

ニ. 個別銘柄の組入比率を同指数構成銘柄の時価総額構成比率と全くの同一の比率とすることができないこと

ホ. 先物取引を利用した場合、先物価格と対象株価指数との間に価格差があること

ヘ. 信託報酬等のコスト負担があること

※ 対象株価指数と基準価額の乖離要因は上記に限定されるものではありません。

③ 流動性リスク

市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合、有価証券等を売買する際に市場実勢から期待される価格で売買できず、不測の損失を被るリスクがあります。

④ 有価証券の貸し付けにおけるリスク

有価証券の貸付等において、取引の相手方の倒産等により契約が不履行になるリスクがあります。この場合、貸し付けた有価証券が返還されず、不測の損失を被る可能性があります。

(2) その他の留意事項

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 資金動向、市況動向等によっては、また、不慮の出来事等が起きた場合には、投資方針に沿った運用ができない場合があります。
- ファンドが組み入れる有価証券の発行体において、利払いや償還金の支払いが滞る可能性があります。
- ファンドの市場価格は、取引所における競争売買を通じ、需給を反映して決まります。したがって、市場価格は基準価額とは必ずしも一致するものではありません。

(3) 投資リスクに対する管理体制

① フロントにおけるリスク管理体制

フロント部門（運用部）では、担当ファンドマネージャーが、リスクモデルによるトラッキング・エラー（市場全体の動きとファンドが乖離するリスク）の水準を管理しています。また、日々のトラッキング・エラー管理（ポジションリスク管理およびパフォーマンス管理等）を行い、資産ポートフォリオ委員会で決められた方針の範囲内となるよう、管理を行うとともに、直属管理者が状況をモニタリングしています。

② ミドルにおけるリスク管理体制

ミドル部門（運用リスク管理室）は、ファンド運用状況の日々のモニタリングや定期的なフィードバックを行いフロント部門を牽制することにより、受益者の負託に応える適正な運用プロセスを構築しています。

具体的には、信託財産の運用者として、適切なファンドの運用責任を果たす観点から、市場リスクをはじめとする各種運用リスクとパフォーマンスの計測・管理、および組織的に決定された運用計画に従って運用されるよう管理を行うほか、運用リスク管理会議を開催してこれらの管理状況を検証・報告しています。また、不正な取引から顧客の利益を保護し、ファンド運用の適正性を確保する観点から、ファンドが法令等のルールに従って運用されるよう、日常的な管理を行うほか、コンプライアンス委員会においてこれらの遵守状況を報告・審議しています。

[運用リスク管理会議]

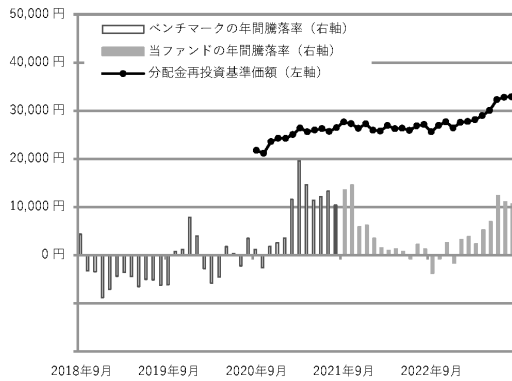
原則として月1回開催し、運用リスクや運用パフォーマンスの状況ならびに、コンプライアンス委員会において報告される事項を除く、法令、協会ルール、信託約款、契約細則等の遵守状況の検証および、運用計画と実績の検証結果について報告・審議を行います。その結果は取締役会に報告されます。

[コンプライアンス委員会]

原則として年4回開催し、ファンドの法令等（法令、協会ルール、信託約款等）の遵守状況など運用の適切性確保に関することについて報告・審議を行います。その結果は取締役会に報告されます。

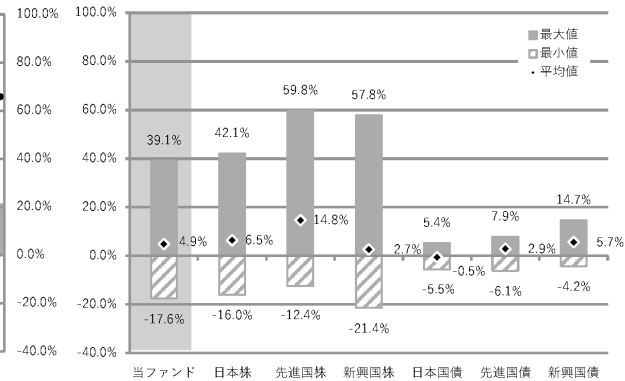
※ 投資リスクに対する管理体制は、本書提出日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

当ファンドの年間騰落率及び
分配金再投資基準価額の推移



- * 2018年9月～2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率及び分配金再投資基準価額の推移について表示したものです。
なお、2021年8月までは、ベンチマークの騰落率を表示しております。
- * 当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額が記載されていますので、実際の基準価額とは異なる場合があります。

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの
騰落率の比較



- * 2018年9月～2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び代表的な資産クラスについて表示し、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。
なお、2021年8月までの年間騰落率については、当ファンドのベンチマークを用いて算出しております。
- * すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- * 各資産クラスの指数
日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (税引前配当込み、円ベース)
新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (円換算ベース)
日本国債：NOMURA-BPI 国債
先進国債：FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
新興国債：FTSE 新興国市場国債インデックス(円ベース)
(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

- 東証株価指数 (TOPIX) の指数値及び同指数に係る標章又は商標は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」といいます。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び同指数に係る標章又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、同指数の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P X により提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても J P X は責任を負いません。
- 「NOMURA-BPI 国債」は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は同社に帰属します。なお、同社は、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
- 「MSCI コクサイ・インデックス」、「MSCI エマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権及びその他知的財産権はすべて MSCI Inc. に帰属します。
- 「FTSE 世界国債インデックス (除く日本)」、「FTSE 新興国市場国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。
同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

4【手数料等及び税金】

(1)【申込手数料】

販売会社は、当該販売会社が個別に定める申込手数料ならびに当該申込手数料に係る消費税等に相当する金額を取得申込者から徴収することができるものとします。

詳しくは、委託者（下記参照）または販売会社にお問い合わせください。

農林中金全連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口
<フリーダイヤル>0120-439-244（営業日の午前9時から午後5時まで）
<ホームページアドレス><https://www.ja-asset.co.jp/>

申込手数料は、商品および投資環境の説明や情報提供、ならびに事務手続き等に係る費用の対価として、販売会社に支払われます。

(2)【換金（解約）手数料】

① 交換手数料

販売会社は、受益権の交換または買取りに際して、当該販売会社が個別に定める手数料ならびに当該手数料に係る消費税等に相当する金額を受益者から徴収することができるものとします。

詳しくは、委託者（下記参照）または販売会社にお問い合わせください。

農林中金全連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口
<フリーダイヤル>0120-439-244（営業日の午前9時から午後5時まで）
<ホームページアドレス><https://www.ja-asset.co.jp/>

交換手数料は、ファンドの交換等に関する事務手続き等に係る費用の対価として、販売会社に支払われます。

② 信託財産留保額 ありません。

(3)【信託報酬等】

信託報酬等の額および支弁の方法

① 委託者および受託者の信託報酬（消費税等に相当する金額を含みます。）の総額は、計算期間を通じて毎日、次の1. の額に2. の額を加算して得た額とします。

1. 投資信託財産の純資産総額に年率0.132%（税抜0.12%）以内の率を乗じて得た額とします。

なお、委託者と受託者の配分については下記のとおり（税抜）とします。
(年率)

委託者	受託者	合計
0.092%	0.028%	0.12%

2. 投資信託財産に属する株式の貸付に係る品貸料（貸付株式から発生する配当金相当額等を含まないものとします。）に55%（税抜50%）以内の率を乗じて得た額。

ただし、株式の貸付けにあたって担保として現金を受け入れた場合には、当該品貸料に、当該現金の運用により生じたとみなし得る収益を加算し、貸付けの相手方に支払う当該現金に対する利息額を控除して得た額（当該額が負数のときは零とします。）に55%（税抜50%）以内の率を乗じて得た額とします。

なお、委託者と受託者の配分は4：1とします。

※ 信託報酬の委託者への配分は、ファンドの運用と調査、受託会社への指図、目論見書など法定書面等の作成、基準価額の算出等への対価です。

※ 信託報酬の受託者への配分は、運用財産の管理、委託者からの指図の実行への対価です。

- ② 信託報酬は、毎計算期末または信託終了のとき投資信託財産中から支弁するものとします。

(4) 【その他の手数料等】

- ① 投資信託財産の組入有価証券を売買する際に発生する売買委託手数料、当該売買委託手数料に係る消費税等に相当する金額および先物取引・オプション取引等に要する費用は、投資信託財産中から支弁します。
- ② 投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託者の立て替えた立替金の利息および投資信託財産に係る監査費用（消費税等に相当する金額を含みます。）は、受益者の負担とし、投資信託財産中より支弁します。監査費用は、毎計算期末または信託終了のときに投資信託財産中から支弁します。なお、受益権の上場に係る費用^{※1}および対象株価指数の商標（これに類する商標を含みます。）の使用料^{※2}ならびにこれらに係る消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、投資信託財産中から支弁することができます。
- ※1 本書提出日現在、受益権の上場に係る費用は以下のとおりです。
- ・新規上場料および追加上場料：新規上場時の純資産総額に対して、および追加上場時の増加額（毎年末の純資産総額について、新規上場時および新規上場した年から前年までの各年末の純資産総額のうち最大のものからの増加額）に対して、0.00825%（税抜0.0075%）。
 - ・年間上場料：毎年末の純資産総額に対して、最大0.00825%（税抜0.0075%）。
 - ・上記のほか、新規上場に際して、上場審査料がかかります。
- ※2 本書提出日現在、商標使用料は投資信託財産の純資産総額に、年0.015%以内の率を乗じて得た額。（ただし年間最低額は150万円）
- ③ その他の手数料等については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

(1) から (4) の手数料等の合計額については、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

(5) 【課税上の取扱い】

課税上は特定株式投資信託として取り扱われます。

① 個人の受益者に対する課税

○受益権の売却時

売却時の差益（譲渡益）については、申告分離課税により税率20.315%（所得税15.315%[※]、地方税5%）が適用されます。（源泉徴収ありの特定口座は、原則として確定申告不要です。）

○収益分配金の受取時

収益分配金については、税率20.315%（所得税15.315%[※]、地方税5%）が適用されます。（原則として確定申告不要です。）

確定申告を行い、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用があります。）を選択することもできます。

○受益権と現物株式との交換時

受益権と現物株式との交換についても受益権の譲渡として、上記「受益権の売却時」と同様の取扱いとなります。

※ 2013年1月1日から2037年12月31日までの間、所得税の税率には復興特別所得税（0.315%）が含まれます。

○損益通算について

売却時および交換時の損失（譲渡損）については、確定申告により上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。）ならびに特定公社債等（公募公

社債投資信託を含みます。)の利子所得等および譲渡所得等との損益通算が可能です。

○少額投資非課税制度「愛称：NISA(ニーサ)」をご利用の場合

公募株式投資信託は税制上、少額投資非課税制度の適用対象であり、2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合にNISAの適用対象となります。

NISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となりますが、2024年1月1日以降は、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が無期限で非課税となります。

ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。また、2024年1月1日以降は、税制上の要件を満たした商品を購入した場合に限り、非課税の適用を受けることができます。

当ファンドは、2024年1月1日以降のNISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象となる予定ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。なお、分配金の受取方法によっては非課税とならない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

② 法人の受益者に対する課税

○受益権の売却時

通常の株式の売却時と同様に、受益権の取得価額と売却価額との差額について、他の法人所得と合算して課税されます。

○収益分配金の受取時

収益分配金については、税率15.315% (所得税15.315%※、地方税の源泉徴収はありません。)が適用されます。益金不算入制度の適用があります。なお、税額控除が適用されます。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

○受益権と現物株式との交換時

受益権と現物株式との交換についても受益権の譲渡として、上記「受益権の売却時」と同様の取扱いとなります。

※ 2013年1月1日から2037年12月31日までの間、所得税の税率には復興特別所得税(0.315%)が含まれません。

(注意)

- 税制が改正された場合等には、上記の内容(2023年8月31日現在)が変更となることがあります。詳しくは、販売会社、税務署等へお問い合わせください。
- 課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

2023年 8月31日現在の運用状況は、以下のとおりです。

表示単位未満の端数が生じる場合には、金額は各々切り捨て、比率は各々四捨五入により記載しております。したがって、表示の合計値が個別数値と一致しない場合もあります。

なお、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

(1)【投資状況】

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	日本	33,506,105,220	97.43
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	883,283,071	2.57
合計(純資産総額)		34,389,388,291	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	日本	838,980,000	2.44

(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

(2) 【投資資産】

① 【投資有価証券の主要銘柄】

イ. 評価額上位銘柄明細

順位	国/地域	種類	銘柄名	業種	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	742,200	2,419.00	1,795,381,800	2,515.00	1,866,633,000	5.43
2	日本	株式	ソニーグループ	電気機器	91,400	12,220.00	1,116,908,000	12,145.00	1,110,053,000	3.23
3	日本	株式	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	616,600	1,121.50	691,516,900	1,163.50	717,414,100	2.09
4	日本	株式	キーエンス	電気機器	9,900	59,790.00	591,921,000	60,520.00	599,148,000	1.74
5	日本	株式	日本電信電話	情報・通信業	3,155,000	164.00	517,420,000	168.30	530,986,500	1.54
6	日本	株式	日立製作所	電気機器	54,000	9,350.00	504,900,000	9,694.00	523,476,000	1.52
7	日本	株式	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	77,500	6,401.00	496,077,500	6,681.00	517,777,500	1.51
8	日本	株式	リクルートホールディングス	サービス業	98,700	4,960.00	489,552,000	5,220.00	515,214,000	1.50
9	日本	株式	東京エレクトロン	電気機器	23,800	20,610.00	490,518,000	21,575.00	513,485,000	1.49
10	日本	株式	三菱商事	卸売業	70,700	7,170.00	506,919,000	7,196.00	508,757,200	1.48
11	日本	株式	武田薬品工業	医薬品	100,300	4,449.00	446,234,700	4,508.00	452,152,400	1.31
12	日本	株式	三井物産	卸売業	81,200	5,582.00	453,258,400	5,432.00	441,078,400	1.28
13	日本	株式	第一三共	医薬品	99,400	4,381.00	435,471,400	4,299.00	427,320,600	1.24
14	日本	株式	伊藤忠商事	卸売業	73,600	5,710.00	420,256,000	5,472.00	402,739,200	1.17
15	日本	株式	本田技研工業	輸送用機器	81,500	4,503.00	366,994,500	4,703.00	383,294,500	1.11
16	日本	株式	オリエンタルランド	サービス業	71,000	5,359.00	380,489,000	5,249.00	372,679,000	1.08
17	日本	株式	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	149,600	2,311.00	345,725,600	2,410.00	360,536,000	1.05
18	日本	株式	ソフトバンクグループ	情報・通信業	52,500	6,675.00	350,437,500	6,545.00	343,612,500	1.00
19	日本	株式	任天堂	その他製品	53,200	6,294.00	334,840,800	6,267.00	333,404,400	0.97
20	日本	株式	ダイキン工業	機械	13,100	24,680.00	323,308,000	25,225.00	330,447,500	0.96
21	日本	株式	KDDI	情報・通信業	75,400	4,233.00	319,168,200	4,325.00	326,105,000	0.95
22	日本	株式	ソフトバンク	情報・通信業	185,300	1,623.00	300,741,900	1,670.00	309,451,000	0.90
23	日本	株式	東京海上ホールディングス	保険業	95,100	3,106.00	295,380,600	3,227.00	306,887,700	0.89
24	日本	株式	HOYA	精密機器	16,700	16,265.00	271,625,500	16,155.00	269,788,500	0.78
25	日本	株式	日本たばこ産業	食料品	81,600	3,103.00	253,204,800	3,191.00	260,385,600	0.76
26	日本	株式	セブン&アイ・ホールディングス	小売業	42,400	6,116.00	259,318,400	5,981.00	253,594,400	0.74
27	日本	株式	住友商事	卸売業	78,600	2,970.50	233,481,300	2,999.00	235,721,400	0.69
28	日本	株式	デンソー	輸送用機器	22,300	9,752.00	217,469,600	9,959.00	222,085,700	0.65
29	日本	株式	小松製作所	機械	53,200	4,057.00	215,832,400	4,150.00	220,780,000	0.64
30	日本	株式	ファナック	電気機器	52,600	4,094.00	215,344,400	4,153.00	218,447,800	0.64

ロ. 種類別及び業種別の投資比率

種類	国内／外国	業種	投資比率 (%)
株式	国内	水産・農林業	0.05
		鉱業	0.30
		建設業	2.40
		食料品	3.40
		繊維製品	0.48
		パルプ・紙	0.14
		化学	6.14
		医薬品	5.00
		石油・石炭製品	0.52
		ゴム製品	0.18
		ガラス・土石製品	0.39
		鉄鋼	0.22
		非鉄金属	0.65
		金属製品	0.36
		機械	4.59
		電気機器	16.35
		輸送用機器	9.14
		精密機器	2.13
		その他製品	1.84
		電気・ガス業	1.33
		陸運業	3.27
		海運業	0.45
		空運業	0.36
		倉庫・運輸関連業	0.18
		情報・通信業	8.27
		卸売業	7.24
		小売業	4.25
		銀行業	6.40
		証券、商品先物取引業	0.79
		保険業	2.18
その他金融業	1.07		
不動産業	1.88		
サービス業	5.48		
合計			97.43

②【投資不動産物件】

該当事項はありません。

③【その他投資資産の主要なもの】

資産の種類	取引所	資産の名称	買建／ 売建	数量	通貨	帳簿価額 (円)	評価額 (円)	投資比率 (%)
株価指数先物 取引	大阪取引所	東証株価指数先物	買建	36	日本円	824,040,000	838,980,000	2.44

(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

(3)【運用実績】

①【純資産の推移】

期別	純資産総額 (円)		1口当たり純資産額 (円)		東京証券取引所 取引価格 (円)
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)	
第1計算期間末 (2021年 2月15日)	28,829,624,444	29,051,153,644	260.28	262.28	253
第2計算期間末 (2021年 8月15日)	28,740,588,478	29,028,576,438	259.47	262.07	262
第3計算期間末 (2022年 2月15日)	28,204,869,340	28,470,704,380	254.64	257.04	249.9
第4計算期間末 (2022年 8月15日)	31,660,935,623	32,045,038,983	263.77	266.97	248.5
第5計算期間末 (2023年 2月15日)	31,633,955,060	31,982,048,730	263.55	266.45	248.7
第6計算期間末 (2023年 8月15日)	33,776,315,496	34,176,762,388	303.65	307.25	303.5
2022年 8月末日	31,304,397,213	—	260.80	—	247.5
9月末日	29,563,525,102	—	246.30	—	239
10月末日	31,081,947,228	—	258.95	—	243.5
11月末日	31,959,490,613	—	266.26	—	253.9
12月末日	30,483,136,187	—	253.96	—	248.1
2023年 1月末日	31,828,944,651	—	265.17	—	250.1
2月末日	31,692,837,886	—	264.04	—	250
3月末日	32,143,085,309	—	267.79	—	252.5
4月末日	33,088,607,082	—	275.66	—	256
5月末日	34,299,156,482	—	285.75	—	262.5
6月末日	34,154,396,112	—	307.05	—	283.3
7月末日	34,681,817,111	—	311.79	—	310.4
8月末日	34,389,388,291	—	309.16	—	309

(注)計算期間末が東京証券取引所の休業日にあたる場合、東京証券取引所取引価格は直前営業日の終値を表示しています。終値がない場合には、その直近値を表示しています。

②【分配の推移】

期	計算期間	1口当たりの分配金（円）
第1計算期間末	2020年 9月10日～2021年 2月15日	2.00
第2計算期間末	2021年 2月16日～2021年 8月15日	2.60
第3計算期間末	2021年 8月16日～2022年 2月15日	2.40
第4計算期間末	2022年 2月16日～2022年 8月15日	3.20
第5計算期間末	2022年 8月16日～2023年 2月15日	2.90
第6計算期間末	2023年 2月16日～2023年 8月15日	3.60

③【収益率の推移】

期	計算期間	収益率（％）
第1計算期間末	2020年 9月10日～2021年 2月15日	23.1
第2計算期間末	2021年 2月16日～2021年 8月15日	0.7
第3計算期間末	2021年 8月16日～2022年 2月15日	△0.9
第4計算期間末	2022年 2月16日～2022年 8月15日	4.8
第5計算期間末	2022年 8月16日～2023年 2月15日	1.0
第6計算期間末	2023年 2月16日～2023年 8月15日	16.6

(注)各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落ち）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ち。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

（４）【設定及び解約の実績】

期	計算期間	設定口数（口）	解約口数（口）	発行済み口数（口）
第1計算期間末	2020年 9月10日～2021年 2月15日	110,764,600	—	110,764,600
第2計算期間末	2021年 2月16日～2021年 8月15日	—	—	110,764,600
第3計算期間末	2021年 8月16日～2022年 2月15日	—	—	110,764,600
第4計算期間末	2022年 2月16日～2022年 8月15日	9,267,700	—	120,032,300
第5計算期間末	2022年 8月16日～2023年 2月15日	—	—	120,032,300
第6計算期間末	2023年 2月16日～2023年 8月15日	—	8,797,052	111,235,248

(注)第1計算期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

(注)解約口数は交換口数を表示しております。

<参考情報>

交付目論見書の運用実績（2023年8月末現在）

2023年8月末現在

基準価額・純資産の推移



* 分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資して算出。

分配の推移

決算期／年月日	分配金
2期 2021年8月15日	260円
3期 2022年2月15日	240円
4期 2022年8月15日	320円
5期 2023年2月15日	290円
6期 2023年8月15日	360円
設定来累計	1,670円

* 分配金のデータは、100口当たり、税引前の金額です。

主要な資産の状況

組入上位銘柄

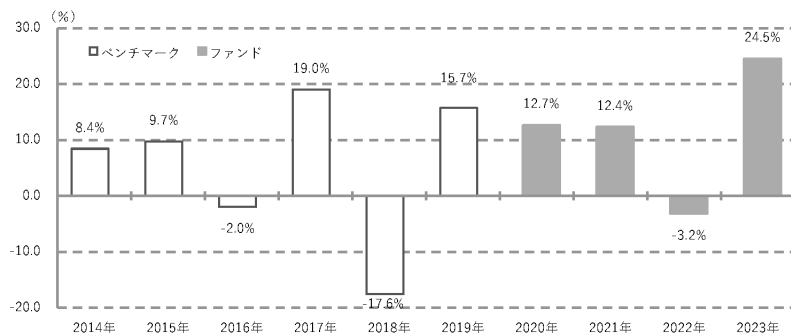
銘柄名	業種	組入比率 (%)
1 トヨタ自動車	輸送用機器	5.4
2 ソニーグループ	電気機器	3.2
3 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.1
4 キーエンス	電気機器	1.7
5 日本電信電話	情報・通信業	1.5
6 日立製作所	電気機器	1.5
7 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.5
8 リクルートホールディングス	サービス業	1.5
9 東京エレクトロン	電気機器	1.5
10 三菱商事	卸売業	1.5

組入上位業種

業種	組入比率 (%)
1 電気機器	16.4
2 輸送用機器	9.1
3 情報・通信業	8.3
4 卸売業	7.2
5 銀行業	6.4
6 化学	6.1
7 サービス業	5.5
8 医薬品	5.0
9 機械	4.6
10 小売業	4.3

* 組入比率は、ファンドの純資産総額に対する比率です。

年間収益率の推移



- ・ベンチマークは、「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」です。
- ・ファンドの収益率は、税引前分配金を再投資して算出。
- ・2019年以前は、ベンチマークの収益率を表示。
- ・2020年は設定日（9月10日）から年末までの騰落率、2023年は年初から運用実績作成基準日までの騰落率を表示。

* このグラフはあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。
 * ベンチマークはあくまで参考情報であり、ファンドの運用実績ではありません。
 * 最新の運用実績は、農林中金全共連アセットマネジメントのホームページでご確認いただけます。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

（1）申込期間

当ファンドは、原則として継続申込期間中の販売会社の営業日に受益権の募集が行われます。

※ 継続申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。

原則として、次に該当する場合は、受益権の取得申込の受付を停止します。ただし、委託者は、投資信託財産の状況、資金動向、市況動向等を鑑み、投資信託財産に及ぼす影響が軽微である等と判断される場合には、受益権の取得申込みの受け付けを行うことができます。

1. 対象株価指数の構成銘柄の配当落日および権利落日の各々前営業日から起算して2営業日以内
2. 対象株価指数の銘柄変更実施日および銘柄株数変更実施日の各々前々営業日から起算して3営業日以内
3. 対象株価指数の構成銘柄の株式移転および合併等に伴う新規銘柄の対象株価指数への採用日ならびに存続銘柄の指数用株式数変更日の前営業日
4. 計算期間終了日の3営業日前から起算して4営業日以内（ただし、計算期間終了日が休業日の場合は、当該計算期間終了日の4営業日前から起算して4営業日以内）
5. この信託が終了となる場合において、償還日の直前5営業日間
6. 上記1. から上記5. のほか、委託者が、運用の基本方針に沿った運用に支障をきたすおそれがあると判断した場合その他やむを得ない事情があると認めた場合

（2）取得申込

- ① 販売会社は、その取得申込者に対し、約款第7条第1項の規定により分割される受益権の取得の申込に応じることができるものとします。
- ② 受益権の取得申込者は、委託者が指定する一定口数の整数倍の受益権の取得を申し込むものとします。この場合、取得申込みは、対象株価指数を構成する各銘柄の株式の数の構成比率に相当する比率により構成される各銘柄の株式をもって行うものとします。ただし、当該株式の評価額が、一定口数の整数倍の受益権の評価額に満たない場合は、その差額に相当する金銭を支払うものとします。なお、一定口数は、当該銘柄によって構成される、委託者が対象株価指数に連動すると想定する1単位のポートフォリオに相当する口数とします。
- ③ 販売会社は受益権の取得申込者に対し、その申込みの当日（正午を過ぎて申込みを受領した場合は翌営業日）（約款第3条第1項の規定に係る取得については信託契約締結日とします。）を取得申込受付日として当該取得申込を受け付けます。
- ④ 取得申込者が対象株価指数の構成銘柄である株式の発行会社またはその子会社（会社法第2条第3号に規定する子会社をいい、当該発行会社またはその子会社を以下「発行会社等」といいます。）である場合には、上記②の規定にかかわらず、原則として取得申込みに係る当該発行会社の株式の個別銘柄時価総額に相当する金額を当該株式に代えて金銭をもって取得することができるものとします。この場合の個別銘柄時価総額は、上記③の基準価額の計算日における当該発行会社の株式の金融商品取引所の終値（終値のないものについてはそれに準ずる価額とします。）に第1項の取得申込に係る有価証券に含まれる当該発行会社の株数を乗じて得た金額とします。なお、委託者は、当該発行会社の株式を投資信託財産において取得するために必要な経費に相当する金額を徴することができるものとします。
- ⑤ 上記④に該当する場合には、受益権の取得申込者は、販売会社を通じてその旨を委託者に通知するものとします。この通知が取得申込の際に行われなかった場合において、そのことによって投資信託財産その他に損害が生じた場合には、販売会社がすべての責を負うものとします。
- ⑥ 上記①の取得申込者は販売会社に、取得申込と同時にまたは予め、自己のために開設されたこの信託の受益権の振替を行うための振替機関等の口座を示すものとし、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録が行われます。なお、販売会社は、当該取得申込に係る有価証券ならびに上記②ただし書きおよび上記④に規定する金銭の受渡しまたは

支払いと引き換えに、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録を行うことができます。また、約款第6条ただし書きに掲げる業務方法書に定めるところにより、取得申込みを受付けた販売会社が、当該取得申込みの受付によって生じる有価証券の委託者への受渡または支払いの債務の負担を清算機関に申し込み、これを当該清算機関が負担する場合には、振替機関等における当該清算機関の名義の口座に口数の増加の記載または記録が行われ、取得申込者が自己のために開設されたこの信託の受益権の振替を行うための振替機関等の口座における口数の増加の記載または記録は、当該清算機関と販売会社（販売会社による清算機関への債務の負担の申込みにおいて、当該販売会社の委託を受けて金融商品取引法第2条第27項に定める有価証券等清算取次ぎが行われる場合には、当該有価証券等清算取次ぎを行う金融商品取引業者または登録金融機関を含みます。）との間で振替機関等を介して行われます。

- ⑦ 上記①から上記⑥の規定にかかわらず、委託者は、金融商品取引所における取引の停止、決済機能の停止、運用の基本方針に沿った運用に支障をきたすおそれがあると判断した場合、その他やむを得ない事情があるときは、受益権の取得の申込を中止すること、および既に受け付けた取得の申込の受付を取り消すことができます。

(3) 申込単位

1ユニット※以上1ユニット単位

※ 「ユニット」とは、対象株価指数を構成する各銘柄の株式の数の構成比率に相当する比率により構成される各銘柄の株式として委託者が指定するもの（対象株価指数に連動すると委託者が想定する1単位の現物株式のポートフォリオ）に相当する口数の受益権をいいます。

1ユニットの受益権の口数は、1口の整数倍とし、取得申込受付日に委託者が定めます。

取得申込日の3営業日前までに、申込ユニット数に応じた現物株式のポートフォリオを販売会社に提示します。

(4) 申込手数料

販売会社は、当該販売会社が個別に定める申込手数料ならびに当該申込手数料に係る消費税等に相当する金額を取得申込者から徴収することができるものとします。

詳しくは、委託者（下記参照）または販売会社にお問い合わせください。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口

<フリーダイヤル>0120-439-244（営業日の午前9時から午後5時まで）

<ホームページアドレス><https://www.ja-asset.co.jp/>

(5) 申込価額

100口当たり取得申込受付日の基準価額※とします。

原則として、取得申込みが正午までに行われたものを当該取得申込受付日の受付分とします。

※ 基準価額とは、投資信託財産の純資産総額を計算日における受益権総口数で除した額をいいます。なお、ファンドにおいては100口当たりの価額で表示されます。

基準価額は、原則として委託者の営業日において日々算出され、委託者（下記参照）または販売会社に問い合わせることにより知ることができます。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口

<フリーダイヤル>0120-439-244（営業日の午前9時から午後5時まで）

<ホームページアドレス><https://www.ja-asset.co.jp/>

2【換金（解約）手続等】

(1) 一部解約

受益者は、自己に帰属する受益権（約款第52条の規定に基づき、受託者が書面決議において重大な約款の変更等に反対した受益者からの請求により買い取った受益権を除きます。）につき、信託期間中において、当ファンドの一部解約の実行を請求することはできません。

(2) 交換申込

- ① 受益者は、自己に帰属する受益権につき、委託者に対し、当該受益権と当該受益権の投資信託財産に対する持分に相当する有価証券との交換（以下「交換」といいます。）を請求することができます。
- ② 受益者が交換請求をするときは、販売会社に対し、委託者が定める一定口数の整数倍の振替受益権をもって行うものとします。
- ③ 受益者は、2020年10月12日以降において、自己に帰属する受益権につき、その請求の当日（正午を過ぎて請求を受領した場合は翌営業日）を交換請求受付日として、交換を請求することができます。
- ④ 委託者は、交換に際し、投資信託財産に属する有価証券の評価額をもって、それに相当する口数の受益権と交換するものとします。交換に際し、受益権の価額は、交換請求受付日の基準価額とします。この場合において、受益者が交換によって取得する個別銘柄の有価証券は、交換請求受付日における当該有価証券の評価額に基づいて計算された数とし、取引所売買単位（金融商品取引所が定める1売買単位をいいます。）の整数倍とします。
- ⑤ 上記①にかかわらず、委託者は、原則として、次に該当する場合は、受益権の交換請求の受付を停止します。ただし、委託者は、投資信託財産の状況、資金動向、市況動向等を鑑み、投資信託財産に及ぼす影響が軽微である等と判断される場合には、受益権の交換請求の受け付けを行うことがあります。
 1. 対象株価指数の構成銘柄の配当落日および権利落日の各々前営業日
 2. 対象株価指数の銘柄変更実施日および銘柄株数変更実施日の各々前々営業日から起算して3営業日以内
 3. 対象株価指数の構成銘柄の株式移転および合併等に伴う新規銘柄の対象株価指数への採用日ならびに存続銘柄の指数用株式数変更日の前営業日
 4. 計算期間終了日の3営業日前から起算して4営業日以内（ただし、計算期間終了日が休業日の場合は、当該計算期間終了日の4営業日前から起算して4営業日以内）
 5. この信託が終了となる場合において、償還日の直前5営業日間
 6. 上記1. から上記5. のほか、委託者が、運用の基本方針に沿った運用に支障をきたすおそれがあると判断した場合その他やむを得ない事情があると認めた場合
- ⑥ 上記②の販売会社は、振替機関の定める方法により、振替受益権の抹消に係る手続を行うものとします。なお、約款第6条ただし書きに掲げる業務方法書に定めるところにより、当該販売会社が、振替受益権の委託者への受渡しの債務の負担を清算機関に申し込み、これを当該清算機関が負担する場合には、当該清算機関が振替受益権の抹消に係る手続を行います。当該抹消に係る手続および約款第39条第4項に掲げる交換有価証券に係る振替請求が行われた後に、振替機関は、約款第39条第1項または第2項に定める交換に係る受益権の口数と同口数の振替受益権を抹消するものとし、社振法の規定に従い振替機関等の口座に第1項の交換の請求を行った受益者に係る当該口数の減少の記載または記録が行われます。
- ⑦ 委託者は、約款第39条第1項または第2項の委託者の交換の指図に係る振替受益権については、振替口座簿における抹消の手続および約款第39条第5項に定める抹消の確認をもって、当該振替受益権を受け入れ、抹消したものとして取り扱います。
- ⑧ 販売会社は、当該販売会社が定める手数料および当該手数料に係る消費税等に相当する金額を交換請求者から徴収することができるものとします。
- ⑨ 委託者は、金融商品取引所における取引の停止、決済機能の停止、運用の基本方針に沿った運用に支障をきたすおそれがあると判断した場合、その他やむを得ない事情があるときおよび委託者が必要と認めるときは、交換請求の受付の中止、交換請求の受付の取消またはその両方を行うことができます。
- ⑩ 上記⑨により交換請求の受付が中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行った当日の交換請求を撤回することができます。ただし、受益者がその交換請求を撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に交換請求を受け付けたものとして計算されるものとします。

- ⑪ 委託者は、上記⑩の請求を受け付けた場合には、当該請求に係る受益権と、当該受益権の投資信託財産に対する持分に相当する有価証券として委託者が指定するものとの交換を行うよう受託者に指図します。
- ⑫ 上記⑩の規定にかかわらず、交換の請求を行った受益者が対象株価指数の構成銘柄である株式の発行会社等である場合には、原則として、委託者は、上記⑩の請求に係る受益権の口数から当該発行会社の株式の個別銘柄時価総額に相当する金額に相当する口数を除いた口数の受益権と、当該受益権の持分に相当する有価証券（当該発行会社の株式を除きます。）を交換するよう受託者に指図するものとします。この場合の個別銘柄時価総額は、上記③の基準価額の計算日における当該発行会社の株式の金融商品取引所の終値（終値のないものについてはそれに準ずる価額とします。）に上記⑩の交換請求に係る有価証券に含まれる当該発行会社の株数を乗じて得た金額とします。なお、委託者は、当該発行会社の株式を投資信託財産において取得するために必要な経費に相当する金額を徴することができるものとします。
- ⑬ 上記⑫に該当する場合には、交換請求を行う受益者は、販売会社を通じてその旨を委託者に通知するものとします。この通知が交換請求の際に行われなかった場合において、そのことによって投資信託財産その他に損害が生じた場合には、販売会社がすべての責を負うものとします。
- ⑭ 受託者は、上記⑥に掲げる手続が行われたことを確認したときには、委託者の指図に従い、振替機関の定める方法により投資信託財産に属する交換有価証券に係る振替請求を行うものとします。ただし、約款第6条ただし書きに掲げる業務方法書に定めるところにより、上記⑥に掲げる交換の請求を受け付けた販売会社が、振替受益権の委託者への受渡しの債務の負担を清算機関に申し込み、これを当該清算機関が負担する場合には、受託者は、上記⑥に掲げる手続にかかわらず、委託者の指図に従い、振替機関の定める方法により信託財産に属する交換有価証券に係る振替請求を行うものとします。受益者への交換有価証券の交付に際しては、原則として、交換請求受付日から起算して3営業日目から振替機関等の口座に上記⑩の交換の請求を行った受益者に係る有価証券の増加の記載または記録が行われます。
- ⑮ 委託者は、交換請求受付日の翌営業日以降、交換によって抹消されることとなる振替受益権と同口数の受益権を失効したものとして取扱うこととし、受託者は、当該受益権に係る振替受益権が交換有価証券の振替日に抹消済みであることを確認するものとします。

(3) 受益権の買取り

- ① 販売会社は、次に該当する場合で、受益者の請求があるときは、その受益権を買取ります。ただし、次の2.の場合の請求は、信託終了日の2営業日前までとします。
 - 1. 交換により取引所売買単位未満の振替受益権が生じた場合
 - 2. 受益権を上場したすべての金融商品取引所において上場廃止になった場合
- ② 上記①の買取価額は、買取請求受付日の基準価額から、販売会社が定める手数料および当該手数料に対する消費税等に相当する金額を控除した価額とすることができます。
- ③ 販売会社は、金融商品取引所における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、委託者との協議に基づいて第1項による受益権の買取りを停止することおよびすでに受け付けた受益権の買取りを取り消すことができます。
- ④ 上記③の規定により受益権の買取りが停止された場合には、受益者は買取停止以前に行った当日の買取請求を撤回することができます。ただし、受益者がその買取請求を撤回しない場合には、当該受益権の買取価額は、買取停止を解除した後の最初の基準価額の計算日に買取請求を受け付けたものとして、上記②の規定に準じて計算されたものとします。

3 【資産管理等の概要】

(1) 【資産の評価】

a. 基準価額の計算方法（追加信託の価額および口数、基準価額の計算方法（約款第8条））

基準価額とは、投資信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って時価または一部償却原価法により評価して得た投資

信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（以下「純資産総額」といいます。）を、計算日における受益権総口数で除して得た金額をいいます。

b. 主要な投資対象資産の評価方法

ファンドの主要な投資対象資産の評価につきましては、法令および一般社団法人投資信託協会規則にしたがって、以下のとおり評価しております。

資産の種類	評価方法
国内上場株式	原則として金融商品取引所における計算日の最終相場で評価しております。

c. 基準価額の算出頻度等

基準価額は、原則として委託者の営業日において日々算出され、委託者（下記参照）または販売会社に問い合わせることにより知ることができます。

なお、基準価額は、日本経済新聞に掲載されます。（ファンド名の表示は「農中カーボン」です。）

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口
<フリーダイヤル>0120-439-244（営業日の午前9時から午後5時まで）
<ホームページアドレス><https://www.ja-asset.co.jp/>

d. 追加信託金および受益権と有価証券の交換の計理処理（約款第37条）

- ① 追加信託に相当する金額（追加信託に係る有価証券の評価額を含みます。）は、当該金額と元本に相当する金額との差額を、追加信託差金として処理します。
- ② 受益権と有価証券との交換にあたっては、交換に係る受益権口数に交換請求の受付日の基準価額を乗じて得た金額と元本に相当する金額との差額を、交換（解約）差金として処理します。

(2) 【保管】

該当事項はありません。

(3) 【信託期間】

信託期間（約款第4条）

この信託は、期間の定めを設けません。ただし、約款第46条第1項、同条第2項、第47条第1項、第48条第1項および第50条第2項の規定により信託を終了させる場合があります。

(4) 【計算期間】

信託の計算期間（約款第31条）

この信託の計算期間は、毎年2月16日から8月15日まで、8月16日から翌年2月15日までとすることを原則とします。ただし、第1計算期間は、信託契約締結日から2021年2月15日までとし、最終計算期間の終了日は約款第4条に定める信託期間の終了日とします。

(5) 【その他】

a. 信託期間の終了

下記の信託約款の条項に規定する場合は、信託期間終了日前に信託契約を解約し、当該信託を終了させる場合があります。

(イ) 信託契約の解約（約款第46条）

- ① 委託者は、信託期間中において、投資信託財産の一部を受益権と交換することにより、2023年2月15日以降の受益権の口数が500万口を下ることとなった場合もしくは、この信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができ

ます。この場合において、委託者は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。

- ② 委託者は、信託期間中において次に該当することとなった場合は、受託者と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させます。この場合において、委託者は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。
1. 受益権を上場したすべての金融商品取引所において上場廃止となった場合
 2. 対象株価指数が廃止された場合
 3. 対象株価指数の計算方法その他の変更等に伴って委託者または受託者が必要と認めたこの信託約款の変更が約款第51条第2項に規定する書面決議により否決された場合
- なお、上記1. に掲げる事由によりこの信託契約を解約する場合には、その廃止された日に信託を終了するための手続を開始するものとします。
- ③ 委託者は、上記①の規定に基づいてこの信託契約を解約しようとする場合、書面による決議（以下「書面決議」といいます。）を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託契約に係る知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発送します。
- ④ 上記③の書面決議において、受益者（委託者およびこの信託の投資信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託者を除きます。以下本項において同じ。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- ⑤ 上記③の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。
- ⑥ 上記③から上記⑤までの規定は、上記②の規定に基づいてこの信託契約を解約するとき、または委託者が信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、この信託契約に係るすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。また、投資信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、上記③から上記⑤までの手続を行うことが困難な場合も同じとします。

(ロ) 信託契約に関する監督官庁の命令（約款第47条第1項）

委託者は、監督官庁よりこの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令に従い、この信託契約を解約し信託を終了させます。

(ハ) 委託者の登録取り消しなどに伴う取り扱い（約款第48条）

- ① 委託者が監督官庁より登録の取り消しを受けたとき、解散したとき、または業務を廃止したときは、委託者は、この信託契約を解約し、信託を終了させます。
- ② 上記①の規定にかかわらず、監督官庁がこの信託契約に関する委託者の業務を他の投資信託委託会社に引き継ぐことを命じたときは、この信託は、約款第51条第2項の書面決議において否決された場合を除き、当該投資信託委託会社と受託者との間において存続します。

(ニ) 受託者の辞任および解任に伴う取り扱い（約款第50条）

- ① 受託者は、委託者の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託者がその任務に違反して投資信託財産に著しい損害を与えたことその他重要な事由があるときは、委託者または受益者は、裁判所に受託者の解任を申立てることができます。受託者が辞任した場合、または裁判所が受託者を解任した場合、委託者は、約款第51条の規定に従い、新受託者を選任します。なお、受益者は上記によって行う場合を除き、受託者を解任することはできないものとします。
- ② 委託者が新受託者を選任できないときは、委託者はこの信託契約を解約し、信託を終了させます。

b. 約款の変更

約款の変更は、信託約款の下記の条項により行うものとします。

(イ) 信託契約に関する監督官庁の命令（約款第47条第2項）

委託者は、監督官庁の命令に基づいてこの信託約款を変更しようとするときは、約款第51条の規定に従います。

(ロ) 信託約款の変更等 (約款第51条)

- ① 委託者は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託約款を変更することまたはこの信託と他の信託との併合（投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じ。）を行うことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。なお、この信託約款は本条に定める以外の方法によって変更することができないものとしします。
- ② 委託者は、上記①の変更または併合（上記①の変更にあつては、その変更の内容が重大なものに該当する場合に限り、併合事項にあつてはその併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものに該当する場合を除き、以下、合わせて「重大な約款の変更等」といいます。）について、書面決議を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに重大な約款の変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託約款に係る知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
- ③ 上記②の書面決議において、受益者（委託者およびこの信託の投資信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託者を除きます。以下本項において同じ。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- ④ 上記②の書面決議は議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。
- ⑤ 書面決議の効力は、この信託のすべての受益者に対してその効力を生じます。
- ⑥ 上記②から上記⑤までの規定は、委託者が重大な約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、この信託約款に係るすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。
- ⑦ 上記①から上記⑥までの規定にかかわらず、この投資信託において併合の書面決議が可決された場合にあつても、当該併合に係る一または複数の他の投資信託において当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他の投資信託との併合を行うことはできません。

c. 金融商品取引所への上場 (約款第13条)

- ① 委託者は、この信託の受益権について、金融商品取引所に上場申請を行うものとし、当該受益権は、当該金融商品取引所の定める諸規則等に基づき当該金融商品取引所の承認を得たうえで、当該金融商品取引所が開設する市場に上場されるものとしします。
- ② 委託者は、この信託の受益権が上場された場合には、上記①の金融商品取引所の定める諸規則等を遵守し、当該金融商品取引所が諸規則等に基づいて行う受益権に対する上場廃止または売買取引の停止その他の措置に従うものとしします。

d. その他の契約の変更

<募集等に関する契約>

委託者と販売会社との間の上場投資信託の募集等に関する契約は当事者の別段の意思表示がない限り、1年ごとに自動的に更新されます。

当契約は、当事者間の合意により変更することができます。

その終了または変更は、必要に応じて受益者に対して通知を行う手配をしますが、必ずしも直ちに受益者全員にこれを知らせるものではありません。

e. 運用報告書等

<運用報告書>

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律の規定に基づく運用報告書の作成・交付は行いません。

<有価証券報告書>

委託者は、金融商品取引法第24条第1項の規定に基づき有価証券報告書を作成し、関東財務局に提出します。

＜臨時報告書＞

委託者は、金融商品取引法第24条の5第4項の規定に基づき臨時報告書を作成し、関東財務局に提出します。

f. 委託者の事業の譲渡および承継に伴う取り扱い（約款第49条）

- ① 委託者は、事業の全部または一部を譲渡することがあり、これに伴い、この信託契約に関する事業を譲渡することがあります。
- ② 委託者は、分割により事業の全部または一部を承継させることがあり、これに伴い、この信託契約に関する事業を承継させることがあります。

g. 他の受益者の氏名等の開示の請求の制限（約款第53条）

この信託の受益者は、委託者または受託者に対し、次に掲げる事項の開示の請求を行うことはできません。

1. 他の受益者の氏名または名称および住所
2. 他の受益者が有する受益権の内容

h. 公告（約款第54条）

委託者が受益者に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。

i. 信託約款に関する疑義の取り扱い（約款第55条）

信託約款の解釈について疑義が生じたときは、委託者と受託者との協議により定めます。

j. 信託事務処理の再信託

受託者は、当ファンドに係る信託事務の処理の一部について、日本マスタートラスト信託銀行株式会社と再信託契約を締結し、これを委託することがあります。その場合には、再信託に係る契約書類に基づいて所定の事務を行います。

4 【受益者の権利等】

受益者は「投資信託及び投資法人に関する法律」ならびに信託約款の規定および本書の記載に従い、以下の権利を有するものとします。

（イ）収益分配金に対する請求権および名義登録

受益者は、持分に応じて収益分配金を請求する権利を有します。

- ① 受託者は、計算期間終了日現在において、約款第16条の受益者名簿に名義登録されている者を計算期間終了日における受益者（以下「名義登録受益者」といいます。）とし、収益分配金を当該名義登録受益者に支払います。
- ② 受託者は収益分配金の支払いについて、受益者名簿の作成した者にこれを委託することができます。
- ③ 上記①に規定する収益分配金の支払いは、原則として、毎計算期間終了後40日以内の委託者の指定する日に、名義登録受益者があらかじめ指定した預金口座等に当該収益分配金を振り込む方式により行うものとします。なお、名義登録受益者が約款第16条第3項に規定する金融商品取引所の会員と別途収益分配金の取扱いに係る契約を締結している場合は、当該契約に従い支払われるものとします。
- ④ 受益者が、収益分配金について上記③に規定する支払開始日から5年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託者から交付を受けた金銭は、委託者に帰属します。

※（受益者名簿の作成と名義登録（約款第16条））

1. 受託者は、この信託に係る受益者名簿を作成し、受益者について、その氏名または名称、住所および個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条に規定する個人番号をいいます。以下同じ。）または法人番号（同法同条に規定する法人番号をいいます。以下同じ。）（個人番号または法人番号を有しない者にあつては、氏名または名称および住所とします。）その他受託者が定める事項を、受益者名簿に名義登録するものとします。
2. 受託者は、計算期間終了日において、社振法等関係法令、諸規則等に基づき、振替機関より通知を受けた受益権の帰属者を振替機関等の振替口座簿に記載または記録された受益権に係る受益者として、その氏名または名称、住所および個人番号または法人番号（個人番号もしくは法人番号を有しない者または収益の分配につき租税特別措置法第9条の3の2第1項に規定する支払いの取扱者を通じて交付を受ける者に

あつては、氏名または名称および住所とします。) その他受託者の定める事項を受益者名簿に登録するものとします。なお、受託者は他の証券代行会社等、受託者が適当と認める者と委託契約を締結し、受益者名簿の作成および受益者名簿への名義登録を委託することができます。

3. 受益者は、この信託の受益権が上場されている金融商品取引所の会員（口座管理機関であるものに限ります。以下同じ。）を経由して上記1. の受益者名簿に名義を登録することを請求することができます。この場合、当該会員は、当該会員が定める手数料および当該手数料に係る消費税等に相当する金額を徴することができるものとします。
4. 上記3. に規定する名義登録は、毎計算期間の末日の翌日から15日間停止するものとします。また、この信託が終了することとなる場合は、信託終了日の直前5営業日間において名義登録を停止するものとします。

(ロ) 信託終了時の交換等

- ① 委託者は、この信託が終了するときは、委託者が別に定める一定口数以上の受益権を有する受益者に対しては、投資信託財産に対する持分に相当する有価証券を当該受益権として振替口座簿に記載または記録されている振替受益権と引換えに交換するものとします。
- ② 上記①の交換は、販売会社の営業所において行うものとします。
- ③ 上記①の交換に係る受益権の評価額は信託終了日の5営業日前の基準価額とします。この場合において、受益者が交換により取得する個別銘柄の有価証券は、信託終了日の5営業日前の日における当該有価証券の評価額に基づいて計算された数とし、取引所売買単位の整数倍とします。
- ④ 対象株価指数に採用されている銘柄の株式の発行会社等である受益者が、上記③の定めによって交換する場合には、委託者は当該発行会社の株式の個別銘柄時価総額に相当する口数の受益権を買取を受託者に指図します。この場合の個別銘柄時価総額は、信託終了日の4営業日前の寄付き以降成行きの方法またはこれに準ずるものとして合理的な売却の方法によって当該株式を売却した額（売却するのに必要な経費を控除した後の金額）とします。
- ⑤ 上記④の規定により投資信託財産が買取った受益権については、上記④の個別銘柄時価総額が確定した日から4営業日目に金銭の交付を行います。
- ⑥ 販売会社は、上記①による交換を行うときは、当該受益者から販売会社が定める手数料および当該手数料に対する消費税等に相当する金額を徴することができるものとします。
- ⑦ 上記①の有価証券の交換は、原則として、交換のための振替受益権の抹消の申請が振替機関に受け付けられたことを受託者が確認した日の翌営業日から起算して3営業日目から行います。
- ⑧ 委託者は、信託終了日の4営業日前の日以降、交換によって抹消されることとなる振替受益権と同口数の受益権（約款第40条の規定により買取りの対象となった受益権を含みます。）を失効したものとして取り扱うこととし、受託者は、当該受益権に係る振替受益権が交換有価証券の振替日に抹消済みであることを確認するものとします。
- ⑨ 上記①および上記③の規定にかかわらず、次の場合には信託終了時の受益権の価額をもとに販売会社を買取りを行うことを原則とします。
 1. 上記①において、受益者の有する口数から有価証券の交換に要した口数を控除した後に残余の口数を生じた場合の残余の口数の振替受益権
 2. 上記①における一定口数に満たない振替受益権（取引所売買単位未満の振替受益権を含みます。）
- ⑩ 販売会社は、上記⑨の買取りを行うときは、販売会社が定める手数料および当該手数料に対する消費税等に相当する金額を徴することができるものとします。
- ⑪ 信託終了に係る金銭は、信託終了日後1ヵ月以内の委託者の指定する日から、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者である販売会社に支払います。なお、販売会社は、その口座が開設されている振替機関等に対して委託者がこの信託を終了するのと引換えに、信託終了に係る金銭に相当する受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。
- ⑫ 受益者が、信託終了時の交換について、信託終了日から10年間その交換請求をしないときは、その権利を失い、受託者から交付を受けた金銭は、委託者に帰属します。

(ハ) 反対者の買取請求権（約款第52条）

約款第46条に規定する信託契約の解約または約款第51条に規定する重大な約款の変更等を行う場合には、書面決議において当該解約または重大な約款の変更等に反対した受益者は、受託者に対し、自己に帰属する受益権を、投資信託財産をもって買取るべき旨を請求することができます。

(二) 投資信託財産に関する帳簿書類の閲覧又は謄写請求権（投資信託及び投資法人に関する法律第15条第2項）

受益者は委託者に対し、その営業時間内に当該受益者に係る投資信託財産に関する帳簿書類の閲覧又は謄写を請求することができます。

第3【ファンドの経理状況】

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第6期計算期間（2023年 2月16日から2023年 8月15日まで）の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による監査を受けております。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 山口 健志
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているNZAM 上場投信 S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数の2023年2月16日から2023年8月15日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、NZAM 上場投信 S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数の2023年8月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。

- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、経営者に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

農林中金全連アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

1【財務諸表】

NZAM 上場投信 S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数

(1)【貸借対照表】

(単位：円)

	第5期 2023年 2月15日現在	第6期 2023年 8月15日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	955,017,042	1,193,335,616
株式	30,962,108,910	32,913,375,190
派生商品評価勘定	15,336,960	26,062,740
未収入金	9,872,565	14,212,080
未収配当金	52,012,088	43,791,500
差入委託証拠金	40,500,000	49,410,000
流動資産合計	32,034,847,565	34,240,187,126
資産合計	32,034,847,565	34,240,187,126
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	-	90,660
前受金	27,868,000	37,230,000
未払収益分配金	348,093,670	400,446,892
未払受託者報酬	4,831,401	5,083,096
未払委託者報酬	15,874,534	16,701,523
未払利息	729	1,361
その他未払費用	4,224,171	4,318,098
流動負債合計	400,892,505	463,871,630
負債合計	400,892,505	463,871,630
純資産の部		
元本等		
元本	25,566,879,900	23,693,107,824
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)	6,067,075,160	10,083,207,672
(分配準備積立金)	3,657,577	6,947,645
元本等合計	31,633,955,060	33,776,315,496
純資産合計	31,633,955,060	33,776,315,496
負債純資産合計	32,034,847,565	34,240,187,126

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第5期		第6期	
	自	2022年 8月16日	自	2023年 2月16日
	至	2023年 2月15日	至	2023年 8月15日
営業収益				
受取配当金		367,027,771		429,875,820
受取利息		2,634		6,807
有価証券売買等損益		△51,608,612		4,683,591,838
派生商品取引等損益		30,687,320		165,322,240
その他収益		136,158		185,396
営業収益合計		346,245,271		5,278,982,101
営業費用				
支払利息		167,023		212,084
受託者報酬		4,831,401		5,083,096
委託者報酬		15,874,534		16,701,523
その他費用		4,259,206		4,334,360
営業費用合計		25,132,164		26,331,063
営業利益又は営業損失(△)		321,113,107		5,252,651,038
経常利益又は経常損失(△)		321,113,107		5,252,651,038
当期純利益又は当期純損失(△)		321,113,107		5,252,651,038
一部交換に伴う当期純利益金額の分配額又は一部交換に伴う当期純損失金額の分配額(△)		-		-
期首剰余金又は期首欠損金(△)		6,094,055,723		6,067,075,160
剰余金増加額又は欠損金減少額		-		-
当期一部交換に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		-		-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		-		-
剰余金減少額又は欠損金増加額		-		836,071,634
当期一部交換に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		-		836,071,634
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		-		-
分配金		348,093,670		400,446,892
期末剰余金又は期末欠損金(△)		6,067,075,160		10,083,207,672

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として計算期間末日に知り得る直近の日の主たる取引所の発表する清算値段、又は最終相場に基づいて評価しております。
3. 収益及び費用の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

第5期 (2023年 2月15日現在)	第6期 (2023年 8月15日現在)
当計算期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが当計算期間の翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。	同左

(貸借対照表に関する注記)

項目	第5期	第6期
	2023年 2月15日現在	2023年 8月15日現在
1. 投資信託財産に係る元本の状況		
期首元本額	25,566,879,900円	25,566,879,900円
期中追加設定元本額	－円	－円
期中一部交換元本額	－円	1,873,772,076円
2. 計算期間の末日における受益権の総数	120,032,300口	111,235,248口
3. 1口当たり純資産額	263.55円	303.65円
(100口当たり純資産額)	(26,355円)	(30,365円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第5期	第6期
	自 2022年 8月16日 至 2023年 2月15日	自 2023年 2月16日 至 2023年 8月15日
分配金の計算過程		
A. 配当等収益額	366,999,540円	A. 配当等収益額 429,855,939円
B. 分配準備積立金額	9,716,848円	B. 分配準備積立金額 3,657,577円
C. 配当等収益合計額	376,716,388円	C. 配当等収益合計額 433,513,516円
(A+B)		(A+B)
D. 経費	24,965,141円	D. 経費 26,118,979円
E. 収益分配可能額	351,751,247円	E. 収益分配可能額 407,394,537円
(C-D)		(C-D)
F. 収益分配金	348,093,670円	F. 収益分配金 400,446,892円
G. 次期繰越金(分配準備積立金)(E-F)	3,657,577円	G. 次期繰越金(分配準備積立金)(E-F) 6,947,645円
H. 口数	120,032,300口	H. 口数 111,235,248口
I. 100口当たり分配金	290円	I. 100口当たり分配金 360円
(F/H×100)		(F/H×100)

(金融商品に関する注記)

I 金融商品の状況に関する事項

項目	第5期 自 2022年 8月16日 至 2023年 2月15日	第6期 自 2023年 2月16日 至 2023年 8月15日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	同左
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権等であります。 当ファンドが保有する有価証券は、全て売買目的で保有しており、デリバティブ取引は、ヘッジ目的以外にも利用する場合があります。また、これらの詳細は、「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)有価証券の評価基準及び評価方法、デリバティブ等の評価基準及び評価方法」に記載しております。 当該金融商品は、株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、価格変動リスク等に晒されています。	同左
3. 金融商品に係るリスクの管理体制	フロント部門では、ポジションリスク管理及びパフォーマンス管理を行っています。また、決定された運用計画に基づいた運用(あるいはポジション組成)となっているか管理を行っております。 ミドル部門は、ファンド運用状況の日々のモニタリングや定期的なフィードバックを行ないフロント部門を牽制しております。法令等のルールや組織的に決定された運用計画に従って運用されるよう、日常的な管理を行うほか、運用管理会議を開催してこれらの遵守状況を検証しております。また、各種運用リスクとパフォーマンスの計測・管理を行うほか、運用リスク管理会議を開催してこれらの管理状況を検証しております。	フロント部門では、ポジションリスク管理及びパフォーマンス管理を行っています。また、決定された運用計画に基づいた運用(あるいはポジション組成)となっているか管理を行っております。 ミドル部門は、ファンド運用状況の日々のモニタリングや定期的なフィードバックを行ないフロント部門を牽制しております。法令等のルールや組織的に決定された運用計画に従って運用されるよう、日常的な管理を行うほか、コンプライアンス委員会を開催してこれらの遵守状況を検証しております。また、各種運用リスクとパフォーマンスの計測・管理を行うほか、運用リスク管理会議を開催してこれらの管理状況を検証しております。

II 金融商品の時価等に関する事項

項目	第5期 2023年 2月15日現在	第6期 2023年 8月15日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	株式 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。 先物取引 「(デリバティブ取引等に関する注記)」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権 短期で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

第5期(自 2022年 8月16日 至 2023年 2月15日)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	△56,413,624
合計	△56,413,624

第6期(自 2023年 2月16日 至 2023年 8月15日)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	3,896,603,781
合計	3,896,603,781

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

(株式関連)

第5期 (2023年 2月15日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	619,376,000	—	634,720,000	15,344,000
	合計	619,376,000	—	634,720,000	15,344,000

第6期 (2023年 8月15日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	798,060,000	—	824,040,000	25,980,000
	合計	798,060,000	—	824,040,000	25,980,000

(注) 時価の算定方法

1. 先物取引の時価評価については、原則として計算日に知り得る直近の日の主たる取引所の発表する清算値段、又は最終相場に基づいて評価しております。
2. 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額は含んでおりません。

※上記取引でヘッジ会計が適用されているものではありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

①株式

(単位：円)

銘柄	株式数	評価額		備考
		単価	金額	
極洋	400	3,785.00	1,514,000	
ニッスイ	14,400	766.00	11,030,400	
マルハニチロ	1,700	2,499.00	4,248,300	
雪国まいたけ	900	902.00	811,800	
サカタのタネ	100	4,000.00	400,000	
ホクト	100	1,831.00	183,100	
ホクリヨウ	100	873.00	87,300	
住石ホールディングス	3,900	353.00	1,376,700	
日鉄鉱業	600	4,695.00	2,817,000	
三井松島ホールディングス	300	2,780.00	834,000	
I N P E X	42,300	2,025.00	85,657,500	
石油資源開発	2,100	4,850.00	10,185,000	
K&Oエナジーグループ	900	2,401.00	2,160,900	
ショーボンドホールディングス	1,900	5,903.00	11,215,700	
ミライト・ワン	4,700	1,877.00	8,821,900	
タマホーム	1,000	3,515.00	3,515,000	
サンヨーホームズ	200	720.00	144,000	
日本アクア	800	1,084.00	867,200	
ファーストコーポレーション	600	735.00	441,000	
ベステラ	200	1,104.00	220,800	
R o b o t H o m e	2,700	198.00	534,600	
ダイセキ環境ソリューション	100	1,238.00	123,800	
第一カッター興業	400	1,257.00	502,800	
安藤・間	10,400	1,185.00	12,324,000	
東急建設	5,700	756.00	4,309,200	
コムシスホールディングス	5,600	3,134.00	17,550,400	
ビーアールホールディングス	2,000	381.00	762,000	
高松コンストラクショングループ	1,000	2,666.00	2,666,000	
東建コーポレーション	500	7,460.00	3,730,000	
オリエンタル白石	5,900	312.00	1,840,800	
大成建設	13,100	4,833.00	63,312,300	
大林組	46,100	1,270.00	58,547,000	
清水建設	40,100	990.30	39,711,030	
飛島建設	1,100	1,301.00	1,431,100	

長谷工コーポレーション	11,800	1,763.00	20,803,400
銭高組	200	3,745.00	749,000
鹿島建設	23,000	2,302.50	52,957,500
不動テトラ	900	1,857.00	1,671,300
大末建設	300	1,443.00	432,900
鉄建建設	900	1,983.00	1,784,700
西松建設	2,000	3,570.00	7,140,000
三井住友建設	8,700	393.00	3,419,100
大豊建設	400	3,815.00	1,526,000
佐田建設	1,000	469.00	469,000
奥村組	1,600	4,370.00	6,992,000
東鉄工業	2,100	2,691.00	5,651,100
イチケン	200	2,074.00	414,800
浅沼組	700	3,425.00	2,397,500
戸田建設	17,300	803.90	13,907,470
熊谷組	1,700	3,040.00	5,168,000
矢作建設工業	1,700	1,228.00	2,087,600
ピーエス三菱	1,200	775.00	930,000
日本ハウスホールディングス	2,300	362.00	832,600
新日本建設	1,300	1,237.00	1,608,100
東亜道路工業	400	4,760.00	1,904,000
日本道路	300	9,340.00	2,802,000
東亜建設工業	800	3,485.00	2,788,000
日本国土開発	3,600	605.00	2,178,000
若築建設	800	3,105.00	2,484,000
東洋建設	3,500	1,061.00	3,713,500
五洋建設	15,200	839.30	12,757,360
世紀東急工業	1,800	1,502.00	2,703,600
福田組	300	4,560.00	1,368,000
住友林業	1,400	4,014.00	5,619,600
巴コーポレーション	1,500	524.00	786,000
大和ハウス工業	30,600	3,867.00	118,330,200
ライト工業	2,400	1,989.00	4,773,600
積水ハウス	46,200	2,893.00	133,656,600
日特建設	1,000	1,081.00	1,081,000
ユアテック	2,100	862.00	1,810,200
日本リーテック	800	1,245.00	996,000
中電工	2,000	2,378.00	4,756,000
関電工	7,600	1,253.00	9,522,800
きんでん	7,300	1,964.50	14,340,850

東京エネシス	1,200	967.00	1,160,400
トーエネック	400	3,725.00	1,490,000
住友電設	1,100	2,904.00	3,194,400
日本電設工業	1,900	2,118.00	4,024,200
エクシオグループ	6,200	2,872.00	17,806,400
新日本空調	700	2,372.00	1,660,400
九電工	2,300	4,346.00	9,995,800
三機工業	3,000	1,619.00	4,857,000
日揮ホールディングス	10,000	1,975.50	19,755,000
中外炉工業	300	2,128.00	638,400
太平電業	700	3,935.00	2,754,500
高砂熱学工業	2,500	2,684.00	6,710,000
三晃金属工業	100	3,940.00	394,000
明星工業	2,300	933.00	2,145,900
大気社	1,700	4,540.00	7,718,000
ダイダン	1,200	2,982.00	3,578,400
日比谷総合設備	1,100	2,197.00	2,416,700
フィル・カンパニー	200	763.00	152,600
テスホールディングス	1,900	521.00	989,900
インフロニア・ホールディングス	10,700	1,419.50	15,188,650
東洋エンジニアリング	1,200	657.00	788,400
レイズネクスト	2,000	1,400.00	2,800,000
ニッポン	100	2,060.00	206,000
日清製粉グループ本社	5,000	1,788.50	8,942,500
昭和産業	100	2,892.00	289,200
中部飼料	200	1,116.00	223,200
フィード・ワン	100	784.00	78,400
DM三井製糖ホールディングス	800	2,974.00	2,379,200
ウェルネオシュガー	200	2,172.00	434,400
森永製菓	1,800	5,095.00	9,171,000
江崎グリコ	2,200	3,773.00	8,300,600
井村屋グループ	200	2,312.00	462,400
不二家	200	2,443.00	488,600
山崎製パン	6,600	2,654.00	17,516,400
亀田製菓	700	4,290.00	3,003,000
寿スピリッツ	1,400	11,760.00	16,464,000
カルビー	4,800	2,685.00	12,888,000
森永乳業	600	5,635.00	3,381,000
六甲バター	100	1,347.00	134,700
ヤクルト本社	2,400	7,664.00	18,393,600

明治ホールディングス	10,200	3,711.00	37,852,200
雪印メグミルク	800	2,316.00	1,852,800
プリマハム	100	2,414.00	241,400
日本ハム	1,200	4,408.00	5,289,600
林兼産業	100	552.00	55,200
丸大食品	100	1,689.00	168,900
S Foods	100	3,435.00	343,500
柿安本店	100	2,456.00	245,600
伊藤ハム米久ホールディングス	800	753.00	602,400
サッポロホールディングス	5,200	4,094.00	21,288,800
アサヒグループホールディングス	28,600	5,570.00	159,302,000
キリンホールディングス	69,300	2,003.00	138,807,900
宝ホールディングス	9,600	1,297.50	12,456,000
オエノンホールディングス	3,100	366.00	1,134,600
コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス	12,600	1,838.00	23,158,800
サントリー食品インターナショナル	12,300	4,665.00	57,379,500
ダイドーグループホールディングス	500	5,580.00	2,790,000
伊藤園	3,500	4,318.00	15,113,000
キーコーヒー	900	2,100.00	1,890,000
日清オイリオグループ	1,100	4,240.00	4,664,000
不二製油グループ本社	1,900	2,168.00	4,119,200
J-オイルミルズ	400	1,784.00	713,600
キッコーマン	6,400	7,900.00	50,560,000
味の素	16,900	5,843.00	98,746,700
キューピー	5,700	2,396.50	13,660,050
ハウス食品グループ本社	2,300	3,070.00	7,061,000
カゴメ	5,000	3,327.00	16,635,000
アリアケジャパン	700	5,126.00	3,588,200
ニチレイ	4,700	3,377.00	15,871,900
東洋水産	4,500	5,897.00	26,536,500
イートアンドホールディングス	200	2,160.00	432,000
ヨシムラ・フード・ホールディングス	700	1,100.00	770,000
日清食品ホールディングス	3,700	12,270.00	45,399,000
フジッコ	800	1,928.00	1,542,400
ロック・フィールド	300	1,529.00	458,700
日本たばこ産業	81,600	3,103.00	253,204,800
ケンコーマヨネーズ	800	1,340.00	1,072,000
わらべや日洋ホールディングス	600	2,765.00	1,659,000
なとり	200	1,982.00	396,400

ファーマフーズ	1,400	1,698.00	2,377,200
ユーグレナ	1,900	856.00	1,626,400
紀文食品	200	1,071.00	214,200
ピクルスホールディングス	500	1,269.00	634,500
ミヨシ油脂	100	1,093.00	109,300
理研ビタミン	700	2,262.00	1,583,400
片倉工業	1,300	1,658.00	2,155,400
グンゼ	100	4,515.00	451,500
東洋紡	7,300	1,013.00	7,394,900
ユニチカ	700	210.00	147,000
富士紡ホールディングス	100	3,460.00	346,000
倉敷紡績	200	2,262.00	452,400
シキボウ	100	1,018.00	101,800
日本毛織	400	1,220.00	488,000
ダイトウボウ	2,200	96.00	211,200
トーア紡コーポレーション	100	410.00	41,000
帝国繊維	900	1,756.00	1,580,400
帝人	20,900	1,471.00	30,743,900
東レ	90,000	800.00	72,000,000
アツギ	900	421.00	378,900
セーレン	500	2,355.00	1,177,500
小松マテーレ	400	714.00	285,600
ワコールホールディングス	1,900	3,121.00	5,929,900
ホギメディカル	1,100	3,170.00	3,487,000
T S I ホールディングス	3,400	696.00	2,366,400
マツオカコーポレーション	200	1,334.00	266,800
ワールド	1,200	1,646.00	1,975,200
三陽商会	800	1,864.00	1,491,200
ナイガイ	600	286.00	171,600
オンワードホールディングス	6,100	563.00	3,434,300
ルックホールディングス	100	2,024.00	202,400
キムラタン	3,000	20.00	60,000
ゴールドウイン	1,900	10,240.00	19,456,000
デザート	1,900	3,665.00	6,963,500
特種東海製紙	400	3,355.00	1,342,000
王子ホールディングス	3,000	585.90	1,757,700
日本製紙	6,800	1,261.00	8,574,800
三菱製紙	1,200	515.00	618,000
北越コーポレーション	10,900	855.00	9,319,500
中越パルプ工業	300	1,242.00	372,600

大王製紙	6,000	1,220.50	7,323,000
阿波製紙	100	515.00	51,500
レンゴー	13,300	930.70	12,378,310
トーモク	1,100	2,178.00	2,395,800
ザ・パック	1,200	3,155.00	3,786,000
北の達人コーポレーション	3,800	245.00	931,000
クラレ	20,400	1,471.50	30,018,600
旭化成	123,800	931.60	115,332,080
レゾナック・ホールディングス	13,200	2,310.00	30,492,000
住友化学	105,100	405.50	42,618,050
住友精化	600	4,320.00	2,592,000
日産化学	9,300	6,358.00	59,129,400
ラサ工業	100	2,005.00	200,500
クレハ	1,200	8,360.00	10,032,000
多木化学	200	3,975.00	795,000
テイカ	700	1,309.00	916,300
石原産業	2,600	1,397.00	3,632,200
片倉コープアグリ	100	1,172.00	117,200
日本曹達	1,400	5,190.00	7,266,000
東ソー	1,300	1,854.50	2,410,850
トクヤマ	400	2,325.00	930,000
セントラル硝子	700	2,864.00	2,004,800
東亜合成	5,800	1,333.50	7,734,300
大阪ソーダ	800	7,440.00	5,952,000
関東電化工業	2,300	811.00	1,865,300
デンカ	5,000	2,623.00	13,115,000
信越化学工業	7,300	4,559.00	33,280,700
日本カーバイド工業	200	1,540.00	308,000
堺化学工業	400	1,871.00	748,400
第一稀元素化学工業	1,400	967.00	1,353,800
エア・ウォーター	15,500	1,777.50	27,551,250
日本酸素ホールディングス	12,500	3,385.00	42,312,500
日本化学工業	100	1,830.00	183,000
日本パーカライジング	8,400	1,109.00	9,315,600
チタン工業	100	1,380.00	138,000
四国化成ホールディングス	1,200	1,397.00	1,676,400
戸田工業	200	1,995.00	399,000
ステラ ケミファ	600	3,080.00	1,848,000
保土谷化学工業	600	3,175.00	1,905,000
日本触媒	1,600	5,371.00	8,593,600

大日精化工業	1,600	2,180.00	3,488,000
カネカ	3,700	4,016.00	14,859,200
三菱瓦斯化学	10,200	1,983.50	20,231,700
三井化学	10,800	4,108.00	44,366,400
J S R	16,300	4,068.00	66,308,400
東京応化工業	3,400	9,340.00	31,756,000
大阪有機化学工業	1,400	2,505.00	3,507,000
三菱ケミカルグループ	91,700	857.80	78,660,260
KHネオケム	2,000	2,233.00	4,466,000
ダイセル	16,700	1,181.50	19,731,050
住友ベークライト	2,900	6,840.00	19,836,000
積水化学工業	4,100	2,235.00	9,163,500
日本ゼオン	7,200	1,542.00	11,102,400
アイカ工業	4,600	3,297.00	15,166,200
UBE	100	2,464.00	246,400
積水樹脂	1,800	2,475.00	4,455,000
タキロンシーアイ	5,000	596.00	2,980,000
旭有機材	800	4,260.00	3,408,000
ニチバン	100	1,998.00	199,800
リケンテクノス	4,200	659.00	2,767,800
大倉工業	700	2,424.00	1,696,800
積水化成品工業	1,900	443.00	841,700
群栄化学工業	200	3,200.00	640,000
ミライアル	300	1,458.00	437,400
ダイキアクシス	100	705.00	70,500
ダイキョーニシカワ	900	817.00	735,300
竹本容器	400	811.00	324,400
森六ホールディングス	700	2,088.00	1,461,600
恵和	900	1,084.00	975,600
日本化薬	17,200	1,281.00	22,033,200
カーリットホールディングス	1,500	850.00	1,275,000
日本精化	1,000	2,632.00	2,632,000
扶桑化学工業	800	4,250.00	3,400,000
トリケミカル研究所	200	2,668.00	533,600
ADEKA	6,400	2,732.00	17,484,800
日油	5,200	6,066.00	31,543,200
新日本理化	1,500	224.00	336,000
ハリマ化成グループ	1,100	832.00	915,200
花王	29,100	5,751.00	167,354,100
第一工業製薬	400	1,622.00	648,800

ニイタカ	200	1,972.00	394,400
三洋化成工業	1,200	4,065.00	4,878,000
有機合成薬品工業	700	291.00	203,700
大日本塗料	1,600	940.00	1,504,000
日本ペイントホールディングス	117,500	1,138.50	133,773,750
関西ペイント	19,600	2,389.00	46,824,400
中国塗料	3,700	1,345.00	4,976,500
日本特殊塗料	900	1,208.00	1,087,200
藤倉化成	2,000	457.00	914,000
太陽ホールディングス	1,600	2,670.00	4,272,000
D I C	7,800	2,462.00	19,203,600
サカタインクス	4,900	1,353.00	6,629,700
東洋インキSCホールディングス	4,100	2,077.00	8,515,700
T & K TOKA	1,700	1,060.00	1,802,000
富士フイルムホールディングス	19,600	8,341.00	163,483,600
資生堂	28,800	6,374.00	183,571,200
ライオン	13,800	1,526.00	21,058,800
高砂香料工業	1,500	2,822.00	4,233,000
マンダム	2,800	1,436.00	4,020,800
ミルボン	1,900	4,460.00	8,474,000
ファンケル	5,000	2,687.00	13,435,000
コーセー	2,500	12,890.00	32,225,000
コタ	800	1,619.00	1,295,200
ポーラ・オルビスホールディングス	7,900	1,927.00	15,223,300
ノエビアホールディングス	900	5,590.00	5,031,000
新日本製薬	300	1,592.00	477,600
アクシージア	100	1,210.00	121,000
エステー	1,000	1,526.00	1,526,000
コニシ	3,900	2,435.00	9,496,500
長谷川香料	4,000	3,275.00	13,100,000
星光PMC	700	561.00	392,700
小林製薬	4,100	7,715.00	31,631,500
荒川化学工業	1,200	1,002.00	1,202,400
メック	700	3,680.00	2,576,000
タカラバイオ	1,400	1,411.00	1,975,400
J C U	2,200	3,170.00	6,974,000
新田ゼラチン	1,200	716.00	859,200
O A Tアグリオ	100	1,702.00	170,200
デクセリアルズ	2,000	3,329.00	6,658,000
アース製薬	1,000	4,930.00	4,930,000

北興化学工業	1,000	891.00	891,000
クミアイ化学工業	6,600	1,061.00	7,002,600
日本農薬	3,900	658.00	2,566,200
アキレス	1,000	1,469.00	1,469,000
有沢製作所	1,400	1,005.00	1,407,000
日東電工	14,500	9,709.00	140,780,500
レック	100	938.00	93,800
三光合成	900	657.00	591,300
きもと	2,100	182.00	382,200
藤森工業	1,200	3,630.00	4,356,000
前澤化成工業	700	1,499.00	1,049,300
ウェーブロックホールディングス	700	628.00	439,600
J S P	1,200	1,951.00	2,341,200
エフピコ	4,100	2,749.00	11,270,900
天馬	1,200	2,538.00	3,045,600
信越ポリマー	3,600	1,347.00	4,849,200
東リ	100	357.00	35,700
ニフコ	3,800	4,156.00	15,792,800
バルカー	1,700	3,900.00	6,630,000
ユニ・チャーム	8,000	5,784.00	46,272,000
協和キリン	13,900	2,706.00	37,613,400
武田薬品工業	100,300	4,449.00	446,234,700
アステラス製薬	98,000	2,213.50	216,923,000
住友ファーマ	8,500	505.00	4,292,500
塩野義製薬	6,100	6,309.00	38,484,900
日本新薬	1,100	5,885.00	6,473,500
中外製薬	35,100	4,288.00	150,508,800
科研製薬	900	3,581.00	3,222,900
エーザイ	12,900	9,535.00	123,001,500
ロート製薬	10,400	3,662.00	38,084,800
小野薬品工業	22,800	2,806.50	63,988,200
久光製薬	1,100	4,863.00	5,349,300
持田製薬	600	3,350.00	2,010,000
参天製薬	21,100	1,361.00	28,717,100
扶桑薬品工業	100	2,036.00	203,600
ツムラ	1,500	2,643.00	3,964,500
キッセイ薬品工業	1,700	3,520.00	5,984,000
生化学工業	100	798.00	79,800
栄研化学	2,100	1,439.00	3,021,900
鳥居薬品	300	3,650.00	1,095,000

JCRファーマ	2,700	1,252.50	3,381,750
東和薬品	1,500	2,132.00	3,198,000
富士製薬工業	900	1,107.00	996,300
ゼリア新薬工業	1,500	2,413.00	3,619,500
そーせいグループ	3,200	1,700.00	5,440,000
第一三共	99,400	4,381.00	435,471,400
杏林製薬	1,100	1,744.00	1,918,400
大幸薬品	1,400	341.00	477,400
ダイト	100	2,469.00	246,900
大塚ホールディングス	10,100	5,618.00	56,741,800
大正製薬ホールディングス	2,400	6,200.00	14,880,000
ペプチドリーム	2,000	1,810.00	3,620,000
あすか製薬ホールディングス	1,200	1,680.00	2,016,000
サワイグループホールディングス	1,300	3,745.00	4,868,500
日本コークス工業	8,600	113.00	971,800
ニチレキ	700	2,160.00	1,512,000
ユシロ化学工業	800	1,413.00	1,130,400
ビーピー・カストロール	300	880.00	264,000
富士石油	900	310.00	279,000
MORESCO	300	1,187.00	356,100
出光興産	11,700	3,058.00	35,778,600
ENEOSホールディングス	217,200	532.00	115,550,400
コスモエネルギーホールディングス	3,500	4,947.00	17,314,500
横浜ゴム	1,100	2,952.00	3,247,200
TOYO TIRE	1,200	2,085.00	2,502,000
ブリヂストン	6,900	5,592.00	38,584,800
住友ゴム工業	2,200	1,461.00	3,214,200
藤倉コンポジット	500	979.00	489,500
オカモト	1,000	4,455.00	4,455,000
ニッタ	600	3,320.00	1,992,000
住友理工	900	915.00	823,500
三ツ星ベルト	900	4,550.00	4,095,000
バンドー化学	1,500	1,519.00	2,278,500
日東紡績	400	3,925.00	1,570,000
AGC	4,900	4,888.00	23,951,200
日本板硝子	3,200	806.00	2,579,200
石塚硝子	100	2,134.00	213,400
日本山村硝子	300	1,717.00	515,100
日本電気硝子	3,000	2,505.00	7,515,000
オハラ	200	1,345.00	269,000

住友大阪セメント	200	4,045.00	809,000
太平洋セメント	600	2,822.00	1,693,200
日本ヒューム	700	755.00	528,500
日本コンクリート工業	1,600	325.00	520,000
三谷セキサン	600	4,795.00	2,877,000
アジアパイルホールディングス	1,000	639.00	639,000
東海カーボン	900	1,133.00	1,019,700
日本カーボン	300	4,320.00	1,296,000
東洋炭素	400	6,010.00	2,404,000
ノリタケカンパニーリミテド	300	6,130.00	1,839,000
TOTO	7,400	3,951.00	29,237,400
日本碍子	6,400	1,911.00	12,230,400
日本特殊陶業	1,900	3,295.00	6,260,500
ダントーホールディングス	600	890.00	534,000
MARUWA	200	26,710.00	5,342,000
品川リフラクトリーズ	200	7,170.00	1,434,000
黒崎播磨	100	10,390.00	1,039,000
ヨータイ	600	1,501.00	900,600
東京窯業	1,100	344.00	378,400
ニッカトー	200	610.00	122,000
フジインコーポレーテッド	4,200	3,295.00	13,839,000
エーアンドエーマテリアル	200	1,187.00	237,400
ニチアス	3,000	2,962.00	8,886,000
ニチハ	500	3,235.00	1,617,500
日本製鉄	2,500	3,390.00	8,475,000
神戸製鋼所	2,100	1,770.00	3,717,000
中山製鋼所	600	880.00	528,000
合同製鐵	100	4,200.00	420,000
JFEホールディングス	1,500	2,251.00	3,376,500
東京製鐵	600	1,668.00	1,000,800
共英製鋼	100	1,951.00	195,100
大和工業	2,300	7,113.00	16,359,900
東京鐵鋼	200	3,390.00	678,000
大阪製鐵	200	1,605.00	321,000
淀川製鋼所	100	3,510.00	351,000
中部鋼板	1,000	2,033.00	2,033,000
丸一鋼管	4,300	3,546.00	15,247,800
モリ工業	100	3,405.00	340,500
大同特殊鋼	1,700	5,852.00	9,948,400
日本高周波鋼業	100	434.00	43,400

日本冶金工業	100	4,385.00	438,500
山陽特殊製鋼	1,400	2,691.00	3,767,400
愛知製鋼	900	3,640.00	3,276,000
日本金属	100	911.00	91,100
大平洋金属	200	1,497.00	299,400
新日本電工	1,900	273.00	518,700
栗本鐵工所	300	2,899.00	869,700
缸技	200	1,414.00	282,800
日本鑄鉄管	100	1,071.00	107,100
三菱製鋼	100	1,415.00	141,500
日本精線	100	4,760.00	476,000
エンビプロ・ホールディングス	600	562.00	337,200
シンニッタン	600	244.00	146,400
新家工業	100	2,690.00	269,000
大紀アルミニウム工業所	1,200	1,429.00	1,714,800
日本軽金属ホールディングス	3,400	1,540.00	5,236,000
三井金属鉱業	4,000	3,550.00	14,200,000
東邦亜鉛	900	1,693.00	1,523,700
三菱マテリアル	600	2,360.00	1,416,000
住友金属鉱山	23,900	4,436.00	106,020,400
DOWAホールディングス	4,500	4,649.00	20,920,500
古河機械金属	700	1,704.00	1,192,800
エス・サイエンス	6,700	23.00	154,100
大阪チタニウムテクノロジーズ	100	3,060.00	306,000
東邦チタニウム	2,000	1,937.00	3,874,000
UACJ	1,900	3,110.00	5,909,000
古河電気工業	2,100	2,385.00	5,008,500
住友電気工業	10,200	1,780.50	18,161,100
フジクラ	10,300	1,164.00	11,989,200
SWCC	1,400	1,879.00	2,630,600
タツタ電線	2,100	710.00	1,491,000
平河ヒューテック	800	1,615.00	1,292,000
リョービ	1,000	2,711.00	2,711,000
アーレスティ	600	761.00	456,600
AREホールディングス	7,900	1,870.00	14,773,000
稲葉製作所	100	1,541.00	154,100
宮地エンジニアリンググループ	200	5,780.00	1,156,000
トーカロ	1,300	1,421.00	1,847,300
SUMCO	8,500	1,900.50	16,154,250
川田テクノロジーズ	200	5,320.00	1,064,000

RS Technologies	700	2,791.00	1,953,700
ジェイテックコーポレーション	100	2,430.00	243,000
東洋製罐グループホールディングス	8,700	2,384.50	20,745,150
コロナ	100	906.00	90,600
横河ブリッジホールディングス	1,900	2,677.00	5,086,300
駒井ハルテック	200	1,837.00	367,400
三和ホールディングス	4,300	2,043.00	8,784,900
文化シヤッター	3,200	1,070.00	3,424,000
三協立山	1,000	887.00	887,000
アルインコ	800	1,066.00	852,800
LIXIL	18,800	1,813.50	34,093,800
ノーリツ	1,600	1,588.00	2,540,800
長府製作所	200	2,140.00	428,000
リンナイ	1,200	2,781.00	3,337,200
ダイニチ工業	100	735.00	73,500
岡部	2,200	727.00	1,599,400
ジーテクト	400	1,839.00	735,600
東プレ	2,200	1,651.00	3,632,200
高周波熱錬	2,500	974.00	2,435,000
東京製綱	900	1,188.00	1,069,200
サンコール	100	477.00	47,700
モリテック スチール	1,000	300.00	300,000
パイオラックス	300	2,172.00	651,600
エイチワン	1,000	773.00	773,000
日本発條	1,900	1,124.50	2,136,550
三益半導体工業	900	2,732.00	2,458,800
日本製鋼所	1,300	2,998.50	3,898,050
三浦工業	4,500	3,260.00	14,670,000
タクマ	3,200	1,566.00	5,011,200
ツガミ	2,400	1,177.00	2,824,800
オークマ	900	6,802.00	6,121,800
芝浦機械	800	4,205.00	3,364,000
アマダ	15,800	1,446.50	22,854,700
アイダエンジニアリング	3,100	993.00	3,078,300
TAKISAWA	200	2,533.00	506,600
FUJI	4,600	2,395.00	11,017,000
牧野フライス製作所	1,000	6,170.00	6,170,000
オーエスジー	2,600	1,850.00	4,810,000
旭ダイヤモンド工業	2,200	870.00	1,914,000
DMG森精機	5,800	2,474.00	14,349,200

ソディック	2,600	690.00	1,794,000
ディスコ	2,200	25,865.00	56,903,000
日東工器	700	1,944.00	1,360,800
日進工具	800	1,129.00	903,200
パンチ工業	800	445.00	356,000
富士ダイス	400	622.00	248,800
豊和工業	800	789.00	631,200
石川製作所	200	1,352.00	270,400
東洋機械金属	900	681.00	612,900
津田駒工業	200	396.00	79,200
エンシュウ	200	767.00	153,400
島精機製作所	1,500	1,925.00	2,887,500
オプトラン	1,400	1,894.00	2,651,600
NCホールディングス	200	1,944.00	388,800
フリー	1,200	1,635.00	1,962,000
ヤマシンフィルタ	2,100	320.00	672,000
日阪製作所	1,300	937.00	1,218,100
やまびこ	2,100	1,403.00	2,946,300
野村マイクロ・サイエンス	200	5,660.00	1,132,000
平田機工	600	7,430.00	4,458,000
PEGASUS	1,000	564.00	564,000
マルマエ	200	1,730.00	346,000
タツモ	400	2,366.00	946,400
ナブテスコ	3,800	2,707.50	10,288,500
三井海洋開発	1,200	1,560.00	1,872,000
レオン自動機	1,000	1,366.00	1,366,000
SMC	1,700	70,440.00	119,748,000
ホソカワミクロン	600	3,615.00	2,169,000
ユニオンツール	300	3,515.00	1,054,500
オイレス工業	1,200	2,030.00	2,436,000
日精エー・エス・ビー機械	200	4,005.00	801,000
サトーホールディングス	300	2,005.00	601,500
技研製作所	900	2,002.00	1,801,800
日本エアーテック	400	1,168.00	467,200
カワタ	200	1,049.00	209,800
日精樹脂工業	1,100	1,024.00	1,126,400
オカダアイヨン	200	2,266.00	453,200
ワイエイシイホールディングス	400	2,607.00	1,042,800
小松製作所	53,200	4,057.00	215,832,400
住友重機械工業	3,700	3,454.00	12,779,800

日立建機	4,300	4,323.00	18,588,900
日工	1,500	656.00	984,000
巴工業	500	2,912.00	1,456,000
井関農機	1,200	1,183.00	1,419,600
TOWA	1,000	2,986.00	2,986,000
丸山製作所	200	2,143.00	428,600
北川鉄工所	400	1,362.00	544,800
ローツェ	500	11,300.00	5,650,000
クボタ	34,000	2,194.50	74,613,000
荏原実業	400	2,760.00	1,104,000
三菱化工機	300	2,691.00	807,300
月島ホールディングス	2,100	1,322.00	2,776,200
帝国電機製作所	1,000	2,560.00	2,560,000
東京機械製作所	700	413.00	289,100
新東工業	2,800	1,057.00	2,959,600
澁谷工業	900	2,493.00	2,243,700
アイチ コーポレーション	1,400	907.00	1,269,800
小森コーポレーション	3,500	1,123.00	3,930,500
鶴見製作所	700	2,780.00	1,946,000
日本ギア工業	100	444.00	44,400
酒井重工業	200	5,020.00	1,004,000
荏原製作所	4,600	6,786.00	31,215,600
石井鐵工所	200	2,768.00	553,600
西島製作所	1,000	1,790.00	1,790,000
北越工業	1,100	1,848.00	2,032,800
ダイキン工業	13,100	24,680.00	323,308,000
オルガノ	1,100	3,930.00	4,323,000
トーヨーカネツ	300	3,400.00	1,020,000
栗田工業	6,100	5,790.00	35,319,000
椿本チエイン	900	3,805.00	3,424,500
大同工業	600	718.00	430,800
木村化工機	1,000	732.00	732,000
アネスト岩田	1,900	1,227.00	2,331,300
ダイフク	8,600	2,739.50	23,559,700
サムコ	200	4,870.00	974,000
加藤製作所	400	1,236.00	494,400
タダノ	2,600	1,139.00	2,961,400
フジテック	1,700	3,637.00	6,182,900
CKD	3,100	2,019.00	6,258,900
平和	2,700	2,255.00	6,088,500

理想科学工業	1,200	2,213.00	2,655,600
SANKYO	400	6,206.00	2,482,400
日本金銭機械	1,100	1,012.00	1,113,200
マースグループホールディングス	100	2,723.00	272,300
フクシマガリレイ	700	4,860.00	3,402,000
オーイズミ	700	438.00	306,600
ダイコク電機	800	4,950.00	3,960,000
竹内製作所	1,800	4,355.00	7,839,000
アマノ	2,700	3,079.00	8,313,300
JUKI	1,900	589.00	1,119,100
サンデン	700	194.00	135,800
ジャノメ	200	657.00	131,400
マックス	1,500	2,771.00	4,156,500
グローリー	3,000	2,977.50	8,932,500
新晃工業	1,000	1,908.00	1,908,000
大和冷機工業	1,500	1,386.00	2,079,000
セガサミーホールディングス	11,800	2,983.50	35,205,300
日本ピストンリング	100	1,642.00	164,200
リケン	100	3,185.00	318,500
TPR	100	1,768.00	176,800
ツバキ・ナカシマ	2,400	805.00	1,932,000
ホシザキ	6,900	5,418.00	37,384,200
大豊工業	200	805.00	161,000
日本精工	9,200	845.20	7,775,840
NTN	11,700	290.30	3,396,510
ジェイテクト	2,200	1,280.00	2,816,000
不二越	400	3,955.00	1,582,000
日本トムソン	2,300	563.00	1,294,900
THK	3,100	2,611.00	8,094,100
ユーシン精機	900	687.00	618,300
イーグル工業	1,200	1,705.00	2,046,000
日本ピラー工業	1,400	4,125.00	5,775,000
キッツ	2,100	996.00	2,091,600
マキタ	13,500	4,134.00	55,809,000
三井E&S	3,700	490.00	1,813,000
日立造船	10,300	861.00	8,868,300
三菱重工業	17,700	7,771.00	137,546,700
IHI	7,400	3,473.00	25,700,200
サノヤスホールディングス	1,600	135.00	216,000
スター精密	1,700	1,776.00	3,019,200

日清紡ホールディングス	5,000	1,100.00	5,500,000
イビデン	3,700	8,288.00	30,665,600
コニカミノルタ	28,700	464.10	13,319,670
ブラザー工業	15,000	2,545.00	38,175,000
ミネベアミツミ	18,300	2,504.00	45,823,200
日立製作所	54,000	9,350.00	504,900,000
東芝	21,400	4,601.00	98,461,400
三菱電機	111,800	1,844.00	206,159,200
富士電機	3,600	6,652.00	23,947,200
東洋電機製造	700	956.00	669,200
安川電機	14,200	5,768.00	81,905,600
シンフォニアテクノロジー	1,400	1,560.00	2,184,000
明電舎	800	2,199.00	1,759,200
オリジン	200	1,253.00	250,600
山洋電気	400	7,180.00	2,872,000
デンヨー	400	2,050.00	820,000
PHCホールディングス	1,400	1,409.00	1,972,600
ソシオネクスト	1,000	16,620.00	16,620,000
東芝テック	1,700	3,535.00	6,009,500
芝浦メカトロニクス	200	23,630.00	4,726,000
マブチモーター	1,400	4,417.00	6,183,800
ニデック	14,000	7,786.00	109,004,000
ユー・エム・シー・エレクトロニクス	700	508.00	355,600
トレックス・セミコンダクター	600	2,292.00	1,375,200
東光高岳	500	2,255.00	1,127,500
ダブル・スコープ	3,200	1,158.00	3,705,600
ダイヘン	400	5,080.00	2,032,000
ヤーマン	2,000	1,039.00	2,078,000
JVCケンウッド	1,900	615.00	1,168,500
ミマキエンジニアリング	1,100	782.00	860,200
IPEX	300	1,389.00	416,700
大崎電気工業	2,500	624.00	1,560,000
オムロン	10,000	7,013.00	70,130,000
日東工業	1,100	3,660.00	4,026,000
IDEC	1,700	3,070.00	5,219,000
正興電機製作所	200	1,085.00	217,000
ジーエス・ユアサコーポレーション	1,800	2,681.50	4,826,700
サクサホールディングス	100	2,263.00	226,300
メルコホールディングス	200	3,090.00	618,000
ダイヤモンドエレクトリックホールディングス	200	817.00	163,400

日本電気	13,200	7,263.00	95,871,600
富士通	9,400	18,140.00	170,516,000
沖電気工業	5,400	896.00	4,838,400
岩崎通信機	700	823.00	576,100
電気興業	300	2,408.00	722,400
サンケン電気	1,000	10,640.00	10,640,000
アイホン	500	2,877.00	1,438,500
ルネサスエレクトロニクス	32,400	2,462.50	79,785,000
セイコーエプソン	14,100	2,353.50	33,184,350
ワコム	7,400	588.00	4,351,200
アルバック	2,600	5,697.00	14,812,200
アクセル	300	1,753.00	525,900
E I Z O	800	4,800.00	3,840,000
ジャパンディスプレイ	30,500	38.00	1,159,000
日本信号	2,400	976.00	2,342,400
京三製作所	3,500	455.00	1,592,500
能美防災	1,500	1,716.00	2,574,000
ホーチキ	900	1,633.00	1,469,700
エレコム	2,400	1,712.00	4,108,800
パナソニック ホールディングス	27,400	1,609.00	44,086,600
シャープ	3,400	880.70	2,994,380
アンリツ	9,600	1,019.50	9,787,200
富士通ゼネラル	500	2,845.50	1,422,750
ソニーグループ	91,400	12,220.00	1,116,908,000
TDK	11,600	5,177.00	60,053,200
タムラ製作所	3,900	582.00	2,269,800
アルプスアルパイン	10,500	1,185.50	12,447,750
池上通信機	200	700.00	140,000
日本電波工業	1,100	1,467.00	1,613,700
鈴木	700	1,092.00	764,400
メイコー	500	2,996.00	1,498,000
日本トリム	200	2,941.00	588,200
ローランド ディー. ジー.	700	3,355.00	2,348,500
フォスター電機	1,300	880.00	1,144,000
SMK	200	2,478.00	495,600
ヨコオ	800	1,817.00	1,453,600
ティアック	1,200	114.00	136,800
ホシデン	2,400	1,738.00	4,171,200
ヒロセ電機	1,800	17,205.00	30,969,000
日本航空電子工業	2,200	2,963.00	6,518,600

TOA	1,200	1,052.00	1,262,400
マクセル	2,100	1,528.00	3,208,800
古野電気	1,200	1,282.00	1,538,400
スミダコーポレーション	700	1,672.00	1,170,400
アイコム	600	2,931.00	1,758,600
リオン	400	2,130.00	852,000
横河電機	11,600	2,837.50	32,915,000
新電元工業	300	2,988.00	896,400
アズビル	7,600	4,748.00	36,084,800
日本光電工業	6,100	3,672.00	22,399,200
日本電子材料	600	1,494.00	896,400
堀場製作所	2,400	7,445.00	17,868,000
アドバンテスト	7,600	18,120.00	137,712,000
エスペック	1,000	2,264.00	2,264,000
キーエンス	9,900	59,790.00	591,921,000
日置電機	600	7,750.00	4,650,000
シスメックス	10,400	7,944.00	82,617,600
日本マイクロニクス	1,500	2,086.00	3,129,000
メガチップス	1,100	4,155.00	4,570,500
OBARA GROUP	600	3,890.00	2,334,000
澤藤電機	100	1,270.00	127,000
コーセル	1,100	1,292.00	1,421,200
イリソ電子工業	700	3,900.00	2,730,000
オプテックスグループ	1,700	1,705.00	2,898,500
千代田インテグレ	600	2,516.00	1,509,600
レーザーテック	4,000	21,610.00	86,440,000
スタンレー電気	1,600	2,571.50	4,114,400
ウシオ電機	6,000	1,808.50	10,851,000
岡谷電機産業	900	304.00	273,600
ヘリオス テクノ ホールディング	1,000	449.00	449,000
エノモト	200	1,683.00	336,600
日本セラミック	900	2,486.00	2,237,400
遠藤照明	700	1,232.00	862,400
古河電池	100	952.00	95,200
双信電機	600	336.00	201,600
山一電機	900	1,911.00	1,719,900
図研	800	3,850.00	3,080,000
日本電子	2,200	4,669.00	10,271,800
カシオ計算機	9,100	1,276.00	11,611,600
ファナック	52,600	4,094.00	215,344,400

日本シイエムケイ	2,300	556.00	1,278,800
エンプラス	300	10,630.00	3,189,000
大真空	1,200	737.00	884,400
ローム	1,900	12,395.00	23,550,500
浜松ホトニクス	9,000	6,455.00	58,095,000
三井ハイテック	500	9,520.00	4,760,000
新光電気工業	3,400	5,855.00	19,907,000
京セラ	12,700	7,334.00	93,141,800
太陽誘電	3,900	4,007.00	15,627,300
村田製作所	25,700	8,072.00	207,450,400
双葉電子工業	1,400	497.00	695,800
北陸電気工業	400	1,413.00	565,200
ニチコン	1,500	1,400.00	2,100,000
日本ケミコン	500	1,427.00	713,500
KOA	1,200	1,816.00	2,179,200
市光工業	800	516.00	412,800
小糸製作所	3,000	2,550.50	7,651,500
ミツバ	700	743.00	520,100
SCREENホールディングス	1,700	14,485.00	24,624,500
キャノン電子	1,100	1,860.00	2,046,000
キャノン	57,500	3,579.00	205,792,500
リコー	25,000	1,193.00	29,825,000
象印マホービン	400	1,810.00	724,000
MUTOHホールディングス	100	2,030.00	203,000
東京エレクトロン	23,800	20,610.00	490,518,000
イノテック	700	1,522.00	1,065,400
トヨタ紡織	4,500	2,714.00	12,213,000
芦森工業	100	2,032.00	203,200
ユニプレス	800	1,176.00	940,800
豊田自動織機	4,100	10,145.00	41,594,500
モリタホールディングス	2,400	1,598.00	3,835,200
三櫻工業	1,200	834.00	1,000,800
デンソー	22,300	9,752.00	217,469,600
東海理化電機製作所	700	2,263.00	1,584,100
川崎重工業	8,000	3,588.00	28,704,000
名村造船所	800	880.00	704,000
日本車輛製造	300	2,014.00	604,200
三菱ロジスネクスト	1,000	1,389.00	1,389,000
近畿車輛	200	1,727.00	345,400
日産自動車	162,600	608.80	98,990,880

いすゞ自動車	30,200	1,778.50	53,710,700
トヨタ自動車	742,200	2,419.00	1,795,381,800
日野自動車	14,400	579.30	8,341,920
三菱自動車工業	48,500	566.10	27,455,850
エフテック	300	755.00	226,500
GMB	100	1,571.00	157,100
武蔵精密工業	100	1,724.00	172,400
日産車体	2,700	872.00	2,354,400
新明和工業	3,200	1,310.00	4,192,000
極東開発工業	2,200	1,796.00	3,951,200
トピー工業	100	2,185.00	218,500
ティラド	100	2,072.00	207,200
曙ブレーキ工業	1,800	133.00	239,400
タチエス	1,400	1,614.00	2,259,600
NOK	1,000	1,937.00	1,937,000
フタバ産業	3,000	622.00	1,866,000
KYB	100	4,795.00	479,500
大同メタル工業	800	525.00	420,000
プレス工業	4,400	652.00	2,868,800
ミクニ	1,800	453.00	815,400
太平洋工業	900	1,408.00	1,267,200
河西工業	1,700	243.00	413,100
アイシン	2,000	4,634.00	9,268,000
マツダ	45,500	1,411.50	64,223,250
今仙電機製作所	300	636.00	190,800
本田技研工業	81,500	4,503.00	366,994,500
スズキ	21,700	5,232.00	113,534,400
SUBARU	36,400	2,620.50	95,386,200
安永	100	862.00	86,200
ヤマハ発動機	3,900	3,828.00	14,929,200
TBK	1,100	391.00	430,100
エクセディ	600	2,515.00	1,509,000
豊田合成	700	3,082.00	2,157,400
愛三工業	2,000	1,218.00	2,436,000
日本プラスト	900	469.00	422,100
ヨロズ	200	885.00	177,000
エフ・シー・シー	700	1,928.00	1,349,600
シマノ	800	21,190.00	16,952,000
テイ・エス テック	5,600	1,706.50	9,556,400
ジャムコ	700	1,487.00	1,040,900

テルモ	29,600	4,315.00	127,724,000
日機装	2,700	980.00	2,646,000
日本エム・ディ・エム	600	818.00	490,800
島津製作所	14,800	4,245.00	62,826,000
JMS	900	522.00	469,800
長野計器	800	2,339.00	1,871,200
ブイ・テクノロジー	600	2,221.00	1,332,600
東京計器	700	1,409.00	986,300
インターアクション	100	1,024.00	102,400
オーバル	1,000	402.00	402,000
東京精密	1,900	7,820.00	14,858,000
マニー	4,200	1,887.00	7,925,400
ニコン	3,400	1,532.50	5,210,500
トプコン	5,800	1,644.00	9,535,200
オリンパス	76,200	1,970.00	150,114,000
理研計器	600	5,130.00	3,078,000
タムロン	900	4,810.00	4,329,000
HOYA	16,700	16,265.00	271,625,500
シード	700	653.00	457,100
ノーリツ鋼機	800	2,751.00	2,200,800
A&Dホロンホールディングス	1,000	1,588.00	1,588,000
朝日インテック	9,600	2,743.50	26,337,600
シチズン時計	8,800	880.00	7,744,000
大研医器	1,000	545.00	545,000
メニコン	4,100	2,104.00	8,626,400
シンシア	100	576.00	57,600
松風	200	2,120.00	424,000
セイコーグループ	1,800	2,683.00	4,829,400
ニプロ	6,700	1,108.00	7,423,600
KYORITSU	600	170.00	102,000
中本ボックス	100	1,638.00	163,800
スノーピーク	200	1,590.00	318,000
パラマウントベッドホールディングス	2,000	2,268.00	4,536,000
トランザクション	200	1,932.00	386,400
ニホンフラッシュ	900	911.00	819,900
前田工織	1,800	3,150.00	5,670,000
アートネイチャー	900	794.00	714,600
バンダイナムコホールディングス	30,600	3,412.00	104,407,200
SHOEI	2,000	2,510.00	5,020,000
フランスベッドホールディングス	1,900	1,237.00	2,350,300

パイロットコーポレーション	200	4,609.00	921,800
萩原工業	100	1,581.00	158,100
フジシールインターナショナル	3,800	1,645.00	6,251,000
タカラトミー	5,100	2,312.00	11,791,200
広済堂ホールディングス	200	2,615.00	523,000
ウッドワン	100	1,040.00	104,000
大建工業	1,200	3,030.00	3,636,000
凸版印刷	2,100	3,276.00	6,879,600
大日本印刷	1,900	3,909.00	7,427,100
N I S S H A	2,100	1,737.00	3,647,700
TAKARA & COMPANY	400	2,292.00	916,800
アシックス	11,700	5,227.00	61,155,900
ローランド	1,100	3,795.00	4,174,500
小松ウオール工業	200	2,907.00	581,400
ヤマハ	6,800	4,580.00	31,144,000
河合楽器製作所	300	3,235.00	970,500
ピジョン	7,800	1,761.00	13,735,800
リンテック	3,700	2,319.00	8,580,300
イトーキ	300	1,372.00	411,600
任天堂	53,200	6,294.00	334,840,800
三菱鉛筆	200	1,870.00	374,000
タカラスタANDARD	2,400	1,843.00	4,423,200
コクヨ	900	2,235.00	2,011,500
グローブライド	200	1,981.00	396,200
オカムラ	500	2,237.00	1,118,500
美津濃	200	4,505.00	901,000
東京電力ホールディングス	124,400	600.90	74,751,960
中部電力	55,300	1,826.00	100,977,800
関西電力	33,200	1,900.00	63,080,000
中国電力	12,400	941.60	11,675,840
北陸電力	5,700	811.50	4,625,550
東北電力	19,400	949.00	18,410,600
四国電力	6,000	991.50	5,949,000
九州電力	20,400	915.60	18,678,240
北海道電力	8,200	628.70	5,155,340
沖縄電力	1,600	1,131.00	1,809,600
電源開発	1,400	2,229.50	3,121,300
エフオン	100	508.00	50,800
イーレックス	100	984.00	98,400
レノバ	2,500	1,418.00	3,545,000

東京瓦斯	19,100	3,289.00	62,819,900
大阪瓦斯	18,700	2,282.50	42,682,750
東邦瓦斯	4,600	2,503.50	11,516,100
西部ガスホールディングス	700	1,986.00	1,390,200
静岡ガス	1,600	1,051.00	1,681,600
メタウォーター	900	1,880.00	1,692,000
SBSホールディングス	1,200	3,115.00	3,738,000
東武鉄道	13,400	4,017.00	53,827,800
相鉄ホールディングス	4,200	2,872.50	12,064,500
東急	44,800	1,847.50	82,768,000
京浜急行電鉄	11,800	1,323.00	15,611,400
小田急電鉄	19,300	2,184.00	42,151,200
京王電鉄	5,700	5,028.00	28,659,600
京成電鉄	6,300	5,753.00	36,243,900
富士急行	1,400	5,470.00	7,658,000
東日本旅客鉄道	18,000	8,105.00	145,890,000
西日本旅客鉄道	13,500	6,156.00	83,106,000
東海旅客鉄道	7,800	18,395.00	143,481,000
西武ホールディングス	12,900	1,617.50	20,865,750
鴻池運輸	2,200	1,970.00	4,334,000
西日本鉄道	3,500	2,682.00	9,387,000
ハマキョウレックス	700	4,120.00	2,884,000
サカイ引越センター	500	5,340.00	2,670,000
近鉄グループホールディングス	12,700	4,716.00	59,893,200
阪急阪神ホールディングス	19,500	5,038.00	98,241,000
南海電気鉄道	5,000	2,960.00	14,800,000
京阪ホールディングス	6,600	4,126.00	27,231,600
名古屋鉄道	8,800	2,229.50	19,619,600
ヤマトホールディングス	18,400	2,671.00	49,146,400
山九	2,100	5,062.00	10,630,200
丸全昭和運輸	900	4,030.00	3,627,000
センコーグループホールディングス	6,800	1,029.00	6,997,200
トナミホールディングス	200	4,785.00	957,000
ニッコンホールディングス	2,600	3,171.00	8,244,600
福山通運	700	3,715.00	2,600,500
セイノーホールディングス	4,600	2,033.00	9,351,800
AZ-COM丸和ホールディングス	2,700	2,180.00	5,886,000
C&Fロジホールディングス	800	1,303.00	1,042,400
九州旅客鉄道	7,400	3,155.00	23,347,000
SGホールディングス	15,300	2,115.00	32,359,500

NIPPON EXPRESSホールディングス	5,800	7,791.00	45,187,800
日本郵船	21,700	3,839.00	83,306,300
商船三井	13,700	4,058.00	55,594,600
川崎汽船	2,500	4,951.00	12,377,500
NSユナイテッド海運	200	4,010.00	802,000
明治海運	300	783.00	234,900
飯野海運	2,300	982.00	2,258,600
乾汽船	300	1,140.00	342,000
日本航空	19,000	3,108.00	59,052,000
ANAホールディングス	20,700	3,383.00	70,028,100
パスコ	200	1,681.00	336,200
トランコム	400	7,460.00	2,984,000
日新	900	2,536.00	2,282,400
三菱倉庫	3,400	3,816.00	12,974,400
三井倉庫ホールディングス	1,300	4,080.00	5,304,000
住友倉庫	2,500	2,431.00	6,077,500
ファイズホールディングス	200	1,166.00	233,200
東洋埠頭	200	1,379.00	275,800
上組	8,000	3,292.00	26,336,000
キューソー流通システム	400	928.00	371,200
東海運	700	287.00	200,900
エーアイテイー	1,000	1,933.00	1,933,000
内外トランスライン	400	2,665.00	1,066,000
NECネットエスアイ	3,000	1,918.00	5,754,000
クロスキャット	400	1,032.00	412,800
システナ	16,600	264.00	4,382,400
デジタルアーツ	600	4,745.00	2,847,000
日鉄ソリューションズ	1,700	3,895.00	6,621,500
キューブシステム	600	1,158.00	694,800
コア	400	1,765.00	706,000
手間いらず	100	3,420.00	342,000
ラクーンホールディングス	500	722.00	361,000
ソリトンシステムズ	400	1,100.00	440,000
ソフトクリエイイトホールディングス	900	1,848.00	1,663,200
TIS	15,700	3,300.00	51,810,000
JNSホールディングス	300	454.00	136,200
グリー	2,800	640.00	1,792,000
GMOペパボ	100	1,433.00	143,300
コーエーテクモホールディングス	6,700	2,269.50	15,205,650

三菱総合研究所	400	5,060.00	2,024,000
ボルテージ	300	289.00	86,700
ファインデックス	1,200	661.00	793,200
ブレインパッド	600	923.00	553,800
KL a b	3,100	298.00	923,800
ポールトゥウィンホールディングス	1,400	674.00	943,600
ネクソン	42,100	2,740.50	115,375,050
アイスタイル	3,000	460.00	1,380,000
エムアップホールディングス	800	1,362.00	1,089,600
エイチーム	1,000	670.00	670,000
エニグモ	1,000	377.00	377,000
テクノスジャパン	800	722.00	577,600
e n i s h	700	276.00	193,200
コロプラ	5,600	622.00	3,483,200
オルトプラス	900	230.00	207,000
ブロードリーフ	4,600	451.00	2,074,600
クロス・マーケティンググループ	200	788.00	157,600
デジタルハーツホールディングス	700	1,218.00	852,600
システム情報	800	716.00	572,800
メディアドゥ	300	1,165.00	349,500
じげん	2,400	603.00	1,447,200
ブイキューブ	800	394.00	315,200
サイバーリンクス	400	671.00	268,400
ディー・エル・イー	300	254.00	76,200
フィックスターズ	1,000	1,216.00	1,216,000
CARTA HOLDINGS	300	1,164.00	349,200
オプティム	800	913.00	730,400
セレス	200	1,015.00	203,000
SHIFT	700	31,590.00	22,113,000
ティーガイア	1,200	1,684.00	2,020,800
セック	200	3,230.00	646,000
テクマトリックス	1,500	1,484.00	2,226,000
ガンホー・オンライン・エンターテイメント	4,800	2,472.50	11,868,000
GMOペイメントゲートウェイ	2,100	9,493.00	19,935,300
ザッパラス	600	472.00	283,200
システムリサーチ	200	2,615.00	523,000
インターネットイニシアティブ	6,700	2,582.00	17,299,400
さくらインターネット	1,100	973.00	1,070,300
ヴィンクス	200	1,332.00	266,400

GMOグローバルサイン・ホールディングス	300	2,812.00	843,600
SRAホールディングス	500	3,225.00	1,612,500
システムインテグレータ	400	423.00	169,200
朝日ネット	800	614.00	491,200
eBASE	1,200	699.00	838,800
アバントグループ	1,200	1,410.00	1,692,000
アドソル日進	400	1,690.00	676,000
フリービット	700	1,149.00	804,300
コムチュア	1,000	2,266.00	2,266,000
サイバーコム	200	1,325.00	265,000
アステリア	800	811.00	648,800
アイル	800	2,608.00	2,086,400
マークライNZ	400	2,848.00	1,139,200
メディカル・データ・ビジョン	1,000	619.00	619,000
gumi	1,700	675.00	1,147,500
ショーケース	200	368.00	73,600
モバイルファクトリー	200	801.00	160,200
テラスカイ	300	2,070.00	621,000
デジタル・インフォメーション・テクノロジー	300	1,895.00	568,500
PCIホールディングス	200	1,020.00	204,000
アイビーシー	200	613.00	122,600
ネオジャパン	200	999.00	199,800
PR TIMES	200	1,750.00	350,000
ラクス	4,500	2,311.50	10,401,750
ダブルスタンダード	400	1,793.00	717,200
オープンドア	1,500	1,187.00	1,780,500
マイネット	400	336.00	134,400
アカツキ	600	1,908.00	1,144,800
ベネフィットジャパン	100	1,221.00	122,100
Ubicomホールディングス	200	1,358.00	271,600
カナミックネットワーク	1,000	510.00	510,000
チェンジホールディングス	2,800	2,033.00	5,692,400
シンクロ・フード	600	555.00	333,000
オークネット	1,200	1,740.00	2,088,000
セグエグループ	200	904.00	180,800
エイトレッド	200	1,446.00	289,200
マクロミル	1,900	786.00	1,493,400
ビーグリー	200	1,084.00	216,800
オロ	200	1,978.00	395,600

ユーザーローカル	200	2,181.00	436,200
テモナ	300	280.00	84,000
ニーズウェル	100	700.00	70,000
マネーフォワード	2,400	5,194.00	12,465,600
サインポスト	200	437.00	87,400
Sun Asterisk	100	1,378.00	137,800
電算システムホールディングス	300	2,696.00	808,800
Appier Group	6,000	1,650.00	9,900,000
ソルクシーズ	600	400.00	240,000
プロトコーポレーション	900	1,241.00	1,116,900
野村総合研究所	18,300	4,006.00	73,309,800
サイバネットシステム	900	732.00	658,800
CEホールディングス	700	551.00	385,700
日本システム技術	400	1,924.00	769,600
インテージホールディングス	1,100	1,668.00	1,834,800
ソースネクスト	5,600	193.00	1,080,800
インフォコム	900	2,720.00	2,448,000
シンプレクス・ホールディングス	2,000	2,573.00	5,146,000
HEROZ	300	1,686.00	505,800
ラクスル	400	1,351.00	540,400
メルカリ	5,900	3,174.00	18,726,600
I P S	100	2,212.00	221,200
F I G	1,200	289.00	346,800
システムサポート	200	1,926.00	385,200
イーソル	700	755.00	528,500
東海ソフト	100	1,055.00	105,500
ウイングアーク1st	1,100	2,714.00	2,985,400
ヒト・コミュニケーションズ・ホールディングス	100	1,512.00	151,200
サーバーワークス	100	3,405.00	340,500
東名	100	2,484.00	248,400
ヴィッツ	100	1,070.00	107,000
トビラシステムズ	100	934.00	93,400
S a n s a n	3,700	1,364.50	5,048,650
L i n k - U	100	926.00	92,600
ギフトィ	1,300	1,673.00	2,174,900
メドレー	1,300	5,490.00	7,137,000
ベース	400	4,370.00	1,748,000
J M D C	2,000	4,482.00	8,964,000
フォーカスシステムズ	800	952.00	761,600

クレスコ	800	1,879.00	1,503,200
フジ・メディア・ホールディングス	9,600	1,562.50	15,000,000
オービック	3,400	24,185.00	82,229,000
ジャストシステム	1,500	3,165.00	4,747,500
TDCソフト	800	1,660.00	1,328,000
Zホールディングス	156,400	417.70	65,328,280
トレンドマイクロ	5,700	6,276.00	35,773,200
IDホールディングス	500	1,321.00	660,500
日本オラクル	1,900	9,826.00	18,669,400
フューチャー	2,200	1,480.00	3,256,000
CAC Holdings	700	1,651.00	1,155,700
SBテクノロジー	200	2,451.00	490,200
トーセ	400	750.00	300,000
オービックビジネスコンサルタント	2,100	5,850.00	12,285,000
伊藤忠テクノソリューションズ	5,600	4,317.00	24,175,200
アイティフォー	1,400	1,099.00	1,538,600
東計電算	200	6,230.00	1,246,000
大塚商会	8,500	6,080.00	51,680,000
サイボウズ	1,600	2,113.00	3,380,800
電通国際情報サービス	1,200	5,560.00	6,672,000
ACCESS	900	898.00	808,200
デジタルガレージ	2,200	3,785.00	8,327,000
EMシステムズ	1,900	701.00	1,331,900
ウェザーニューズ	300	6,430.00	1,929,000
CIJ	1,800	530.00	954,000
ビジネスエンジニアリング	100	3,105.00	310,500
日本エンタープライズ	1,100	130.00	143,000
WOWOW	800	1,147.00	917,600
スカラ	700	733.00	513,100
インテリジェント ウェイブ	700	900.00	630,000
IMAGICA GROUP	900	610.00	549,000
ネットワンシステムズ	3,800	2,713.50	10,311,300
システムソフト	2,500	82.00	205,000
アルゴグラフィックス	1,000	3,500.00	3,500,000
マーベラス	1,300	682.00	886,600
エイベックス	1,600	1,446.00	2,313,600
BIPROGY	3,600	3,565.00	12,834,000
TBSホールディングス	4,900	2,708.50	13,271,650
日本テレビホールディングス	8,400	1,374.00	11,541,600
テレビ朝日ホールディングス	4,000	1,706.00	6,824,000

スカパー J S A Tホールディングス	15,600	665.00	10,374,000
テレビ東京ホールディングス	1,000	3,085.00	3,085,000
ビジョン	1,100	1,631.00	1,794,100
スマートバリュー	300	382.00	114,600
USEN-NEXT HOLDINGS	900	3,510.00	3,159,000
ワイヤレスゲート	500	202.00	101,000
日本通信	9,400	235.00	2,209,000
日本電信電話	3,155,000	164.00	517,420,000
KDDI	75,400	4,233.00	319,168,200
ソフトバンク	185,300	1,623.00	300,741,900
光通信	1,400	22,780.00	31,892,000
エムティーアイ	1,200	543.00	651,600
GMOインターネットグループ	4,000	2,264.00	9,056,000
ファイバーゲート	200	1,364.00	272,800
KADOKAWA	5,400	3,449.00	18,624,600
学研ホールディングス	1,400	822.00	1,150,800
ゼンリン	2,000	896.00	1,792,000
松竹	600	10,905.00	6,543,000
東宝	5,400	5,484.00	29,613,600
東映	300	18,150.00	5,445,000
NTTデータグループ	30,900	1,881.00	58,122,900
ピー・シー・エー	600	1,235.00	741,000
DTS	2,100	3,155.00	6,625,500
スクウェア・エニックス・ホールディングス	5,600	5,440.00	30,464,000
シーイーシー	1,100	1,640.00	1,804,000
カプコン	10,300	6,113.00	62,963,900
アイ・エス・ビー	500	1,367.00	683,500
ジャステック	800	1,374.00	1,099,200
SCSK	7,600	2,420.50	18,395,800
NSW	200	2,606.00	521,200
アイネス	1,200	1,540.00	1,848,000
TKC	1,600	3,630.00	5,808,000
富士ソフト	3,200	4,635.00	14,832,000
NSD	3,600	2,722.00	9,799,200
コナミグループ	3,500	8,382.00	29,337,000
福井コンピュータホールディングス	700	2,633.00	1,843,100
JBCCHホールディングス	800	2,362.00	1,889,600
ミロク情報サービス	1,000	1,544.00	1,544,000
ソフトバンクグループ	52,500	6,675.00	350,437,500

高千穂交易	300	3,110.00	933,000
エレマテック	1,000	1,776.00	1,776,000
あらた	900	5,490.00	4,941,000
トーメンデバイス	200	4,780.00	956,000
東京エレクトロン デバイス	400	9,760.00	3,904,000
円谷フィールズホールディングス	2,000	2,511.00	5,022,000
双日	12,800	3,106.00	39,756,800
アルフレッサ ホールディングス	13,500	2,467.50	33,311,250
横浜冷凍	2,000	1,286.00	2,572,000
神栄	100	1,303.00	130,300
ラサ商事	800	1,501.00	1,200,800
アルコニックス	1,200	1,362.00	1,634,400
神戸物産	6,100	3,772.00	23,009,200
ハイパー	200	375.00	75,000
あい ホールディングス	1,800	2,237.00	4,026,600
ダイワボウホールディングス	4,500	2,679.50	12,057,750
マクニカホールディングス	2,400	6,360.00	15,264,000
ラクト・ジャパン	200	2,070.00	414,000
グリムス	200	2,501.00	500,200
バイタルケーエスケー・ホールディングス	2,200	999.00	2,197,800
レスターホールディングス	900	2,268.00	2,041,200
TOKAIホールディングス	2,900	914.00	2,650,600
三洋貿易	1,300	1,322.00	1,718,600
ビューティガレージ	200	4,485.00	897,000
ミタチ産業	600	1,055.00	633,000
シップヘルスケアホールディングス	4,000	2,462.00	9,848,000
明治電機工業	300	1,485.00	445,500
スターティアホールディングス	200	1,513.00	302,600
コメダホールディングス	1,800	2,869.00	5,164,200
ピーバンドットコム	100	456.00	45,600
アセンテック	200	620.00	124,000
富士興産	200	1,818.00	363,600
フルサト・マルカホールディングス	1,300	2,588.00	3,364,400
ヤマエグループホールディングス	600	3,675.00	2,205,000
小野建	1,200	1,636.00	1,963,200
佐鳥電機	800	1,499.00	1,199,200
伯東	500	5,030.00	2,515,000
ナガイレーベン	1,200	2,303.00	2,763,600
三菱食品	800	4,055.00	3,244,000

松田産業	100	2,266.00	226,600
第一興商	3,900	2,819.00	10,994,100
メディパルホールディングス	9,900	2,483.00	24,581,700
萩原電気ホールディングス	700	3,775.00	2,642,500
アズワン	1,700	5,742.00	9,761,400
スズデン	400	2,158.00	863,200
ドウシシャ	900	2,248.00	2,023,200
たけびし	200	1,801.00	360,200
丸文	1,200	1,097.00	1,316,400
ハピネット	800	2,403.00	1,922,400
日本ライフライン	3,200	1,081.00	3,459,200
タカショー	600	662.00	397,200
I DOM	2,300	786.00	1,807,800
エスケイジャパン	500	698.00	349,000
ダイトロン	400	2,770.00	1,108,000
シークス	1,300	1,533.00	1,992,900
オーハシテクニカ	100	1,591.00	159,100
白銅	500	2,229.00	1,114,500
伊藤忠商事	73,600	5,710.00	420,256,000
丸紅	89,800	2,428.00	218,034,400
高島	200	3,635.00	727,000
長瀬産業	2,400	2,467.00	5,920,800
蝶理	900	2,951.00	2,655,900
豊田通商	12,900	8,384.00	108,153,600
兼松	5,700	2,025.00	11,542,500
三井物産	81,200	5,582.00	453,258,400
日本紙パルプ商事	600	4,740.00	2,844,000
カメイ	1,900	1,493.00	2,836,700
東都水産	100	6,320.00	632,000
スターゼン	100	2,483.00	248,300
山善	3,900	1,147.00	4,473,300
住友商事	78,600	2,970.50	233,481,300
内田洋行	300	6,160.00	1,848,000
三菱商事	70,700	7,170.00	506,919,000
第一実業	400	5,150.00	2,060,000
キヤノンマーケティングジャパン	3,600	3,832.00	13,795,200
西華産業	900	1,881.00	1,692,900
菱洋エレクトロ	1,200	3,300.00	3,960,000
ユアサ商事	1,400	4,235.00	5,929,000
神鋼商事	200	5,750.00	1,150,000

阪和興業	2,500	4,780.00	11,950,000
正栄食品工業	700	4,505.00	3,153,500
カナデン	700	1,302.00	911,400
RYODEN	700	2,286.00	1,600,200
岩谷産業	2,000	7,399.00	14,798,000
ニチモウ	100	3,890.00	389,000
極東貿易	400	1,844.00	737,600
アステナホールディングス	1,200	450.00	540,000
三愛オブリ	4,300	1,638.00	7,043,400
稲畑産業	2,700	3,250.00	8,775,000
G S I クレオス	500	2,189.00	1,094,500
明和産業	1,200	646.00	775,200
ワキタ	2,500	1,344.00	3,360,000
東邦ホールディングス	2,900	2,902.00	8,415,800
サンゲツ	500	2,862.00	1,431,000
ミツウロコグループホールディングス	1,600	1,318.00	2,108,800
シナネンホールディングス	600	4,025.00	2,415,000
伊藤忠エネクス	3,900	1,485.00	5,791,500
サンリオ	3,700	8,100.00	29,970,000
サンワテクノス	1,000	2,164.00	2,164,000
リョーサン	1,100	4,015.00	4,416,500
新光商事	1,900	1,121.00	2,129,900
トーヨー	500	3,055.00	1,527,500
三信電気	700	2,127.00	1,488,900
東陽テクニカ	1,200	1,330.00	1,596,000
モスフードサービス	1,100	3,410.00	3,751,000
加賀電子	700	6,480.00	4,536,000
ソーダニッカ	100	868.00	86,800
立花エレテック	1,000	2,649.00	2,649,000
PAL TAC	1,600	4,501.00	7,201,600
三谷産業	1,000	316.00	316,000
太平洋興発	700	768.00	537,600
西本Wismettacホールディングス	200	4,450.00	890,000
コア商事ホールディングス	600	694.00	416,400
K P P グループホールディングス	3,800	590.00	2,242,000
ヤマタネ	400	1,842.00	736,800
泉州電業	700	3,995.00	2,796,500
トラスコ中山	3,000	2,314.00	6,942,000
オートバックスセブン	3,800	1,578.50	5,998,300

モリト	200	1,230.00	246,000
加藤産業	1,400	4,035.00	5,649,000
イエローハット	2,200	1,854.00	4,078,800
J Kホールディングス	700	957.00	669,900
日伝	1,200	2,461.00	2,953,200
北沢産業	100	307.00	30,700
因幡電機産業	3,200	3,065.00	9,808,000
東テク	300	5,010.00	1,503,000
ミスミグループ本社	18,300	2,443.50	44,716,050
アルテック	900	250.00	225,000
タキヒヨー	200	1,134.00	226,800
スズケン	3,600	4,189.00	15,080,400
ジェコス	500	943.00	471,500
グローセル	100	419.00	41,900
ローソン	1,800	7,164.00	12,895,200
サンエー	600	4,875.00	2,925,000
カワチ薬品	700	2,321.00	1,624,700
エービーシー・マート	1,300	8,102.00	10,532,600
ハードオフコーポレーション	400	1,532.00	612,800
アスクル	2,700	1,932.00	5,216,400
ゲオホールディングス	1,200	2,416.00	2,899,200
アダストリア	1,200	3,060.00	3,672,000
シー・ヴィ・エス・バイエリア	200	836.00	167,200
くら寿司	600	3,115.00	1,869,000
キャンドゥ	600	2,921.00	1,752,600
I Kホールディングス	300	376.00	112,800
パルグループホールディングス	800	4,290.00	3,432,000
エディオオン	3,500	1,464.00	5,124,000
サーラコーポレーション	2,400	728.00	1,747,200
ハローズ	300	3,950.00	1,185,000
フジオフードグループ本社	700	1,364.00	954,800
あみやき亭	200	3,470.00	694,000
ひらまつ	1,600	241.00	385,600
大黒天物産	300	6,430.00	1,929,000
ハニーズホールディングス	900	1,650.00	1,485,000
アルペン	800	1,893.00	1,514,400
ハブ	200	958.00	191,600
クオールホールディングス	1,300	1,839.00	2,390,700
ジンスホールディングス	700	3,545.00	2,481,500
ビックカメラ	6,800	1,118.00	7,602,400

DCMホールディングス	7,200	1,234.00	8,884,800
ペッパーフードサービス	700	118.00	82,600
MonotaRO	17,100	1,759.00	30,078,900
DDグループ	400	1,483.00	593,200
アークランドサービスホールディングス	700	3,075.00	2,152,500
J. フロント リテイリング	13,600	1,605.50	21,834,800
ドトール・日レスホールディングス	2,000	2,298.00	4,596,000
マツキヨココカラ&カンパニー	6,500	9,122.00	59,293,000
ブロンコビリー	300	2,984.00	895,200
ZOZO	9,100	2,709.50	24,656,450
トレジャー・ファクトリー	400	1,519.00	607,600
物語コーポレーション	1,100	3,945.00	4,339,500
三越伊勢丹ホールディングス	21,200	1,787.00	37,884,400
Hamee	200	1,090.00	218,000
ウエルシアホールディングス	5,700	2,741.50	15,626,550
クリエイトSDホールディングス	1,800	3,635.00	6,543,000
チムニー	200	1,445.00	289,000
シュッピン	800	1,239.00	991,200
オイシックス・ラ・大地	1,800	1,880.00	3,384,000
ネクステージ	1,900	3,335.00	6,336,500
ジョイフル本田	3,000	1,690.00	5,070,000
鳥貴族ホールディングス	200	2,903.00	580,600
ホットランド	700	1,604.00	1,122,800
すかいらーくホールディングス	7,900	2,083.50	16,459,650
SFPホールディングス	300	2,414.00	724,200
綿半ホールディングス	600	1,367.00	820,200
ヨシックスホールディングス	100	2,765.00	276,500
ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス	3,200	1,148.00	3,673,600
ゴルフダイジェスト・オンライン	700	753.00	527,100
BEENOS	500	1,702.00	851,000
あさひ	1,000	1,288.00	1,288,000
日本調剤	900	1,340.00	1,206,000
コスモス薬品	1,200	17,050.00	20,460,000
セブン&アイ・ホールディングス	42,400	6,116.00	259,318,400
クリエイト・レストランツ・ホールディングス	5,100	1,188.00	6,058,800
ツルハホールディングス	2,100	10,920.00	22,932,000
サンマルクホールディングス	800	1,909.00	1,527,200
トリドールホールディングス	1,700	3,980.00	6,766,000
TOKYO BASE	900	287.00	258,300

J Mホールディングス	900	1,935.00	1,741,500
サツドラホールディングス	600	783.00	469,800
アレンザホールディングス	300	1,018.00	305,400
串カツ田中ホールディングス	200	1,560.00	312,000
パロックジャパンリミテッド	900	868.00	781,200
クスリのアオキホールディングス	1,000	8,822.00	8,822,000
力の源ホールディングス	200	2,323.00	464,600
FOOD & LIFE COMPANIES	3,600	2,691.00	9,687,600
メディカルシステムネットワーク	1,100	382.00	420,200
ノジマ	4,000	1,266.00	5,064,000
カップ・クリエイト	1,200	1,629.00	1,954,800
ライトオン	800	579.00	463,200
良品計画	10,900	1,974.50	21,522,050
アドヴァングループ	1,500	980.00	1,470,000
アルビス	300	2,460.00	738,000
コナカ	1,100	429.00	471,900
G-7ホールディングス	1,400	1,216.00	1,702,400
イオン北海道	600	875.00	525,000
コジマ	1,600	666.00	1,065,600
コーナン商事	1,200	3,560.00	4,272,000
エコス	300	2,066.00	619,800
ワタミ	1,000	1,007.00	1,007,000
パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス	25,300	3,042.00	76,962,600
西松屋チェーン	2,200	1,730.00	3,806,000
ゼンショーホールディングス	2,900	7,291.00	21,143,900
幸楽苑ホールディングス	500	1,012.00	506,000
サイゼリヤ	1,200	4,710.00	5,652,000
V Tホールディングス	3,400	515.00	1,751,000
ユナイテッドアローズ	1,000	2,243.00	2,243,000
ハイデイ日高	1,200	2,705.00	3,246,000
YU-WA Creation Holdings	900	183.00	164,700
コロワイド	3,100	2,368.50	7,342,350
壱番屋	500	5,690.00	2,845,000
スギホールディングス	2,200	6,754.00	14,858,800
薬王堂ホールディングス	400	2,553.00	1,021,200
ヴィア・ホールディングス	1,100	88.00	96,800
スクロール	1,600	988.00	1,580,800
ヨンドシーホールディングス	1,100	1,924.00	2,116,400

木曾路	1,000	2,592.00	2,592,000	
S R S ホールディングス	1,000	1,057.00	1,057,000	
千趣会	2,000	397.00	794,000	
リテールパートナーズ	1,300	1,521.00	1,977,300	
ケーヨー	2,000	859.00	1,718,000	
上新電機	1,200	2,101.00	2,521,200	
日本瓦斯	8,000	2,145.00	17,160,000	
ロイヤルホールディングス	1,200	2,791.00	3,349,200	
いなげや	1,400	1,476.00	2,066,400	
チヨダ	1,200	993.00	1,191,600	
ライフコーポレーション	900	3,680.00	3,312,000	
リンガーハット	1,000	2,460.00	2,460,000	
M r M a x H D	1,400	602.00	842,800	
A O K I ホールディングス	1,800	1,000.00	1,800,000	
オークワ	1,500	874.00	1,311,000	
コメリ	1,600	3,055.00	4,888,000	
青山商事	2,200	1,379.00	3,033,800	
しまむら	1,200	14,950.00	17,940,000	
高島屋	9,200	2,239.00	20,598,800	
松屋	2,000	1,156.00	2,312,000	
エイチ・ツー・オー リテイリング	6,300	1,732.00	10,911,600	
近鉄百貨店	200	2,498.00	499,600	
丸井グループ	7,800	2,467.00	19,242,600	
アクシアル リテイリング	900	3,740.00	3,366,000	
井筒屋	700	416.00	291,200	
イオン	41,100	3,121.00	128,273,100	
イズミ	1,800	3,683.00	6,629,400	
平和堂	1,300	2,429.00	3,157,700	
フジ	800	1,862.00	1,489,600	
ヤオコー	1,400	7,776.00	10,886,400	
ゼビオホールディングス	1,400	1,007.00	1,409,800	
ケーズホールディングス	9,200	1,309.00	12,042,800	
O l y m p i c グループ	300	520.00	156,000	
日産東京販売ホールディングス	1,800	440.00	792,000	
シルバーライフ	100	1,201.00	120,100	
G e n k y D r u g S t o r e s	500	5,080.00	2,540,000	
ブックオフグループホールディングス	700	1,269.00	888,300	
ギフトホールディングス	200	2,462.00	492,400	
アインホールディングス	1,400	5,048.00	7,067,200	
元気寿司	200	4,955.00	991,000	

ヤマダホールディングス	49,500	452.80	22,413,600
アークランズ	1,300	1,659.00	2,156,700
ニトリホールディングス	4,200	15,870.00	66,654,000
グルメ杵屋	600	1,123.00	673,800
愛眼	1,000	181.00	181,000
吉野家ホールディングス	2,600	2,871.50	7,465,900
松屋フーズホールディングス	400	4,205.00	1,682,000
サガミホールディングス	1,200	1,372.00	1,646,400
関西フードマーケット	1,000	1,426.00	1,426,000
王将フードサービス	500	7,020.00	3,510,000
ミニストップ	800	1,498.00	1,198,400
アークス	1,500	2,579.00	3,868,500
パローホールディングス	2,300	2,147.00	4,938,100
ベルク	600	6,660.00	3,996,000
大庄	300	1,143.00	342,900
ファーストリテイリング	5,000	34,160.00	170,800,000
サンドラッグ	4,000	4,340.00	17,360,000
サックスバー ホールディングス	800	945.00	756,000
やまや	200	2,899.00	579,800
ベルーナ	2,100	675.00	1,417,500
いよぎんホールディングス	13,900	981.90	13,648,410
しずおかフィナンシャルグループ	25,000	1,156.50	28,912,500
ちゅうぎんフィナンシャルグループ	9,300	913.20	8,492,760
じもとホールディングス	700	403.00	282,100
めぶきフィナンシャルグループ	54,400	389.40	21,183,360
東京きらぼしフィナンシャルグループ	1,500	3,665.00	5,497,500
九州フィナンシャルグループ	17,700	669.90	11,857,230
ゆうちょ銀行	33,100	1,153.50	38,180,850
富山第一銀行	1,600	810.00	1,296,000
コンコルディア・フィナンシャルグループ	28,500	624.30	17,792,550
西日本フィナンシャルホールディングス	7,100	1,424.00	10,110,400
三十三フィナンシャルグループ	1,000	1,688.00	1,688,000
第四北越フィナンシャルグループ	900	3,560.00	3,204,000
ひろぎんホールディングス	6,000	847.10	5,082,600
おきなわフィナンシャルグループ	1,000	2,163.00	2,163,000
十六フィナンシャルグループ	700	3,495.00	2,446,500
北國フィナンシャルホールディングス	600	4,865.00	2,919,000
プロクレアホールディングス	1,400	1,961.00	2,745,400
あいちフィナンシャルグループ	1,700	2,433.00	4,136,100

S B I 新生銀行	1,100	2,814.50	3,095,950
あおぞら銀行	6,100	2,816.50	17,180,650
三菱UFJフィナンシャル・グループ	616,600	1,121.50	691,516,900
りそなホールディングス	71,200	721.30	51,356,560
三井住友トラスト・ホールディングス	21,400	5,257.00	112,499,800
三井住友フィナンシャルグループ	77,500	6,401.00	496,077,500
千葉銀行	15,200	983.90	14,955,280
群馬銀行	20,400	644.00	13,137,600
武蔵野銀行	400	2,520.00	1,008,000
千葉興業銀行	3,200	714.00	2,284,800
筑波銀行	5,500	215.00	1,182,500
七十七銀行	3,000	2,979.00	8,937,000
秋田銀行	800	1,808.00	1,446,400
山形銀行	1,200	1,098.00	1,317,600
岩手銀行	700	2,190.00	1,533,000
東邦銀行	10,500	254.00	2,667,000
ふくおかフィナンシャルグループ	4,000	3,349.00	13,396,000
スルガ銀行	10,800	570.00	6,156,000
八十二銀行	21,500	753.70	16,204,550
山梨中央銀行	1,400	1,431.00	2,003,400
大垣共立銀行	2,400	1,945.00	4,668,000
福井銀行	1,000	1,507.00	1,507,000
清水銀行	400	1,528.00	611,200
滋賀銀行	1,900	3,000.00	5,700,000
南都銀行	800	2,580.00	2,064,000
百五銀行	9,700	501.00	4,859,700
京都銀行	3,300	7,951.00	26,238,300
紀陽銀行	4,300	1,498.00	6,441,400
ほくほくフィナンシャルグループ	7,900	1,252.50	9,894,750
山陰合同銀行	3,300	895.00	2,953,500
百十四銀行	1,200	2,235.00	2,682,000
四国銀行	1,800	908.00	1,634,400
阿波銀行	1,400	2,203.00	3,084,200
大分銀行	800	2,394.00	1,915,200
宮崎銀行	900	2,523.00	2,270,700
佐賀銀行	800	1,753.00	1,402,400
琉球銀行	2,700	1,022.00	2,759,400
セブン銀行	39,900	300.20	11,977,980
みずほフィナンシャルグループ	149,600	2,311.00	345,725,600
高知銀行	300	965.00	289,500

山口フィナンシャルグループ	11,700	1,104.00	12,916,800
名古屋銀行	800	3,940.00	3,152,000
北洋銀行	16,600	289.00	4,797,400
愛媛銀行	1,500	851.00	1,276,500
京葉銀行	5,000	569.00	2,845,000
栃木銀行	6,000	275.00	1,650,000
東和銀行	2,100	560.00	1,176,000
福島銀行	1,000	215.00	215,000
大東銀行	800	661.00	528,800
トモニホールディングス	7,700	385.00	2,964,500
フィデアホールディングス	1,100	1,468.00	1,614,800
池田泉州ホールディングス	6,800	253.00	1,720,400
F P G	3,200	1,415.00	4,528,000
ジャパンインベストメントアドバイザー	500	1,422.00	711,000
マーキュリアホールディングス	700	742.00	519,400
S B I ホールディングス	14,600	2,930.00	42,778,000
日本アジア投資	900	262.00	235,800
ジャフコ グループ	3,800	1,742.50	6,621,500
大和証券グループ本社	71,000	773.90	54,946,900
野村ホールディングス	221,600	539.00	119,442,400
岡三証券グループ	8,400	546.00	4,586,400
丸三証券	3,100	497.00	1,540,700
東洋証券	4,000	324.00	1,296,000
東海東京フィナンシャル・ホールディングス	10,700	428.00	4,579,600
光世証券	200	590.00	118,000
水戸証券	3,100	405.00	1,255,500
いちよし証券	1,900	670.00	1,273,000
松井証券	5,700	782.00	4,457,400
マネックスグループ	11,300	522.00	5,898,600
極東証券	1,200	738.00	885,600
岩井コスモホールディングス	1,000	1,655.00	1,655,000
アイザワ証券グループ	2,100	816.00	1,713,600
マネーパートナーズグループ	1,200	285.00	342,000
スパークス・グループ	800	1,467.00	1,173,600
かんぽ生命保険	13,000	2,301.50	29,919,500
SOMPOホールディングス	15,100	6,195.00	93,544,500
アニコム ホールディングス	3,700	621.00	2,297,700
MS&ADインシュアランスグループ ホールディングス	20,300	5,136.00	104,260,800
第一生命ホールディングス	54,200	2,706.50	146,692,300

東京海上ホールディングス	95,100	3,106.00	295,380,600
T&Dホールディングス	25,900	2,239.00	57,990,100
全国保証	2,600	5,000.00	13,000,000
ジェイリース	300	2,146.00	643,800
イントラスト	400	952.00	380,800
日本モーゲージサービス	400	560.00	224,000
C a s a	200	864.00	172,800
アルヒ	1,200	947.00	1,136,400
プレミアグループ	1,900	1,593.00	3,026,700
ネットプロテクションズホールディングス	5,900	361.00	2,129,900
クレディセゾン	6,300	2,104.50	13,258,350
芙蓉総合リース	900	12,210.00	10,989,000
みずほリース	1,500	4,580.00	6,870,000
東京センチュリー	1,600	5,339.00	8,542,400
日本証券金融	4,700	1,147.00	5,390,900
アイフル	16,400	330.00	5,412,000
リコーリース	1,300	4,200.00	5,460,000
イオンフィナンシャルサービス	5,700	1,257.00	7,164,900
アコム	17,700	341.10	6,037,470
ジャックス	1,200	4,855.00	5,826,000
オリエントコーポレーション	2,700	1,097.00	2,961,900
オリックス	57,400	2,615.00	150,101,000
三菱HCキャピタル	36,100	903.00	32,598,300
九州リースサービス	600	825.00	495,000
日本取引所グループ	27,300	2,636.50	71,976,450
イー・ギャランティ	2,100	1,999.00	4,197,900
NECキャピタルソリューション	300	3,085.00	925,500
大東建託	4,400	15,345.00	67,518,000
いちご	3,700	273.00	1,010,100
日本駐車場開発	1,800	218.00	392,400
スター・マイカ・ホールディングス	1,500	595.00	892,500
SREホールディングス	600	3,270.00	1,962,000
ADワークスグループ	2,000	201.00	402,000
ヒューリック	9,300	1,235.00	11,485,500
三栄建築設計	300	1,716.00	514,800
野村不動産ホールディングス	6,900	3,513.00	24,239,700
三重交通グループホールディングス	2,200	593.00	1,304,600
サムティ	600	2,245.00	1,347,000
ディア・ライフ	1,300	868.00	1,128,400

コーセーアールイー	100	811.00	81,100
地主	700	1,871.00	1,309,700
プレサンスコーポレーション	1,900	1,887.00	3,585,300
THEグローバル社	900	392.00	352,800
JPMC	700	1,059.00	741,300
サンセイランディック	200	968.00	193,600
フージャースホールディングス	2,400	1,053.00	2,527,200
オープンハウスグループ	3,900	4,905.00	19,129,500
東急不動産ホールディングス	33,500	873.80	29,272,300
飯田グループホールディングス	9,800	2,336.50	22,897,700
イーグランド	200	1,498.00	299,600
ムゲンエステート	700	938.00	656,600
ビーロット	500	879.00	439,500
ファーストブラザーズ	200	1,076.00	215,200
And Doホールディングス	400	1,022.00	408,800
シーアールイー	300	1,448.00	434,400
ケイアイスター不動産	500	4,455.00	2,227,500
アグレ都市デザイン	200	1,507.00	301,400
グッドコムアセット	700	855.00	598,500
ジェイ・エス・ビー	200	5,470.00	1,094,000
ロードスターキャピタル	100	1,692.00	169,200
テンポイノベーション	200	1,216.00	243,200
パーク24	1,400	2,049.00	2,868,600
宮越ホールディングス	200	1,018.00	203,600
三井不動産	48,400	3,027.00	146,506,800
三菱地所	64,500	1,719.00	110,875,500
平和不動産	700	3,730.00	2,611,000
東京建物	11,000	1,861.50	20,476,500
京阪神ビルディング	1,500	1,248.00	1,872,000
住友不動産	21,000	3,664.00	76,944,000
テーオーシー	1,800	608.00	1,094,400
レオパレス21	5,000	350.00	1,750,000
スターツコーポレーション	500	2,957.00	1,478,500
フジ住宅	1,200	687.00	824,400
空港施設	1,100	573.00	630,300
明和地所	700	1,030.00	721,000
ゴールドクレスト	900	1,914.00	1,722,600
エスリード	300	2,924.00	877,200
日神グループホールディングス	1,700	503.00	855,100
日本エスコン	2,000	803.00	1,606,000

MIRARTHホールディングス	4,300	448.00	1,926,400
AVANTIA	700	903.00	632,100
イオンモール	2,000	1,757.00	3,514,000
ランド	61,900	9.00	557,100
カチタス	1,200	2,329.00	2,794,800
トーセイ	1,200	1,694.00	2,032,800
サンフロンティア不動産	1,300	1,408.00	1,830,400
FJネクストホールディングス	1,100	1,048.00	1,152,800
インテリックス	200	505.00	101,000
ランドビジネス	300	260.00	78,000
グランディハウス	700	580.00	406,000
日本空港ビルデング	4,500	7,213.00	32,458,500
LIFULL	3,900	242.00	943,800
MIXI	4,200	2,488.00	10,449,600
ジェイエシーリクルートメント	900	2,647.00	2,382,300
日本M&Aセンターホールディングス	18,700	731.60	13,680,920
メンバーズ	300	1,220.00	366,000
UTグループ	1,700	2,512.00	4,270,400
アイティメディア	200	1,153.00	230,600
E・Jホールディングス	300	1,632.00	489,600
オープンアップグループ	3,800	2,214.00	8,413,200
コシダカホールディングス	4,100	1,326.00	5,436,600
アルトナー	100	1,733.00	173,300
パソナグループ	1,200	1,626.00	1,951,200
リンクアンドモチベーション	2,100	447.00	938,700
エス・エム・エス	4,200	2,825.00	11,865,000
サニーサイドアップグループ	300	704.00	211,200
パーソルホールディングス	12,600	2,545.50	32,073,300
リニカル	100	713.00	71,300
クックパッド	3,500	164.00	574,000
エスクリ	600	330.00	198,000
アイ・ケイ・ケイホールディングス	100	669.00	66,900
学情	300	1,837.00	551,100
スタジオアリス	700	2,216.00	1,551,200
シミックホールディングス	200	1,744.00	348,800
総合警備保障	20,500	884.80	18,138,400
カカコム	7,800	1,703.00	13,283,400
アイロムグループ	300	1,804.00	541,200
セントケア・ホールディング	800	786.00	628,800
ルネサンス	300	915.00	274,500

ディップ	2,100	3,335.00	7,003,500
デジタルホールディングス	700	1,012.00	708,400
新日本科学	500	2,281.00	1,140,500
キャリアデザインセンター	200	1,950.00	390,000
ベネフィット・ワン	5,500	1,192.50	6,558,750
エムスリー	24,800	2,886.50	71,585,200
ツカダ・グローバルホールディング	900	529.00	476,100
アウトソーシング	8,100	1,071.50	8,679,150
ウェルネット	1,100	594.00	653,400
ワールドホールディングス	500	2,425.00	1,212,500
ディー・エヌ・エー	7,000	1,502.50	10,517,500
博報堂D Yホールディングス	14,100	1,413.50	19,930,350
ぐるなび	1,400	340.00	476,000
タカミヤ	1,200	506.00	607,200
ジャパンベストレスキューシステム	900	751.00	675,900
ファンコミュニケーションズ	2,900	393.00	1,139,700
ライク	100	1,530.00	153,000
ビジネス・ブレークスルー	800	412.00	329,600
エスプール	2,500	486.00	1,215,000
WDBホールディングス	400	2,068.00	827,200
アドウェイズ	1,100	610.00	671,000
バリューコマース	800	1,215.00	972,000
インフォマート	11,100	430.00	4,773,000
J Pホールディングス	4,100	323.00	1,324,300
エコナックホールディングス	2,200	86.00	189,200
CLホールディングス	200	817.00	163,400
プレステージ・インターナショナル	3,800	590.00	2,242,000
アミューズ	400	1,648.00	659,200
ドリームインキュベータ	200	2,767.00	553,400
クイック	800	2,062.00	1,649,600
TAC	1,000	200.00	200,000
電通グループ	11,300	4,200.00	47,460,000
テイクアンドギヴ・ニーズ	600	1,104.00	662,400
びあ	600	3,615.00	2,169,000
イオンファンタジー	400	3,110.00	1,244,000
シーティーエス	1,100	721.00	793,100
ネクシィーズグループ	200	681.00	136,200
H. U. グループホールディングス	4,000	2,580.00	10,320,000
アルプス技研	1,000	2,525.00	2,525,000
サニックス	300	306.00	91,800

オリエンタルランド	71,000	5,359.00	380,489,000
ダスキン	2,900	3,248.00	9,419,200
明光ネットワークジャパン	2,000	665.00	1,330,000
ラウンドワン	9,400	595.00	5,593,000
リゾートトラスト	4,600	2,370.50	10,904,300
ビー・エム・エル	1,100	2,666.00	2,932,600
リソー教育	5,700	252.00	1,436,400
ユー・エス・エス	11,000	2,531.50	27,846,500
東京個別指導学院	600	473.00	283,800
サイバーエージェント	27,500	903.50	24,846,250
楽天グループ	69,300	574.00	39,778,200
クリーク・アンド・リバー社	700	2,135.00	1,494,500
SBIグローバルアセットマネジメント	1,100	545.00	599,500
テー・オー・ダブリュー	1,300	307.00	399,100
山田コンサルティンググループ	800	1,582.00	1,265,600
セントラルスポーツ	300	2,409.00	722,700
フルキャストホールディングス	1,200	2,107.00	2,528,400
エン・ジャパン	1,900	2,466.00	4,685,400
テクノプロ・ホールディングス	7,500	3,691.00	27,682,500
アイ・アールジャパンホールディングス	400	2,027.00	810,800
Keepers 技研	1,300	6,460.00	8,398,000
ファーストロジック	400	551.00	220,400
三機サービス	100	1,051.00	105,100
Gunosy	800	589.00	471,200
デザインワン・ジャパン	600	168.00	100,800
イー・ガーディアン	400	2,632.00	1,052,800
リブセンス	900	303.00	272,700
ジャパンマテリアル	3,800	2,294.00	8,717,200
ベクトル	1,000	1,294.00	1,294,000
チャーム・ケア・コーポレーション	1,000	1,248.00	1,248,000
キャリアリンク	500	2,518.00	1,259,000
IBJ	900	651.00	585,900
アサンテ	400	1,658.00	663,200
バリューHR	900	1,213.00	1,091,700
M&Aキャピタルパートナーズ	900	2,722.00	2,449,800
ライドオンエクスプレスホールディングス	200	1,033.00	206,600
ERIホールディングス	200	2,099.00	419,800
アビスト	200	3,390.00	678,000
シグマクシス・ホールディングス	1,700	1,495.00	2,541,500

ウィルグループ	900	1,052.00	946,800
エスクロー・エージェント・ジャパン	1,400	139.00	194,600
メドピア	700	989.00	692,300
レアジョブ	200	1,085.00	217,000
リクルートホールディングス	98,700	4,960.00	489,552,000
エラン	800	795.00	636,000
土木管理総合試験所	700	336.00	235,200
日本郵政	128,800	1,084.00	139,619,200
ベルシステム24ホールディングス	1,500	1,464.00	2,196,000
鎌倉新書	800	674.00	539,200
一蔵	200	557.00	111,400
エアトリ	1,300	2,549.00	3,313,700
アトラエ	500	850.00	425,000
ストライク	500	3,125.00	1,562,500
ソラスト	3,300	676.00	2,230,800
セラク	200	1,370.00	274,000
インソース	2,400	1,138.00	2,731,200
ベイカレント・コンサルティング	8,700	4,500.00	39,150,000
Orchestra Holdings	200	999.00	199,800
アイモバイル	200	1,226.00	245,200
キャリアインデックス	600	257.00	154,200
MS-Japan	400	1,073.00	429,200
ジャパンエレベーターサービスホールディングス	4,000	2,164.00	8,656,000
グリーンズ	200	1,763.00	352,600
ツナググループ・ホールディングス	100	725.00	72,500
GameWith	300	327.00	98,100
ウェルビー	200	535.00	107,000
エル・ティー・エス	100	3,500.00	350,000
ミダックホールディングス	400	1,673.00	669,200
日総工産	800	803.00	642,400
キュービーネットホールディングス	300	1,533.00	459,900
RPAホールディングス	800	354.00	283,200
スプリックス	200	776.00	155,200
マネジメントソリューションズ	600	3,675.00	2,205,000
プロレド・パートナーズ	100	496.00	49,600
and factory	100	334.00	33,400
テノ.ホールディングス	100	600.00	60,000
フロンティア・マネジメント	200	1,284.00	256,800
ピアラ	100	415.00	41,500

コプロ・ホールディングス	200	2,445.00	489,000
ギークス	100	663.00	66,300
アンビスホールディングス	1,200	2,881.00	3,457,200
カーブスホールディングス	2,600	747.00	1,942,200
フォーラムエンジニアリング	600	1,251.00	750,600
F a s t F i t n e s s J a p a n	800	1,520.00	1,216,000
ダイレクトマーケティングミックス	2,700	624.00	1,684,800
ポピンズ	200	1,383.00	276,600
L I T A L I C O	1,200	2,101.00	2,521,200
アドバンテッジリスクマネジメント	600	471.00	282,600
リログループ	1,900	1,715.50	3,259,450
東祥	800	1,250.00	1,000,000
I D & E ホールディングス	1,000	3,425.00	3,425,000
ビーウィズ	100	2,348.00	234,800
T R E ホールディングス	1,100	1,191.00	1,310,100
人・夢・技術グループ	600	1,573.00	943,800
大栄環境	2,500	2,235.00	5,587,500
日本管財ホールディングス	200	2,622.00	524,400
エイチ・アイ・エス	1,200	2,105.00	2,526,000
ラックランド	200	3,015.00	603,000
共立メンテナンス	1,200	6,235.00	7,482,000
イチネンホールディングス	1,400	1,332.00	1,864,800
建設技術研究所	700	4,100.00	2,870,000
スバル興業	100	10,440.00	1,044,000
東京テアトル	200	1,121.00	224,200
ナガワ	300	7,120.00	2,136,000
東京都競馬	800	3,855.00	3,084,000
常磐興産	200	1,291.00	258,200
カナモト	2,200	2,462.00	5,416,400
ニシオホールディングス	1,200	3,660.00	4,392,000
アゴーラ ホスピタリティグループ	5,700	26.00	148,200
トランス・コスモス	1,300	3,245.00	4,218,500
乃村工藝社	4,200	860.00	3,612,000
藤田観光	200	4,795.00	959,000
K N T - C T ホールディングス	900	1,551.00	1,395,900
トーカイ	1,200	1,877.00	2,252,400
セコム	11,500	10,030.00	115,345,000
セントラル警備保障	400	2,950.00	1,180,000
丹青社	1,500	789.00	1,183,500
メイテック	4,100	2,560.00	10,496,000

応用地質	1,200	2,797.00	3,356,400
船井総研ホールディングス	2,400	2,519.00	6,045,600
いであ	200	1,650.00	330,000
学究社	300	1,950.00	585,000
ベネッセホールディングス	4,400	1,833.00	8,065,200
イオンディライト	1,000	3,095.00	3,095,000
ナック	100	971.00	97,100
ダイセキ	400	4,385.00	1,754,000
合 計	15,065,700		32,913,375,190

②株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

当表に記載すべき内容は、「(3) 注記表 (デリバティブ取引等に関する注記)」に開示しておりますので、記載を省略しております。

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

(2023年 8月31日現在)

I 資産総額	35,590,216,750円
II 負債総額	1,200,828,459円
III 純資産総額 (I - II)	34,389,388,291円
IV 発行済口数	111,235,248口
V 100口当たり純資産額 (III/IV)	30,916円

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

(1) 受益証券の名義書換手続き

該当事項はありません。

ファンドの受益権は、振替受益権であり、委託者は、この信託の受益権を取り扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取り消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

なお、受益者は、委託者がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。

(2) 受益者に対する特典

該当事項はありません。

(3) 受益権の譲渡

① 受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。

② 上記①の申請のある場合には、上記①の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記①の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。

③ 上記①の振替について、委託者は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託者が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

(4) 受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託者および受託者に対抗することができません。

(5) 受益権の再分割

社振法に定めるところにしたがい、受託者と協議のうえ、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

(6) 質権口記載又は記録の受益権の取り扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権に係る収益分配金の支払い、交換請求の受付け、交換有価証券の交付等については、この約款によるほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

(1) 資本金の額（2023年8月31日現在）

1,466百万円

発行する株式の総数：92,330株（普通株式92,328株、A種優先株式1株、B種優先株式1株）

発行済株式総数：29,330株（普通株式29,328株、A種優先株式1株、B種優先株式1株）

最近5年間における資本金の額の増減

- ・2021年9月3日に普通株式9,072株を消却、またA種優先株式1株およびB種優先株式1株を発行し2円増資。2021年9月8日に1,953,600,000円減資（資本金1,466百万円）

（注）A種優先株式およびB種優先株式は議決権を有しません。

(2) 委託会社等の機構

a. 委託会社等の機構（委託会社等の意思決定機構）

定款に基づき、10名以内の取締役が、株主総会において選任されます。取締役の選任は、総株主の議決権の過半数を有する株主が出席し、その議決権の3分の2以上をもってこれを行い、累積投票によらないものとします。

取締役の任期は、就任後2年内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結のときまでとし、補欠により選任された取締役の任期は、退任者の残存期間とします。

取締役会はその決議をもって、取締役の中より取締役社長1名を置くとともに、取締役会長1名、取締役副社長、専務取締役および常務取締役若干名を選任することができます。また取締役の中より代表取締役を選任します。

取締役会は、法令に別段の定めがある場合を除き、代表取締役が招集します。また、取締役会長が取締役会の議長となります。取締役会長に事故がある時は、あらかじめ取締役会の定めた順序により、他の取締役がこれに代わります。取締役会の招集通知は、開催日の3日前までに発することとします。また、取締役および監査役全員の同意がある場合は、招集の手続きを経ないで取締役会を開催することができます。

取締役会は、法令または定款に定められた事項を決議します。その決議は、取締役の過半数が出席し、その出席取締役の過半数をもって行います。

b. 運用プロセス（投資運用の意思決定機構）

① 運用に関する会議等

1. 投資戦略委員会

原則として月1回以上開催し、投資環境や市場動向等を踏まえ、最適な資産配分を決定します。

2. 資産ポートフォリオ委員会

原則として月1回以上開催し、個別資産毎にセクター、スタイル、ファクター等のリスク配分を決定します。

3. 銘柄会議

必要に応じ開催し、ポートフォリオ構築に必要な銘柄の相対的な優位性等を決定します。

4. 運用リスク管理会議

原則として月1回開催し、ファンド運用資産に係るリスクを的確に把握・管理することを目的に、運用リスクや運用パフォーマンスの状況ならびに、コンプライアンス委員会において報告される事項を除く、法令、協会ルール、信託約款、契約細則等の遵守状況の検証および、運用計画と実績の検証結果について報告・審議を行います。

5. コンプライアンス委員会

原則として年4回開催し、ファンドの法令等（法令、協会ルール、信託約款等）の遵守状況など運用の適切性確保に関する遵守状況の報告・審議を行います。

② 運用の流れ

1. 運用方針の決定

経済環境や市場環境等グローバルな投資情報の分析等に基づき、最適な資産配分を決定した後、個別資産毎のリスク配分および資産構成銘柄等を組織的な意思決定プロセスを通じて決定しています。

2. 運用の実践

ファンドマネージャーは、ファンド毎のリスク許容度やガイドライン等を考慮しながら、上記決定を受けた運用方針に基づいた運用を行います。

3. 運用状況の評価

ファンドの運用状況については、運用リスク管理会議やコンプライアンス委員会による運用状況等の評価を通じ、最適な投資行動を実践しているかの確認を行っています。

2【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託者は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務および第二種金融商品取引業を行っています。

2023年8月31日現在、委託者が運用を行っている証券投資信託は以下のとおりです。

種類別（基本的性格）	本数	純資産総額
株式投資信託	247本	4,033,342百万円
公社債投資信託	63本	239,175百万円
合計	310本	4,272,517百万円

3【委託会社等の経理状況】

1. 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）により、作成しております。
2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人により監査を受けております。

独立監査人の監査報告書

2023年6月16日

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所
指定有限責任社員
業務執行社員
公認会計士 細野 和也
指定有限責任社員
業務執行社員
公認会計士 長尾 充洋

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている農林中金全共連アセットマネジメント株式会社の2022年4月1日から2023年3月31日までの第30期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社の2023年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBR Lデータは監査の対象には含まれていません。

(1) 【貸借対照表】

区分	注記 番号	前事業年度 (2022年3月31日)		当事業年度 (2023年3月31日)	
		金額 (千円)		金額 (千円)	
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	※1	3,147,271		18,266,544	
分別金信託		100,000		100,000	
有価証券		33,575		—	
1年内償還予定のその他の関係 会社有価証券		1,000,000		1,000,000	
立替金	※1	40,418,740		—	
前払費用		296,359		344,367	
未収委託者報酬		2,043,613		1,872,978	
未収運用受託報酬	※1	2,409,291		2,021,600	
未収投資助言報酬	※1	616,280		982,868	
未収収益		365		188	
その他		62,975		42,838	
流動資産計		50,128,473		24,631,387	
固定資産					
有形固定資産		208,271		812,781	
建物	※2	104,560		578,104	
器具備品	※2	95,075		234,676	
建設仮勘定		8,635		—	
無形固定資産		6,269		5,599	
商標権		3,875		3,205	
電話加入権等		2,394		2,394	
投資その他の資産		2,334,916		1,663,601	
投資有価証券		654,731		645,029	
その他の関係会社有価証券		1,000,000		—	
長期差入保証金		284,060		493,713	
長期前払費用		2,572		6,563	
会員権		6,700		6,700	
繰延税金資産		386,850		511,594	
固定資産計		2,549,457		2,481,982	
資産合計		52,677,930		27,113,369	

		前事業年度 (2022年3月31日)		当事業年度 (2023年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)		金額 (千円)	
(負債の部)					
流動負債	※ 1				
借入金			28,400,000		—
預り金			913,572		1,060,990
未払金			1,425,372		1,327,197
未払収益分配金			13		13
未払償還金			3,132		3,132
未払手数料			316,788		331,839
未払運用委託料			1,098,003		982,867
その他未払金			7,434		9,343
未払費用			200,231		260,450
未払法人税等			2,889,055		2,638,545
未払消費税等			1,144,493		572,179
賞与引当金			332,279		390,393
流動負債計			35,305,006		6,249,758
固定負債					
退職給付引当金		240,550		284,250	
役員退任慰労引当金		17,500		18,800	
固定負債計		258,050		303,050	
負債合計			35,563,056		6,552,808
(純資産の部)					
株主資本					
資本金			1,466,400		1,466,400
利益剰余金					
利益準備金		74,040		366,600	
その他利益剰余金		15,502,635		18,665,225	
別途積立金		8,538,121		8,538,121	
繰越利益剰余金		6,964,514		10,127,103	
利益剰余金計			15,576,675		19,031,825
株主資本計			17,043,075		20,498,225
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金			71,798		62,336
評価・換算差額等計			71,798		62,336
純資産合計			17,114,873		20,560,561
負債純資産合計			52,677,930		27,113,369

(2) 【損益計算書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日)		当事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)	
		金額 (千円)		金額 (千円)	
営業収益					
委託者報酬			8,662,282		8,014,624
運用受託報酬			6,906,006		7,559,541
投資助言報酬			5,021,561		9,671,667
その他営業収益			—		—
営業収益計	※1		20,589,849		25,245,832
営業費用					
支払手数料			1,284,554		1,267,282
広告宣伝費			25,851		32,905
調査費			936,533		1,227,550
調査費		908,553		1,180,041	
委託調査費		24,638		44,166	
図書費		3,341		3,343	
委託計算費			406,318		403,233
外部運用委託料			3,652,958		3,997,416
営業雑経費			141,882		177,368
通信費		42,916		59,900	
印刷費		59,864		65,113	
協会費		12,773		19,108	
諸会費		2,180		2,252	
その他営業雑経費		24,146		30,993	
営業費用計			6,448,099		7,105,757
一般管理費					
給料			2,314,181		2,680,109
役員報酬		118,226		104,475	
役員賞与		250		—	
給料・手当		1,524,985		1,803,065	
賞与		328,639		373,174	
賞与引当金繰入額		332,279		390,393	
役員退任慰労引当金繰入額		9,800		9,000	
福利厚生費			281,385		336,941
交際費			3,101		14,008
旅費交通費			4,757		60,965
租税公課			181,041		219,965
不動産賃借料			235,876		271,157
役員退任慰労金			3,300		700
退職給付費用			74,445		96,457
固定資産減価償却費			104,378		154,811
資産除去債務（履行差額）			—		128,053
業務委託費			705,179		771,484
諸経費			275,839		381,294
一般管理費計			4,183,487		5,115,950
営業利益			9,958,262		13,024,124

		前事業年度 (自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日)		当事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)		金額 (千円)	
営業外収益					
受取配当金			20,755		24,564
有価証券利息	※1		1,962		1,358
受取利息			88		90
投資有価証券売却益			71,904		8,036
投資有価証券償還益			173		618
その他			165		92
営業外収益計			95,048		34,760
営業外費用					
支払利息	※1		8,210		373
投資有価証券売却損			62,414		—
投資有価証券償還損			5,994		2,105
その他			403		10,042
営業外費用計			77,022		12,521
經常利益			9,976,288		13,046,364
特別損失					
固定資産除却損	※2		102		25,679
特別損失計			102		25,679
税引前当期純利益			9,976,186		13,020,684
法人税、住民税及び事業税			3,197,366		4,114,491
法人税等調整額			△ 185,695		△ 120,567
法人税等合計			3,011,671		3,993,923
当期純利益			6,964,514		9,026,760

(3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

項目	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金	繰越利益 剰余金	
					別途積立金			
当期首残高	3,420,000	1,500,000	—	1,500,000	74,040	11,205,000	1,997,783	13,276,823
当期変動額								
新株の発行	0							
資本金から剰余金 への振替	△1,953,600		1,953,600	1,953,600				
準備金から剰余金 への振替		△1,500,000	1,500,000	—				
剰余金の配当							△1,512,732	△1,512,732
利益準備金の積立								
別途積立金の積立						400,000	△400,000	—
別途積立金の取崩						△3,066,878	3,066,878	—
当期純利益							6,964,514	6,964,514
自己株式の取得								
自己株式の消却			△6,605,530	△6,605,530				
利益剰余金から資本 剰余金への振替			3,151,930	3,151,930			△3,151,930	△3,151,930
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	△1,953,599	△1,500,000	—	△1,500,000	—	△2,666,878	4,966,731	2,299,852
当期末残高	1,466,400	—	—	—	74,040	8,538,121	6,964,514	15,576,675

(単位：千円)

項目	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	—	18,196,823	64,701	64,701	18,261,524
当期変動額					
新株の発行		0			0
資本金から剰余金 への振替					—
準備金から剰余金 への振替					—
剰余金の配当		△1,512,732			△1,512,732
利益準備金の積立					—
別途積立金の積立		—			—
別途積立金の取崩		—			—
当期純利益		6,964,514			6,964,514
自己株式の取得	△6,605,530	△6,605,530			△6,605,530
自己株式の消却	6,605,530	—			—
利益剰余金から資本 剰余金への振替		—			—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			7,096	7,096	7,096
当期変動額合計	—	△1,153,747	7,096	7,096	△1,146,650
当期末残高	—	17,043,075	71,798	71,798	17,114,873

当事業年度(自 2022年4月 1 日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

項目	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
						別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	1,466,400	—	—	—	74,040	8,538,121	6,964,514	15,576,675
当期変動額								
新株の発行								
資本金から剰余金 への振替								
準備金から剰余金 への振替								
剰余金の配当							△5,571,611	△5,571,611
利益準備金の積立					292,560		△292,560	—
別途積立金の積立								
別途積立金の取崩								
当期純利益							9,026,760	9,026,760
自己株式の取得								
自己株式の消却								
利益剰余金から資本 剰余金への振替								
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	292,560	—	3,162,589	3,455,149
当期末残高	1,466,400	—	—	—	366,600	8,538,121	10,127,103	19,031,825

(単位：千円)

項目	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	—	17,043,075	71,798	71,798	17,114,873
当期変動額					
新株の発行					—
資本金から剰余金 への振替					—
準備金から剰余金 への振替					—
剰余金の配当		△ 5,571,611			△ 5,571,611
利益準備金の積立		—			—
別途積立金の積立					—
別途積立金の取崩					—
当期純利益		9,026,760			9,026,760
自己株式の取得					—
自己株式の消却					—
利益剰余金から資本 剰余金への振替					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			△ 9,461	△ 9,461	△ 9,461
当期変動額合計	—	3,455,149	△ 9,461	△ 9,461	3,445,687
当期末残高	—	20,498,225	62,336	62,336	20,560,561

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

- (1) 満期保有目的の債券
償却原価法（定額法）を採用しております。
- (2) その他有価証券
市場価格のない株式等以外のもの
期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は総平均法により算定）を採用しております。
市場価格のない株式等
総平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産
定率法を採用しております。ただし、建物（附属設備を除く。）及び2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。
なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
建物 1～50年
器具備品 3～15年
- (2) 無形固定資産
定額法を採用しております。
なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
商標権 10年

3. 引当金の計上基準

- (1) 賞与引当金
従業員に対する賞与の支払いに備えるため、支給見込額を計上しております。
- (2) 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。
- (3) 役員退任慰労引当金
役員の退任慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

4. 収益の計上基準

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号2021年3月26日）を適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

表示方法の変更

(貸借対照表)

前事業年度において、「流動負債」の「未払手数料」に含めて表示していた「未払運用委託料」は金額的重要性が増したため、当事業年度より独立掲記することとしました。この表示方法を変更するため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「流動負債」の「未払手数料」に表示していた1,414,791千円は、「未払手数料」316,788千円、「未払運用委託料」1,098,003千円として組み替えております。

(損益計算書)

前事業年度において、「営業費用」の「委託調査費」に含めて表示していた「外部運用委託料」は、金額的重要性が増したため、当事業年度より、独立掲記することとしました。この表示方法を変更するため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業費用」の「委託調査費」に表示していた3,677,597千円は、「外部運用委託料」3,652,958千円、「委託調査費」24,638千円として組み替えております。

会計上の見積りの変更に関する注記

当社は、2021年6月25日開催の取締役会、2022年6月27日開催の取締役会において、本社および事務所の移転に関する決議をいたしました。これにより、本社および事務所の移転に伴い利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、移転予定日までの期間で減価償却が完了するように耐用年数を変更しております。なお、この変更による、当事業年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益への金額の影響は軽微なものであります。

注記事項

(貸借対照表関係)

前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)																				
<p>※1 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">預金</td> <td style="text-align: right;">2,982,931千円</td> </tr> <tr> <td>立替金</td> <td style="text-align: right;">40,418,740千円</td> </tr> <tr> <td>未収運用受託報酬</td> <td style="text-align: right;">2,222,326千円</td> </tr> <tr> <td>未収投資助言報酬</td> <td style="text-align: right;">616,280千円</td> </tr> <tr> <td>借入金</td> <td style="text-align: right;">28,400,000千円</td> </tr> </table>	預金	2,982,931千円	立替金	40,418,740千円	未収運用受託報酬	2,222,326千円	未収投資助言報酬	616,280千円	借入金	28,400,000千円	<p>※1 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">預金</td> <td style="text-align: right;">18,065,313千円</td> </tr> <tr> <td>立替金</td> <td style="text-align: right;">－千円</td> </tr> <tr> <td>未収運用受託報酬</td> <td style="text-align: right;">1,548,805千円</td> </tr> <tr> <td>未収投資助言報酬</td> <td style="text-align: right;">894,529千円</td> </tr> <tr> <td>借入金</td> <td style="text-align: right;">－千円</td> </tr> </table>	預金	18,065,313千円	立替金	－千円	未収運用受託報酬	1,548,805千円	未収投資助言報酬	894,529千円	借入金	－千円
預金	2,982,931千円																				
立替金	40,418,740千円																				
未収運用受託報酬	2,222,326千円																				
未収投資助言報酬	616,280千円																				
借入金	28,400,000千円																				
預金	18,065,313千円																				
立替金	－千円																				
未収運用受託報酬	1,548,805千円																				
未収投資助言報酬	894,529千円																				
借入金	－千円																				
<p>※2 有形固定資産の減価償却累計額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">建物</td> <td style="text-align: right;">131,712千円</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td style="text-align: right;">150,993千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">282,706千円</td> </tr> </table>	建物	131,712千円	器具備品	150,993千円	合計	282,706千円	<p>※2 有形固定資産の減価償却累計額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">建物</td> <td style="text-align: right;">239,244千円</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td style="text-align: right;">148,081千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">387,326千円</td> </tr> </table>	建物	239,244千円	器具備品	148,081千円	合計	387,326千円								
建物	131,712千円																				
器具備品	150,993千円																				
合計	282,706千円																				
建物	239,244千円																				
器具備品	148,081千円																				
合計	387,326千円																				

(損益計算書関係)

前事業年度 (自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)								
<p>※1 各科目に含まれている関係会社に対するものは次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">営業収益</td> <td style="text-align: right;">11,067,606千円</td> </tr> <tr> <td>支払利息</td> <td style="text-align: right;">8,210千円</td> </tr> </table>	営業収益	11,067,606千円	支払利息	8,210千円	<p>※1 各科目に含まれている関係会社に対するものは次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">営業収益</td> <td style="text-align: right;">15,413,517千円</td> </tr> <tr> <td>支払利息</td> <td style="text-align: right;">186千円</td> </tr> </table>	営業収益	15,413,517千円	支払利息	186千円
営業収益	11,067,606千円								
支払利息	8,210千円								
営業収益	15,413,517千円								
支払利息	186千円								
<p>※2 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">器具備品</td> <td style="text-align: right;">102千円</td> </tr> </table>	器具備品	102千円	<p>※2 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">器具備品</td> <td style="text-align: right;">25,679千円</td> </tr> </table>	器具備品	25,679千円				
器具備品	102千円								
器具備品	25,679千円								

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
発行済株式				
普通株式（株）	38,400	—	9,072	29,328
A種種類株式（株）	15,000	—	15,000	—
A種優先株式（株）	—	1	—	1
B種優先株式（株）	—	1	—	1
合計（株）	53,400	2	24,072	29,330
自己株式				
普通株式（株）	—	9,072	9,072	—
A種種類株式（株）	—	15,000	15,000	—
合計（株）	—	24,072	24,072	—

(注) 1 普通株式の発行済株式数の減少9,072株は2021年9月3日に普通株式9,072株を自己株式として取得し、同日取得株数全株を消却したことによるものです。

2 A種種類株式の発行済株式数の減少15,000株は2021年7月27日にA種種類株式15,000株を自己株式として取得し、同日取得株数全株を消却したことによるものです。

3 A種優先株式1株の増加及びB種優先株式1株の増加は、いずれも2021年9月3日に新規発行したことによるものです。

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2021年6月25日 定時株主総会	普通株式	680,832	17,730	2021年3月31日	2021年6月28日
	A種種類株式	831,900	55,460	2021年3月31日	2021年6月28日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (千円)	基準日	効力発生日
2022年6月27日 定時株主総会	A種優先株式	4,916,947	利益剰余金	4,916,947	2022年3月31日	2022年6月28日
	B種優先株式	654,664	利益剰余金	654,664	2022年3月31日	2022年6月28日

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
発行済株式				
普通株式（株）	29,328	—	—	29,328
A種種類株式（株）	—	—	—	—
A種優先株式（株）	1	—	—	1
B種優先株式（株）	1	—	—	1
合計（株）	29,330	—	—	29,330
自己株式				
普通株式（株）	—	—	—	—
A種種類株式（株）	—	—	—	—
合計（株）	—	—	—	—

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (千円)	基準日	効力発生日
2022年6月27日 定時株主総会	A種優先株式	4,916,947	4,916,947	2022年3月31日	2022年6月28日
	B種優先株式	654,664	654,664	2022年3月31日	2022年6月28日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議予定	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (千円)	基準日	効力発生日
2023年6月26日 定時株主総会	A種優先株式	6,401,056	利益剰余金	6,401,056	2023年3月31日	2023年6月27日
	B種優先株式	820,352	利益剰余金	820,352	2023年3月31日	2023年6月27日

(リース取引関係)

前事業年度 2022年3月31日	当事業年度 2023年3月31日
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については主に安全性の高い金融商品により行っております。なお、投資有価証券に含まれる投資信託については、市場リスクに晒されておりますが、その取得については、社内規定により、取得金額の上限を定めるとともに、当社が設定する投資信託について、当初設定時における取得、または商品性を適正に維持するための取得に限定しており、毎月時価の把握を行っております。また、金融債での運用については、毎月時価の把握を行っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

前事業年度 (2022年3月31日)

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)有価証券及び投資有価証券 その他有価証券 (*1)	686,620	686,620	—
(2)その他の関係会社有価証券 満期保有目的の債券 (*2)	2,000,000	2,001,350	1,350
資産計	2,686,620	2,687,970	1,350

(*) 「現金及び預金」、「立替金」、「未収委託者報酬」、「未収運用受託報酬」、「未収投資助言報酬」については、現金であること、あるいは短期間で決済されるため、時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。「借入金」については、短期借入金であり、短期間で返済されるため、時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(*1) 市場価格のない株式等は、「(1)有価証券及び投資有価証券 その他有価証券」には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は1,687千円であります。

(*2) 1年内償還予定のその他の関係会社有価証券を含んでおります。

当事業年度 (2023年3月31日)

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)有価証券及び投資有価証券 その他有価証券 (*1)	643,342	643,342	—
(2)その他の関係会社有価証券 満期保有目的の債券 (*2)	1,000,000	999,925	△75
資産計	1,643,342	1,643,267	△75

(*) 「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未収運用受託報酬」、「未収投資助言報酬」、「未払法人税等」については、現金であること、あるいは短期間で決済されるため、時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(*1) 市場価格のない株式等は、「(1)有価証券及び投資有価証券 その他有価証券」には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は1,687千円であります。

(*2) 1年内償還予定のその他の関係会社有価証券を含んでおります。

3. 金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項

当事業年度におけるレベルごとの時価は次のとおりであります。

金融商品の時価は、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル 1 の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル 2 の時価：レベル 1 のインプット以外の直接または間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル 3 の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価で貸借対照表に計上している金融商品

(単位：千円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券				
投資信託	—	643,342	—	643,342
資産計	—	643,342	—	643,342

(2) 時価で貸借対照表計上に計上している金融商品以外の金融商品

(単位：千円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
その他の関係会社有価証券				
満期保有目的の債券				
その他の関係会社社債	—	999,925	—	999,925
資産計	—	999,925	—	999,925

(注) 時価の算定に用いた評価技法および時価の算定に係るインプットの説明

投資信託

当社の保有している投資信託は、市場での取引頻度が低く、活発な市場における相場価格とは認められないため、その時価をレベル2の時価に分類しております。なお、投資信託の時価は、基準価額によっております。

その他の関係会社社債

当社の保有しているその他の関係会社社債は、市場での取引頻度が低く、活発な市場における相場価格とは認められないため、その時価をレベル2の時価に分類しております。なお、その他の関係会社社債の時価は、取引金融機関の提示する参考時価情報によっております。

4. 金銭債権および満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度(2022年3月31日)

(単位：千円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	3,147,271	—	—	—
立替金	40,418,740	—	—	—
未収委託者報酬	2,043,613	—	—	—
未収運用受託報酬	2,409,291	—	—	—
未収投資助言報酬	616,280	—	—	—
有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満期 のあるもの	33,575	85,544	89,763	15,952
その他の関係会社有価証券 満期保有目的の債券	1,000,000	1,000,000	—	—
合計	49,668,772	1,085,544	89,763	15,952

当事業年度(2023年3月31日)

(単位：千円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	18,266,544	—	—	—
未収委託者報酬	1,872,978	—	—	—
未収運用受託報酬	2,021,600	—	—	—
未収投資助言報酬	982,868	—	—	—
有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満期 のあるもの	—	—	105,317	55,660
その他の関係会社有価証券 満期保有目的の債券	1,000,000	—	—	—
合計	24,143,992	—	105,317	55,660

5. 社債、長期借入金、リース債務及びその他の有利子負債の決済日後の返済予定

前事業年度(2022年3月31日)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
短期借入金	28,400,000	—	—	—	—	—
合計	28,400,000	—	—	—	—	—

当事業年度(2023年3月31日)

該当事項はありません。

(有価証券関係)

1. 満期保有目的の債券

前事業年度 (2022年3月31日)

(単位：千円)

	種類	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	金融債	1,750,000	1,751,350	1,350
	小計	1,750,000	1,751,350	1,350
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	金融債	250,000	250,000	—
	小計	250,000	250,000	—
合計		2,000,000	2,001,350	1,350

当事業年度 (2023年3月31日)

(単位：千円)

	種類	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	金融債	—	—	—
	小計	—	—	—
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	金融債	1,000,000	999,925	△75
	小計	1,000,000	999,925	△75
合計		1,000,000	999,925	△75

2. その他有価証券

前事業年度 (2022年3月31日)

(単位：千円)

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	その他	530,192	410,805	119,387
	小計	530,192	410,805	119,387
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	その他	156,427	172,330	△15,902
	小計	156,427	172,330	△15,902
合計		686,620	583,135	103,485

(注) 時価が取得原価に比べて著しく下落したものについては、回復可能性があると判断される銘柄を除き、当該時価をもって貸借対照表価額とするとともに、評価差額を当事業年度の損失として処理（以下、「減損処理」という。）することとしておりますが、当事業年度においては、該当事項はありません。

また、時価が著しく下落したと判断するための根拠を定めており、その概要は、原則として以下のとおりであります。

時価が取得原価の50%以下の銘柄

時価が取得原価の50%超70%以下の水準で一定期間推移している銘柄

当事業年度 (2023年3月31日)

(単位：千円)

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	その他	524,473	410,805	113,668
	小計	524,473	410,805	113,668
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	その他	118,869	142,690	△23,820
	小計	118,869	142,690	△23,820
合計		643,342	553,495	89,847

(注) 時価が取得原価に比べて著しく下落したものについては、回復可能性があると判断される銘柄を除き、当該時価をもって貸借対照表価額とするとともに、評価差額を当事業年度の損失として処理（以下、「減損処理」という。）することとしておりますが、当事業年度においては、該当事項はありません。

また、時価が著しく下落したと判断するための根拠を定めており、その概要は、原則として以下のとおりであります。

時価が取得原価の50%以下の銘柄

時価が取得原価の50%超70%以下の水準で一定期間推移している銘柄

3. 売却したその他有価証券

前事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

（単位：千円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
その他	488,800	71,904	62,414
合計	488,800	71,904	62,414

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
その他	54,000	8,036	—
合計	54,000	8,036	—

（デリバティブ取引関係）

前事業年度（2022年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（2023年3月31日）

該当事項はありません。

（退職給付関係）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として退職一時金制度（非積立型制度であります。）を採用しております。

当社が有する退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2. 確定給付制度

(1) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表 （単位：千円）

	前事業年度 （自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日）	当事業年度 （自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日）
退職給付引当金の期首残高	232,053	240,550
退職給付費用	36,120	45,110
退職給付の支払額	27,623	1,410
退職給付引当金の期末残高	240,550	284,250

(2) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表 (単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
非積立型制度の退職給付債務	240,550	284,250
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	240,550	284,250
退職給付引当金	240,550	284,250
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	240,550	284,250

(3) 退職給付費用

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)
簡便法で計算した退職給付費用	36,120	45,110

(税効果会計関係)

(単位：千円)

前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳	1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳
繰延税金資産	繰延税金資産
ソフトウェア償却超過額 67,930	ソフトウェア償却超過額 78,112
敷金償却否認 22,696	敷金償却否認 30,554
本社移転費用否認 —	本社移転費用否認 74,687
会員権評価損否認 2,591	会員権評価損否認 2,591
電話加入権評価損 1,395	電話加入権評価損 1,395
賞与引当金 101,744	賞与引当金 119,538
役員退任慰労引当金 5,358	役員退任慰労引当金 5,756
退職給付引当金 73,656	退職給付引当金 87,037
その他有価証券評価差額金 4,869	その他有価証券評価差額金 7,293
未払事業税 139,109	未払事業税 127,691
その他 <u>4,056</u>	その他 <u>11,741</u>
繰延税金資産小計 423,407	繰延税金資産小計 546,399
評価性引当額 —	評価性引当額 —
繰延税金資産合計 423,407	繰延税金資産合計 546,399
繰延税金負債	繰延税金負債
その他有価証券評価差額金 <u>△36,556</u>	その他有価証券評価差額金 <u>△34,805</u>
繰延税金負債合計 <u>△36,556</u>	繰延税金負債合計 <u>△34,805</u>
繰延税金資産の純額 <u>386,850</u>	繰延税金資産の純額 <u>511,594</u>
2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳	2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳
当事業年度は、法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。	当事業年度は、法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

(資産除去債務関係)

前事業年度 (自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)
<p>本社は不動産賃貸借契約により、退去時における原状回復に係る債務を有しております。</p> <p>当該賃貸借契約については、敷金が資産計上されておりますので、「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」第9項、第15項に基づき、資産除去債務の負債計上及びこれに対応する除去費用の資産計上に代えて、原状回復に係る費用を敷金の回収が見込めない金額として合理的に見積もり、そのうち当事業年度の負担に属する金額を費用に計上しております。</p>	<p>本社は不動産賃貸借契約により、退去時における原状回復に係る債務を有しております。</p> <p>当該賃貸借契約については、敷金が資産計上されておりますので、「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」第9項、第15項に基づき、資産除去債務の負債計上及びこれに対応する除去費用の資産計上に代えて、原状回復に係る費用を敷金の回収が見込めない金額として合理的に見積もり、そのうち当事業年度の負担に属する金額を費用に計上しております。</p>

(収益認識に関する注記)

当社は、投資運用業により委託者報酬、運用受託報酬を稼得しております。

1. 委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を投資信託によって主に年2回、もしくは年1回受取ります。当該報酬は投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。
2. 運用受託報酬は、投資顧問契約で定められた投資顧問報酬に基づき、確定した報酬を顧問口座によって主に年4回、もしくは年2回受取ります。当該報酬は顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。
3. 投資助言報酬は、投資助言契約で定められた投資助言報酬に基づき、確定した報酬を顧問口座によって主に年1回受取ります。当該報酬は顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。

当事業年度の顧客との契約から生じる収益を分解した情報は損益計算書記載の通りです。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

前事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

当社は、投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

当社は、投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

前事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

投資信託委託会社としての投資運用業、投資一任契約及び投資助言契約に係る投資運用業それぞれの営業収益は損益計算書に記載されております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

(単位：千円)

日本	ケイマン	合計
19,756,670	833,179	20,589,849

(注) 営業収益の地域区分は、契約相手方の所在地（ファンドの場合は組成地）を基礎として分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	営業収益	関連するセグメント名
農林中央金庫	12,204,592	投資運用業
全国共済農業協同組合連合会	2,340,426	投資運用業

(注) 営業収益は、当社が直接募集により販売した投資信託に係る委託者報酬、投資一任契約による運用受託報酬及び投資助言契約による投資助言報酬を顧客ごとに集計しております。

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

投資信託委託会社としての投資運用業、投資一任契約及び投資助言契約に係る投資運用業それぞれの営業収益は損益計算書に記載されております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

(単位：千円)

日本	ケイマン	合計
23,537,958	1,707,874	25,245,832

(注) 営業収益の地域区分は、契約相手方の所在地（ファンドの場合は組成地）を基礎として分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	営業収益	関連するセグメント名
農林中央金庫	16,103,493	投資運用業
全国共済農業協同組合連合会	2,486,311	投資運用業

(注) 営業収益は、当社が直接募集により販売した投資信託に係る委託者報酬、投資一任契約による運用受託報酬及び投資助言契約による投資助言報酬を顧客ごとに集計しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

前事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれんの発生益に関する情報]

前事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

(関連当事者情報)

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 関連当事者との取引

親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称 又は 氏名	所在地	資本金 又は 出資金 (百万円)	事業の 内容又 は職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の 内容	取引 金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	農林中央 金庫	東京都 千代田区	4,040,198	金融業	被所有 直接 66.66%	当社投資信託の 購入・募集・販 売の取扱、投資 一任契約等の締 結、投資助言契 約の締結 役員の兼任	資金の借入 に係る利息 の支払 (注1)	8,210	短期借入 金	28,400,000
							運用受託報 酬の受取 (注2)	6,045,161	未収投資 一任報酬	2,221,441
							投資助言報 酬の受取 (注2)	5,021,561	未収投資 助言報酬	616,280
その他 の関連 会社	全国共済 農業協同 組合連合 会	東京都 千代田区	756,537	金融業	被所有 直接 33.34%	当社投資信託の 購入・募集・販 売の取扱、役員 の兼任	自己株式の 取得(注3)	3,605,530	—	—
							投資信託購 入の立替 (注4)	—	立替金追 加設定	40,418,740

(注1) 資金の借入については、アームズレングスルールにおけるガイドラインに従い、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。なお、担保は差し入れておりません。

(注2) 取引条件は、アームズレングスルールにおけるガイドラインに従い、一般取引条件を勘案した個別契約に基づき決定しております。

(注3) 自己株式の取得は、2021年3月31日に親会社との間で締結された株主間契約にもとづく取得価格により、2021年8月17日開催の当社株主総会の決定を経て、行われております。

(注4) 投資信託購入のための一時的な立替を行っています。取引条件については、当社と関連を有しない、他の取引先と同様の条件によっております。

2. 兄弟会社等

属性	会社等の名称 又は 氏名	所在地	資本金 又は 出資金 (百万円)	事業の 内容又 は職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の 内容	取引 金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社 の子会 社	農中信託 銀行株式 会社	東京都 千代田区	20,000	金融業	—	当社投資信託の 運用助言	自己株式の 取得(注)	3,000,000	—	—

(注) 自己株式取得については、2021年7月28日開催の当社取締役会での決定を経て、当社定款に定められた金額、方法により行われております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

農林中央金庫(非上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

該当事項はありません。

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 関連当事者との取引

親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称 又は 氏名	所在地	資本金 又は 出資金 (百万円)	事業の 内容又は 職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の 内容	取引 金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	農林中央 金庫	東京都 千代田区	4,040,198	金融業	被所有 直接 66.66%	当社投資信託 の購入・募 集・販売の取 扱、投資一任 契約等の締 結、投資助言 契約の締結 役員の兼任	運用受託報 酬の受取 (注1)	5,822,158	未収投資 一任報酬	1,548,805
							投資助言報 酬の受取 (注1)	9,591,359	未収投資 助言報酬	894,529

(注1) 取引条件は、アームズレングスルールにおけるガイドラインに従い、一般取引条件を勘案した個別契約に基づき決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

農林中央金庫（非上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	346,097円90銭	345,775円28銭
1株当たり当期純利益金額	－銭	－銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	17,114,873	20,560,561
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	6,964,514	10,419,663
(うちA種優先株式優先配当額・B種 優先株式優先配当額)	(6,964,514)	(9,026,760)
(うちA種優先株式未分配配当額・B 種優先株式未分配配当額)	(－)	(1,392,902)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	10,150,359	10,140,897
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (株)	29,328	29,328

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)
当期純利益金額 (千円)	6,964,514	9,026,760
普通株主に帰属しない金額 (千円)	6,964,514	9,026,760
(うちA種優先株式優先配当額・B種 優先株式優先配当額)	(6,964,514)	(9,026,760)
普通株式に係る当期純利益金額 (千円)	－	－
普通株式の期中平均株式数 (株)	33,180	29,328

4【利害関係人との取引制限】

委託者は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

- ① 自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- ② 運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- ③ 通常の見積りの条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託者の親法人等（委託者の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下④⑤において同じ。）又は子法人等（委託者が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引又は金融デリバティブ取引を行うこと。
- ④ 委託者の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。
- ⑤ 上記③④に掲げるもののほか、委託者の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5【その他】

(1) 定款の変更、事業譲渡又は事業譲受、出資の状況その他の重要事項について該当事項はありません。

(2) 訴訟事件その他の重要事項

本書提出日現在、委託者およびファンドに重要な影響を与えた事実、または、与えると予想される事実はありません。

追加型証券投資信託
NZAM 上場投信
S&P／JPX カーボン・エフィシエント指数

約 款

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

追加型証券投資信託
NZAM 上場投信 S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数約款

(信託の種類、委託者および受託者)

第1条 この信託は、証券投資信託であり、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社を委託者とし、三菱UFJ信託銀行株式会社を受託者とします。

② この信託は、信託法（平成18年法律第108号）（以下「信託法」といいます。）の適用を受けます。

(信託事務の委託)

第2条 受託者は、信託法第28条第1号に基づく信託事務の委託として、信託事務の処理の一部について、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律第1条第1項の規定による信託業務の兼営の認可を受けた一の金融機関（受託者の利害関係人（金融機関の信託業務の兼営等に関する法律第2条第1項にて準用する信託業法第29条第2項第1号に規定する利害関係人をいいます。以下この条、第21条第1項、同条第2項および第25条において同じ。）を含みます。）と信託契約を締結し、これを委託することができます。

② 前項における利害関係人に対する業務の委託については、受益者の保護に支障を生じることがない場合に行うものとします。

(信託の目的、金額および信託金の限度額)

第3条 委託者は、金1,000億円に相当する有価証券および金銭を上限として、受益者のために利殖の目的をもって信託し、受託者はこれを引き受けます。

② 委託者は、受託者と合意のうえ、金10兆円に相当する有価証券および金銭を限度として追加信託することができます。

③ 委託者は、受託者と合意のうえ、第2項の限度額を変更することができます。

(信託期間)

第4条 この信託は、期間の定めを設けません。ただし、第46条第1項、同条第2項、第47条第1項、第48条第1項および第50条第2項の規定により信託を終了させる場合があります。

(受益権の取得申込みの勧誘の種類)

第5条 この信託に係る受益権の取得申込みの勧誘は、金融商品取引法第2条第3項第1号に掲げる場合に該当し、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第8項で定める公募により行われます。

(当初の受益者)

第6条 この信託契約締結当初および追加信託当初の受益者は、委託者の指定する受益権取得申込者とし、第7条の規定により分割された受益権は、その取得申込口数に応じて取得申込者に帰属します。ただし、別に定める金融商品取引清算機関（金融商品取引法第2条第29項に規定する金融商品取引清算機関とし、以下、「清算機関」といいます。）の業務方法書に定めるところにより、第12条に定める取得申込みを受付けた販売会社が、当該取得申込みの受付によって生じる有価証券の委託者への受渡しまたは支払いの債務の負担を当該清算機関に申し込み、これを当該清算機関が負担する場合の追加信託当初の受益者は当該清算機関とします。

(受益権の分割および再分割)

第7条 委託者は、第3条第1項の規定による受益権については、同条同項において信託された金額を信託契約締結日の前営業日の「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」（以下「対象株価指数」といいます。）の終値の1ポイントを1円に換算した額（小数点以下は切り上げ）で除した口数に、追加信託によって生じた受益権についてはこれを追加信託のつど第8条第1項の追加口数に、それぞれ均等に分割します。

② 委託者は、受託者と協議のうえ、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

(追加信託の価額および口数、基準価額の計算方法)

第8条 追加信託に相当する金額は、追加信託を行う日の前営業日の基準価額に、当該追加信託に係る受益権の口数を乗じて得た額（第12条第5項に規定する必要な経費に相当する金額を加えた額）とし、追加信託は、当該金額に相当する有価証券および金銭によるものとします。

② この約款において基準価額とは、投資信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って時価または一部償却原価法により評価して得た投資信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（以下「純資産総額」といいます。）を、計算日における受益権総口数で除して得た金額をいいます。

（信託日時の異なる受益権の内容）

第9条 この信託の受益権は、信託の日時を異にすることにより差異を生じることはありません。

（受益権の帰属と受益証券の不発行）

第10条 この信託のすべての受益権は、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）の規定の適用を受けることとし、受益権の帰属は、委託者があらかじめこの投資信託の受益権を取り扱うことについて同意した一の振替機関（社振法第2条に規定する「振替機関」をいい、以下「振替機関」といいます。）および当該振替機関の下位の口座管理機関（社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。

② 委託者は、この信託の受益権を取り扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取り消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

なお、受益者は、委託者がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。

③ 委託者は、第7条の規定により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行うものとします。振替機関等は、委託者から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。

（受益権の設定に係る受託者の通知）

第11条 受託者は、第3条第1項の規定による受益権については信託契約締結日に、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、有価証券および金銭（第12条第5項に規定する株式の個別銘柄時価総額に相当する金額および必要な経費に相当する金額を含みます。）について受入れまたは振替済の通知を受けた場合には、振替機関に対し当該受益権に係る信託が行われた旨の通知を行います。ただし、第6条ただし書きに掲げる業務方法書に定めるところにより、当該有価証券の委託者への受渡しまたは支払いの債務を清算機関が負担する場合には、受託者は、委託者の指図に基づき、当該有価証券についての受入れまたは振替済の通知にかかわらず、振替機関に対し追加信託が行われた旨を通知するものとします。

（受益権の申込単位および価額）

第12条 販売会社（委託者の指定する金融商品取引法第28条第1項に規定する第一種金融商品取引業を行う者をいいます。以下同じ。）は、その取得申込者に対し、第7条第1項の規定により分割される受益権の取得の申込に応じることができるものとします。

② 受益権の取得申込者は、委託者が指定する一定口数の整数倍の受益権の取得を申し込むものとします。この場合、取得申込みは、対象株価指数を構成する各銘柄の株式の数の構成比率に相当する比率により構成される各銘柄の株式をもって行うものとします。ただし、当該株式の評価額が、一定口数の整数倍の受益権の評価額に満たない場合は、その差額に相当する金銭を支払うものとします。なお、一定口数は、当該銘柄によって構成される、委託者が対象株価指数に連動すると想定する1単位のポートフォリオに相当する口数とします。

- ③ 受益権の価額は、第4項に規定する取得申込受付日の基準価額とします。
- ④ 販売会社は受益権の取得申込者に対し、その申込みの当日（委託者が別に定める時限を過ぎて申込みを受領した場合は翌営業日）（第3条第1項の規定に係る取得については信託契約締結日とします。）を取得申込受付日として当該取得申込を受け付けます。
- ⑤ 取得申込者が対象株価指数の構成銘柄である株式の発行会社またはその子会社（会社法第2条第3号に規定する子会社をいい、当該発行会社またはその子会社を以下「発行会社等」といいます。）である場合には、第2項の規定にかかわらず、原則として取得申込みに係る当該発行会社の株式の個別銘柄時価総額に相当する金額を当該株式に代えて金銭をもって取得することができるものとします。この場合の個別銘柄時価総額は、第3項の基準価額の計算日における当該発行会社の株式の金融商品取引所（金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号口に規定する外国金融商品市場をいいます。以下同じ。）の終値（終値のないものについてはそれに準ずる価額とします。）に第1項の取得申込に係る有価証券に含まれる当該発行会社の株数を乗じて得た金額とします。なお、委託者は、当該発行会社の株式を投資信託財産において取得するために必要な経費に相当する金額を徴することができるものとします。
- ⑥ 前項に該当する場合には、受益権の取得申込者は、販売会社を通じてその旨を委託者に通知するものとします。この通知が取得申込の際に行われなかった場合において、そのことよって投資信託財産その他に損害が生じた場合には、販売会社がすべての責を負うものとします。
- ⑦ 第1項の取得申込者は販売会社に、取得申込と同時にまたは予め、自己のために開設されたこの信託の受益権の振替を行うための振替機関等の口座を示すものとし、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録が行われます。なお、販売会社は、当該取得申込に係る有価証券ならびに第2項ただし書きおよび第5項に規定する金銭の受渡または支払いと引き換えに、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録を行うことができます。また、第6条ただし書きに掲げる業務方法書に定めるところにより、取得申込みを受付けた販売会社が、当該取得申込みの受付によって生じる有価証券の委託者への受渡または支払いの債務の負担を清算機関に申し込み、これを当該清算機関が負担する場合には、振替機関等における当該清算機関の名義の口座に口数の増加の記載または記録が行われ、取得申込者が自己のために開設されたこの信託の受益権の振替を行うための振替機関等の口座における口数の増加の記載または記録は、当該清算機関と販売会社（販売会社による清算機関への債務の負担の申込みにおいて、当該販売会社の委託を受けて金融商品取引法第2条第27項に定める有価証券等清算取次ぎが行われる場合には、当該有価証券等清算取次ぎを行う金融商品取引業者または登録金融機関を含みます。）との間で振替機関等を介して行われます。
- ⑧ 第1項の規定にかかわらず、委託者は、原則として、次の各号に該当する場合は、受益権の取得申込の受付を停止します。ただし、委託者は、投資信託財産の状況、資金動向、市況動向等を鑑み、投資信託財産に及ぼす影響が軽微である等と判断される場合には、受益権の取得申込みの受け付けを行うことがあります。
1. 対象株価指数の構成銘柄の配当落日および権利落日の各々前営業日から起算して2営業日以内
 2. 対象株価指数の銘柄変更実施日および銘柄株数変更実施日の各々前々営業日から起算して3営業日以内
 3. 対象株価指数の構成銘柄の株式移転および合併等に伴う新規銘柄の対象株価指数への採用日ならびに存続銘柄の指数用株式数変更日の前営業日
 4. 第31条に定める計算期間終了日の3営業日前から起算して4営業日以内（ただし、計算期間終了日が休業日の場合は、当該計算期間終了日の4営業日前から起算して4営業日以内）
 5. この信託が終了となる場合において、償還日の直前5営業日間
 6. 前各号のほか、委託者が、第19条に定める運用の基本方針に沿った運用に支障をきたす

おそれがあると判断した場合その他やむを得ない事情があると認めた場合

- ⑨ 販売会社は、取得申込時において、当該販売会社が定める手数料ならびに当該手数料に係る消費税および地方消費税（以下「消費税等」といいます。）に相当する金額を、受益権の取得申込者から徴収することができるものとします。
- ⑩ 前各項の規定にかかわらず、委託者は、金融商品取引所における取引の停止、決済機能の停止、第19条に定める運用の基本方針に沿った運用に支障をきたすおそれがあると判断した場合、その他やむを得ない事情があるときは、受益権の取得の申込を中止すること、および既に受け付けた取得の申込の受付を取り消すことができます。

（金融商品取引所への上場）

第13条 委託者は、この信託の受益権について、金融商品取引所に上場申請を行うものとし、当該受益権は、当該金融商品取引所の定める諸規則等に基づき当該金融商品取引所の承認を得たうえで、当該金融商品取引所が開設する市場に上場されるものとします。

- ② 委託者は、この信託の受益権が上場された場合には、前項の金融商品取引所の定める諸規則等を遵守し、当該金融商品取引所が諸規則等に基づいて行う受益権に対する上場廃止または売買取引の停止その他の措置に従うものとします。

（受益権の譲渡に係る記載または記録）

第14条 受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。

- ② 前項の申請のある場合には、前項の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、前項の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。
- ③ 委託者は、第1項に規定する振替について、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託者が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

（受益権の譲渡の対抗要件）

第15条 受益権の譲渡は、第14条の規定による振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託者および受託者に対抗することができません。

（受益者名簿の作成と名義登録）

第16条 受託者は、この信託に係る受益者名簿を作成し、第6条の受益者について、その氏名または名称、住所および個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条に規定する個人番号をいいます。以下同じ。）または法人番号（同法同条に規定する法人番号をいいます。以下同じ。）（個人番号または法人番号を有しない者にあつては、氏名または名称および住所とします。）その他受託者が定める事項を、受益者名簿に名義登録するものとします。

- ② 受託者は、計算期間終了日において、社振法等関係法令、諸規則等に基づき、振替機関より通知を受けた受益権の帰属者を振替機関等の振替口座簿に記載または記録された受益権に係る受益者として、その氏名または名称、住所および個人番号または法人番号（個人番号もしくは法人番号を有しない者または収益の分配につき租税特別措置法第9条の3の2第1項に規定する支払いの取扱者を通じて交付を受ける者にあつては、氏名または名称および住所とします。）その他受託者の定める事項を受益者名簿に登録するものとします。なお、受託者は他の証券代行業社等、受託者が適当と認める者と委託契約を締結し、受益者名簿の作成および受益者名簿への名義登録を委託することができます。
- ③ 受益者は、この信託の受益権が上場されている金融商品取引所の会員（口座管理機関である

ものに限ります。以下同じ。)を經由して第1項の受益者名簿に名義を登録することを請求することができます。この場合、当該会員は、当該会員が定める手数料および当該手数料に係る消費税等に相当する金額を徴することができるものとします。

- ④ 前項に規定する名義登録は、第31条に規定する毎計算期間の末日の翌日から15日間停止するものとします。また、この信託が終了することとなる場合は、信託終了日の直前5営業日間において名義登録を停止するものとします。

(投資の対象とする資産の種類)

第17条 この信託において投資の対象とする資産(本邦通貨表示のものに限ります。)の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産(「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。)
 - イ. 有価証券
 - ロ. デリバティブ取引に係る権利(金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、約款第23条に定めるものに限ります。)
 - ハ. 金銭債権
 - ニ. 約束手形
2. 次に掲げる特定資産以外の資産
 - イ. 為替手形

(運用の指図範囲)

第18条 委託者は、投資信託財産を、主として次の有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。)に投資することを指図します。

1. 株式
 2. 指定金銭信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。)
- ② 委託者は、投資信託財産を、第1項に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。)により運用することを指図することができます。
1. 預金
 2. 指定金銭信託(金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。)
 3. コール・ローン
 4. 手形割引市場において売買される手形

(運用の基本方針)

第19条 委託者は、投資信託財産の運用にあたっては、次の各号に掲げる運用の基本方針に従って、その指図を行います。

1. この信託は、投資信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を対象株価指数の変動率に一致させることを目的として、対象株価指数に採用されている銘柄(採用予定を含みます。)の株式を組入れることを原則とします。
2. 前号の基本方針に沿うよう、投資信託財産の構成を調整するための指図を行うこと(有価証券指数等先物取引等を利用することを含みます。)があります。
3. 市況動向や資産規模などによっては、上記の運用が行えないことがあります。
4. 投資信託財産の効率的な運用に資するため、投資信託財産に属する株式の貸付けを行うことができるものとします。
5. 株式への投資割合には、制限を設けません。
6. 外貨建資産への投資は、行いません。
7. デリバティブ取引等については、一般社団法人投資信託協会の規則に定める合理的な方法により算出した額が、投資信託財産の純資産総額を超えないものとします。

8. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、同規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

(収益分配方針)

第20条 毎計算期末に、経費等控除後の配当等収益（配当金、貸付有価証券に係る品貸料およびこれらに類する収益から支払利息を控除した額をいいます。以下同じ。）の全額を分配することを原則とします。ただし、分配金が零となる場合もあります。

- ② 売買益（評価益を含みます。）からの分配は行いません。
- ③ 収益の分配にあてなかった利益については、前条の規定に基づいて運用を行います。

(利害関係人等との取引等)

第21条 受託者は、受益者の保護に支障を生じることがないものであり、かつ信託業法、投資信託及び投資法人に関する法律ならびに関連法令に反しない場合には、委託者の指図により、投資信託財産と、受託者（第三者との間において投資信託財産のためにする取引その他の行為であって、受託者が当該第三者の代理人となって行うものを含みます。）および受託者の利害関係人、第25条第1項に定める信託業務の委託先およびその利害関係人または受託者における他の投資信託財産との間で、第17条および第18条に掲げる資産への投資等ならびに第23条、第24条、第27条および第28条に掲げる取引その他これらに類する行為を行うことができます。

- ② 受託者は、受託者がこの信託の受託者としての権限に基づいて信託事務の処理として行うことができる取引その他の行為について、受託者または受託者の利害関係人の計算で行うことができるものとします。なお、受託者の利害関係人が当該利害関係人の計算で行う場合も同様とします。
- ③ 委託者は、金融商品取引法、投資信託及び投資法人に関する法律ならびに関連法令に反しない場合には、投資信託財産と、委託者、その取締役、執行役および委託者の利害関係人等（金融商品取引法第31条の4第3項および同条第4項に規定する親法人等又は子法人等をいいます。）または委託者が運用の指図を行う他の投資信託財産との間で、第17条および第18条に掲げる資産への投資等ならびに第23条、第24条、第27条および第28条に掲げる取引その他これらに類する行為を行うことの指図をすることができ、受託者は、委託者の指図により、当該投資等ならびに当該取引、当該行為を行うことができます。
- ④ 前3項の場合、委託者および受託者は、受益者に対して信託法第31条第3項および同法第32条第3項の通知は行いません。

(投資する株式等の範囲)

第22条 委託者が投資することを指図する株式は、金融商品取引所に上場されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当により取得する株式等については、この限りではありません。

- ② 第1項の規定にかかわらず、上場予定の株式で目論見書等において上場されることが確認できるものについては、委託者が投資することを指図することができるものとします。

(先物取引等の運用指図)

第23条 委託者は、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めて取り扱うものとします。

(株式の貸付けの指図および範囲)

第24条 委託者は、投資信託財産の効率的な運用に資するため、投資信託財産に属する株式を貸付時

点において、貸付株式の時価合計額が、投資信託財産で保有する株式の時価合計額を超えない範囲内で貸付けることの指図をすることができるものとします。

- ② 前項に定める限度額を超えることとなった場合には、委託者は、すみやかにその超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- ③ 委託者は、株式の貸付けにあたって必要と認めるときは、担保の受入れの指図を行うものとします。

(信託業務の委託等)

第 25 条 受託者は、委託者と協議のうえ、信託業務の一部について、信託業法第 22 条第 1 項に定める信託業務の委託をするときは、以下に掲げる基準のすべてに適合するもの（受託者の利害関係人を含みます。）を委託先として選定します。

1. 委託先の信用力に照らし、継続的に委託業務の遂行に懸念がないこと
 2. 委託先の委託業務に係る実績等に照らし、委託業務を確実に処理する能力があると認められること
 3. 委託される投資信託財産に属する財産と自己の固有財産その他の財産とを区分する等の管理を行う体制が整備されていること
 4. 内部管理に関する業務を適正に遂行するための体制が整備されていること
- ② 受託者は、前項に定める委託先の選定にあたっては、当該委託先が前項各号に掲げる基準に適合していることを確認するものとします。
 - ③ 前 2 項にかかわらず、受託者は、次の各号に掲げる業務を、受託者および委託者が適当と認める者（受託者の利害関係人を含みます。）に委託することができるものとします。
 1. 投資信託財産の保存に係る業務
 2. 投資信託財産の性質を変えない範囲内において、その利用または改良を目的とする業務
 3. 委託者のみの指図により投資信託財産の処分およびその他の信託の目的の達成のために必要な行為に係る業務
 4. 受託者が行う業務の遂行にとって補助的な機能を有する行為

(投資信託財産の登記等および記載等の留保等)

第 26 条 信託の登記または登録をすることができる投資信託財産については、信託の登記または登録をすることとします。ただし、受託者が認める場合は、信託の登記または登録を留保することができます。

- ② 前項ただし書きにかかわらず、受益者保護のために委託者または受託者が必要と認めるときは、速やかに登記または登録をするものとします。
- ③ 投資信託財産に属する旨の記載または記録をすることができる投資信託財産については、投資信託財産に属する旨の記載または記録をするとともに、その計算を明らかにする方法により分別して管理するものとします。ただし、受託者が認める場合は、その計算を明らかにする方法により分別して管理することがあります。
- ④ 動産（金銭を除きます。）については、外形上区別することができる方法によるほか、その計算を明らかにする方法により分別して管理することがあります。

(株式売却等の指図)

第 27 条 委託者は、投資信託財産に属する株式の売却等の指図ができます。

(再投資の指図)

第 28 条 委託者は、前条の規定による売却代金、株式の清算分配金、株式の配当金およびその他の収入金を再投資することの指図ができます。

(損益の帰属)

第 29 条 委託者の指図に基づく行為により投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

(受託者による資金の立て替え)

第 30 条 投資信託財産に属する株式について、新株発行または株主割当がある場合で、委託者の申し

出があるときは、受託者は資金の立て替えをすることができます。

- ② 投資信託財産に属する株式の清算分配金、株式の配当金およびその他の未収入金で、信託終了日までにその金額を見積もりうるものがあるときは、受託者がこれを立て替えて投資信託財産に繰り入れることができます。
- ③ 第1項および第2項の立替金の決済および利息については、受託者と委託者との協議により、そのつど別にこれを定めます。

(信託の計算期間)

第31条 この信託の計算期間は、毎年2月16日から8月15日まで、8月16日から翌年2月15日までとすることを原則とします。ただし、第1計算期間は、信託契約締結日から2021年2月15日までとし、最終計算期間の終了日は第4条に定める信託期間の終了日とします。

(投資信託財産に関する報告等)

第32条 受託者は、毎計算期末に損益計算を行い、投資信託財産に関する報告書を作成して、これを委託者に提出します。

- ② 受託者は、信託終了のときに最終計算を行い、投資信託財産に関する報告書を作成して、これを委託者に提出します。
- ③ 受託者は、前2項の報告を行うことにより、受益者に対する信託法第37条第3項に定める報告は行わないこととします。
- ④ 受益者は、受託者に対し、信託法第37条第2項に定める書類または電磁的記録の作成に欠くことのできない情報その他の信託に関する重要な情報および当該受益者以外の者の利益を害するおそれのない情報を除き、信託法第38条第1項に定める閲覧または謄写の請求をすることはできないものとします。

(信託事務等の諸費用)

第33条 投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託者の立て替えた立替金の利息（以下「諸経費」といいます。）は、受益者の負担とし、投資信託財産中から支弁します。なお、受益権の上場に係る費用および対象株価指数の商標（これに類する商標を含みます。）の使用料ならびにこれらに係る消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、投資信託財産中から支弁することができます。

- ② 投資信託財産に係る監査費用および当該監査費用に係る消費税等に相当する金額は、毎計算期末または信託終了のときに投資信託財産中より支弁します。

(信託報酬等の額および支弁の方法)

第34条 委託者および受託者の信託報酬の総額は、第31条に規定する計算期間を通じて毎日、次の第1号により計算した額に第2号により計算した額を加算して得た額とします。

1. 投資信託財産の純資産総額に年10,000分の12以内の率を乗じて得た額
 2. 第24条第1項の規定に基づく投資信託財産に属する株式の貸付に係る品貸料（貸付株式から発生する配当金相当額等を含まないものとします。）に100分の50以内の率を乗じて得た額。ただし、株式の貸付けにあたって担保として現金を受け入れた場合には、当該品貸料に、当該現金の運用により生じたとみなし得る収益を加算し、貸付けの相手方に支払う当該現金に対する利息額を控除して得た額（当該額が負数のときは零とします。）に100分の50以内の率を乗じて得た額
- ② 信託報酬は、毎計算期末または信託終了のとき投資信託財産中から支弁するものとし、委託者と受託者の間の配分は別に定めます。
 - ③ 信託報酬に係る消費税等に相当する金額を、信託報酬支弁のときに、投資信託財産中から支弁します。

(収益の分配)

第35条 投資信託財産から生じる配当等収益と前期から繰り越した分配準備積立金は、第33条各号の諸費用、信託報酬および当該信託報酬に係る消費税等に相当する金額を控除し、前期から繰り越した負数の分配準備積立金があるときはその全額を補てんした後、その残額を受益者に分配

することができます。ただし、収益分配金額の調整のためその一部または全部を投資信託財産内に留保したときは分配準備積立金として積み立て、次期以降の分配にあてることができます。なお、諸費用、信託報酬等および負数の分配準備積立金を控除しきれないときは、その差額を負数の分配準備積立金として次期に繰り越します。

- ② 毎計算期末に投資信託財産から生じた第 1 号に掲げる利益の合計額は、第 2 号に掲げる損失を控除し、繰越欠損金があるときは、その全額を補てんした後、次期に繰越します。
 1. 有価証券売買益（評価益を含みます。）、先物取引等取引益（評価益を含みます。）、追加信託差益金、交換（解約）差益金
 2. 有価証券売買損（評価損を含みます。）、先物取引等取引損（評価損を含みます。）、追加信託差損金、交換（解約）差損金

（収益分配金の支払い）

第 36 条 受託者は、計算期間終了日現在において、第 16 条の受益者名簿に名義登録されている者を計算期間終了日における受益者（以下「名義登録受益者」といいます。）とし、収益分配金を当該名義登録受益者に支払います。

- ② 受託者は収益分配金の支払いについて、受益者名簿の作成した者にこれを委託することができます。
- ③ 第 1 項に規定する収益分配金の支払いは、原則として、毎計算期間終了後 40 日以内の委託者の指定する日に、名義登録受益者があらかじめ指定した預金口座等に当該収益分配金を振り込む方式により行うものとします。なお、名義登録受益者が第 16 条第 3 項に規定する金融商品取引所の会員と別途収益分配金の取扱いに係る契約を締結している場合は、当該契約に従い支払われるものとします。

（追加信託金および受益権と有価証券の交換の計理処理）

第 37 条 追加信託に相当する金額（追加信託に係る有価証券の評価額を含みます。）は、当該金額と元本に相当する金額との差額を、追加信託差金として処理します。

- ② 第 38 条に定める受益権と有価証券との交換にあたっては、交換に係る受益権口数に交換請求の受付日の基準価額を乗じて得た金額と元本に相当する金額との差額を、交換（解約）差金として処理します。

（交換の請求）

第 38 条 受益者は、自己に帰属する受益権につき、委託者に対し、当該受益権と当該受益権の投資信託財産に対する持分に相当する有価証券との交換（以下「交換」といいます。）を請求することができます。

- ② 受益者が交換請求をするときは、販売会社に対し、委託者が定める一定口数の整数倍の振替受益権をもって行うものとします。
- ③ 受益者は、2020 年 10 月 12 日以降において、自己に帰属する受益権につき、その請求の当日（委託者が別に定める時限を過ぎて請求を受領した場合は翌営業日）を交換請求受付日として、交換を請求することができます。
- ④ 委託者は、交換に際し、投資信託財産に属する有価証券の評価額をもって、それに相当する口数の受益権と交換するものとします。交換に際し、受益権の価額は、交換請求受付日の基準価額とします。この場合において、受益者が交換によって取得する個別銘柄の有価証券は、交換請求受付日における当該有価証券の評価額に基づいて計算された数とし、取引所売買単位（金融商品取引所が定める 1 売買単位をいいます。）の整数倍とします。
- ⑤ 第 1 項の規定にかかわらず、委託者は、原則として、次の各号に該当する場合は、受益権の交換請求の受付を停止します。ただし、委託者は、投資信託財産の状況、資金動向、市況動向等を鑑み、投資信託財産に及ぼす影響が軽微である等と判断される場合には、受益権の交換請求の受け付けを行うことがあります。
 1. 対象株価指数の構成銘柄の配当落日および権利落日の各々前営業日
 2. 対象株価指数の銘柄変更実施日および銘柄株数変更実施日の各々前々営業日から起算し

- て3営業日以内
3. 対象株価指数の構成銘柄の株式移転および合併等に伴う新規銘柄の対象株価指数への採用日ならびに存続銘柄の指数用株式数変更日の前営業日
 4. 第31条に定める計算期間終了日の3営業日前から起算して4営業日以内（ただし、計算期間終了日が休業日の場合は、当該計算期間終了日の4営業日前から起算して4営業日以内）
 5. この信託が終了となる場合において、償還日の直前5営業日間
 6. 前各号のほか、委託者が、第19条に定める運用の基本方針に沿った運用に支障をきたすおそれがあると判断した場合その他やむを得ない事情があると認めた場合
- ⑥ 第2項の販売会社は、振替機関の定める方法により、振替受益権の抹消に係る手続を行うものとします。なお、第6条ただし書きに掲げる業務方法書に定めるところにより、当該販売会社が、振替受益権の委託者への受渡しの債務の負担を清算機関に申し込み、これを当該清算機関が負担する場合には、当該清算機関が振替受益権の抹消に係る手続を行います。当該抹消に係る手続および第39条第4項に掲げる交換有価証券に係る振替請求が行われた後に、振替機関は、第39条第1項または第2項に定める交換に係る受益権の口数と同口数の振替受益権を抹消するものとし、社振法の規定に従い振替機関等の口座に第1項の交換の請求を行った受益者に係る当該口数の減少の記載または記録が行われます。
- ⑦ 受託者は、第39条第1項または第2項の委託者の交換の指図に係る振替受益権については、振替口座簿における抹消の手続および第39条第5項に定める抹消の確認をもって、当該振替受益権を受け入れ、抹消したものとして取り扱います。
- ⑧ 販売会社は、当該販売会社が定める手数料および当該手数料に係る消費税等に相当する金額を交換請求者から徴収することができるものとします。
- ⑨ 委託者は、金融商品取引所における取引の停止、決済機能の停止、第19条に定める運用の基本方針に沿った運用に支障をきたすおそれがあると判断した場合、その他やむを得ない事情があるときおよび委託者が必要と認めるときは、交換請求の受付の中止、交換請求の受付の取消しまたはその両方を行うことができます。
- ⑩ 前項の規定により交換請求の受付が中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行った当日の交換請求を撤回することができます。ただし、受益者がその交換請求を撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に交換請求を受け付けたものとして計算されるものとします。

（交換の指図等）

- 第39条 委託者は、前条第1項の請求を受け付けた場合には、当該請求に係る受益権と、当該受益権の投資信託財産に対する持分に相当する有価証券として委託者が指定するものとの交換を行うよう受託者に指図します。
- ② 前項の規定にかかわらず、交換の請求を行った受益者が対象株価指数の構成銘柄である株式の発行会社等である場合には、原則として、委託者は、第1項の請求に係る受益権の口数から当該発行会社の株式の個別銘柄時価総額に相当する金額に相当する口数を除いた口数の受益権と、当該受益権の持分に相当する有価証券（当該発行会社の株式を除きます。）を交換するよう受託者に指図するものとします。この場合の個別銘柄時価総額は、前条第3項の基準価額の計算日における当該発行会社の株式の金融商品取引所の終値（終値のないものについてはそれに準ずる価額とします。）に前条第1項の交換請求に係る有価証券に含まれる当該発行会社の株数を乗じて得た金額とします。なお、委託者は、当該発行会社の株式を投資信託財産において取得するために必要な経費に相当する金額を徴することができるものとします。
 - ③ 前項に該当する場合には、交換請求を行う受益者は、販売会社を通じてその旨を委託者に通知するものとします。この通知が交換請求の際に行われなかった場合において、そのことによって投資信託財産その他に損害が生じた場合には、販売会社がすべての責を負うものとします。
 - ④ 受託者は、前条第6項に掲げる手続が行われたことを確認したときには、委託者の指図に従

い、振替機関の定める方法により投資信託財産に属する交換有価証券に係る振替請求を行うものとし、第6条ただし書きに掲げる業務方法書に定めるところにより、前条第6項に掲げる交換の請求を受付けた販売会社が、振替受益権の委託者への受渡しの債務の負担を清算機関に申し込み、これを当該清算機関が負担する場合には、受託者は、同条同項に掲げる手続きにかかわらず、委託者の指図に従い、振替機関の定める方法により信託財産に属する交換有価証券に係る振替請求を行うものとし、受益者への交換有価証券の交付に際しては、原則として、交換請求受付日から起算して3営業日目から振替機関等の口座に前条第1項の交換の請求を行った受益者に係る有価証券の増加の記載または記録が行われます。

- ⑤ 委託者は、交換請求受付日の翌営業日以降、交換によって抹消されることとなる振替受益権と同口数の受益権を失効したものと取り扱うこととし、受託者は、当該受益権に係る振替受益権が交換有価証券の振替日に抹消済みであることを確認するものとし、

(受益権の買取り)

第40条 販売会社は、次の各号に該当する場合は、受益者の請求があるときは、その受益権を買取ります。ただし、第2号の場合の請求は、信託終了日の2営業日前までとします。

1. 交換により取引所売買単位未満の振替受益権が生じた場合
 2. 第13条の規定により受益権を上場したすべての金融商品取引所において上場廃止になった場合
- ② 前項の買取価額は、買取請求受付日の基準価額から、販売会社が定める手数料および当該手数料に対する消費税等に相当する金額を控除した価額とすることができます。
- ③ 販売会社は、金融商品取引所における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、委託者との協議に基づいて第1項による受益権の買取りを停止することおよびすでに受け付けた受益権の買取りを取り消すことができます。
- ④ 前項の規定により受益権の買取りが停止された場合には、受益者は買取停止以前に行った当日の買取請求を撤回することができます。ただし、受益者がその買取請求を撤回しない場合には、当該受益権の買取価額は、買取停止を解除した後の最初の基準価額の計算日に買取請求を受け付けたものとして、第2項の規定に準じて計算されたものとし、

(信託終了時の交換等)

第41条 委託者は、この信託が終了するときは、委託者が別に定める一定口数以上の受益権を有する受益者に対しては、投資信託財産に対する持分に相当する有価証券を当該受益権として振替口座簿に記載または記録されている振替受益権と引換えに交換するものとし、

- ② 前項の交換は、販売会社の営業所において行うものとし、
- ③ 第1項の交換に係る受益権の評価額は信託終了日の5営業日前の基準価額とします。この場合において、受益者が交換により取得する個別銘柄の有価証券は、信託終了日の5営業日前の日における当該有価証券の評価額に基づいて計算された数とし、取引所売買単位の整数倍とします。
- ④ 対象株価指数に採用されている銘柄の株式の発行会社等である受益者が、前項の定めによって交換する場合には、委託者は当該発行会社の株式の個別銘柄時価総額に相当する口数の受益権を買取ることを受託者に指図します。この場合の個別銘柄時価総額は、信託終了日の4営業日前の寄付き以降成行きの方法またはこれに準ずるものとして合理的な売却の方法によって当該株式を売却した額（売却するのに必要な経費を控除した後の金額）とします。
- ⑤ 前項の規定により投資信託財産が買取った受益権については、前項の個別銘柄時価総額が確定した日から4営業日目に金銭の交付を行います。
- ⑥ 販売会社は、第1項による交換を行うときは、当該受益者から販売会社が定める手数料および当該手数料に対する消費税等に相当する金額を徴することができるものとし、
- ⑦ 第1項の有価証券の交換は、原則として、交換のための振替受益権の抹消の申請が振替機関に受け付けられたことを受託者が確認した日の翌営業日から起算して3営業日目から行います。
- ⑧ 委託者は、信託終了日の4営業日前の日以降、交換によって抹消されることとなる振替受益

権と同口数の受益権（前条の規定により買取りの対象となった受益権を含みます。）を失効したものと取り扱うこととし、受託者は、当該受益権に係る振替受益権が交換有価証券の振替日に抹消済みであることを確認するものとします。

⑨ 第1項および第3項の規定にかかわらず、次の各号の場合には信託終了時の受益権の価額をもとに販売会社を買取りを行うことを原則とします。

1. 第1項において、受益者の有する口数から有価証券の交換に要した口数を控除した後に残余の口数を生じた場合の残余の口数の振替受益権
2. 第1項における一定口数に満たない振替受益権（取引所売買単位未満の振替受益権を含みます。）

⑩ 販売会社は、前項の買取りを行うときは、販売会社が定める手数料および当該手数料に対する消費税等に相当する金額を徴することができるものとします。

⑪ 信託終了に係る金銭は、信託終了日後1ヵ月以内の委託者の指定する日から、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者である販売会社に支払います。なお、販売会社は、その口座が開設されている振替機関等に対して委託者がこの信託を終了するのと引換えに、信託終了に係る金銭に相当する受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

（収益分配金の払込みと支払いに関する受託者の免責）

第42条 受託者は、収益分配金について第36条第3項に規定する支払開始日から5年経過した後に、未払残高があるときは、当該金額を委託者の指定する預金口座に払い込みます。

② 受託者は、前項の規定により委託者の指定する預金口座に収益分配金を払い込んだ後は、受益者に対する支払いにつき、その責を負わないものとします。

（収益分配金および信託終了時の交換に係る時効）

第43条 受益者が、収益分配金について第36条第3項に規定する支払開始日から5年間その支払いを請求しないとき、ならびに信託終了時の交換については信託終了日から10年間その交換請求しないときは、その権利を失い、受託者から交付を受けた金銭は、委託者に帰属します。

（信託契約の一部解約の請求の禁止）

第44条 受益者は、自己に帰属する受益権（第52条の規定に基づき、受託者が書面決議において重大な約款の変更等に反対した受益者からの請求により買い取った受益権を除きます。）につき、信託期間中において、この信託の一部解約の実行を請求することはできません。

（質権口記載又は記録の受益権の取り扱い）

第45条 振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権に係る収益分配金の支払い、交換請求の受付、交換有価証券の交付等については、この約款によるほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。

（信託契約の解約）

第46条 委託者は、信託期間中において、投資信託財産の一部を受益権と交換することにより、2023年2月15日以降の受益権の口数が500万口を下ることとなった場合もしくは、この信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託者は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。

② 委託者は、信託期間中において次の各号に該当することとなった場合は、受託者と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させます。この場合において、委託者は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。

1. 受益権を上場したすべての金融商品取引所において上場廃止となった場合
2. 対象株価指数が廃止された場合
3. 対象株価指数の計算方法その他の変更等に伴って委託者または受託者が必要と認めたこの信託約款の変更が第51条第2項に規定する書面決議により否決された場合

なお、第 1 号に掲げる事由によりこの信託契約を解約する場合には、その廃止された日に信託を終了するための手続を開始するものとします。

- ③ 委託者は、第 1 項の規定に基づいてこの信託契約を解約しようとする場合、書面による決議（以下「書面決議」といいます。）を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の 2 週間前までに、この信託契約に係る知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
- ④ 前項の書面決議において、受益者（委託者およびこの信託の投資信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託者を除きます。以下本項において同じ。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- ⑤ 第 3 項の書面決議は議決権を行使することができる受益者の議決権の 3 分の 2 以上に当たる多数をもって行います。
- ⑥ 第 3 項から前項までの規定は、第 2 項の規定に基づいてこの信託契約を解約するとき、または委託者が信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、この信託契約に係るすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。また、投資信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、第 3 項から前項までの手続を行うことが困難な場合も同じとします。

（信託契約に関する監督官庁の命令）

第 47 条 委託者は、監督官庁よりこの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令に従い、この信託契約を解約し信託を終了させます。

- ② 委託者は、監督官庁の命令に基づいてこの信託約款を変更しようとするときは、第 51 条の規定に従います。

（委託者の登録取り消しなどに伴う取り扱い）

第 48 条 委託者が監督官庁より登録の取り消しを受けたとき、解散したとき、または業務を廃止したときは、委託者は、この信託契約を解約し、信託を終了させます。

- ② 第 1 項の規定にかかわらず、監督官庁がこの信託契約に関する委託者の業務を他の投資信託委託会社に引き継ぐことを命じたときは、この信託は、第 51 条第 2 項の書面決議において否決された場合を除き、当該投資信託委託会社と受託者との間において存続します。

（委託者の事業の譲渡および承継に伴う取り扱い）

第 49 条 委託者は、事業の全部または一部を譲渡することがあり、これに伴い、この信託契約に関する事業を譲渡することがあります。

- ② 委託者は、分割により事業の全部または一部を承継させることがあり、これに伴い、この信託契約に関する事業を承継させることがあります。

（受託者の辞任および解任に伴う取り扱い）

第 50 条 受託者は、委託者の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託者がその任務に違反して投資信託財産に著しい損害を与えたことその他重要な事由があるときは、委託者または受益者は、裁判所に受託者の解任を申立てることができます。受託者が辞任した場合、または裁判所が受託者を解任した場合、委託者は、第 51 条の規定に従い、新受託者を選任します。なお、受益者は上記によって行う場合を除き、受託者を解任することはできないものとします。

- ② 委託者が新受託者を選任できないときは、委託者はこの信託契約を解約し、信託を終了させます。

（信託約款の変更等）

第 51 条 委託者は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託約款を変更することまたはこの信託と他の信託との併合（投資信託及び投資法人に関する法律第 16 条第 2 号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をい

います。以下同じ。)を行うことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。なお、この信託約款は本条に定める以外の方法によって変更することができないものとします。

- ② 委託者は、前項の変更または併合(前項の変更にあつては、その変更の内容が重大なものに該当する場合に限り、併合事項にあつてはその併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものに該当する場合を除き、以下、合わせて「重大な約款の変更等」といいます。)について、書面決議を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに重大な約款の変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託約款に係る知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
- ③ 前項の書面決議において、受益者(委託者およびこの信託の投資信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託者を除きます。以下本項において同じ。)は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- ④ 第2項の書面決議は議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。
- ⑤ 書面決議の効力は、この信託のすべての受益者に対してその効力を生じます。
- ⑥ 第2項から前項までの規定は、委託者が重大な約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、この信託約款に係るすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。
- ⑦ 前各項の規定にかかわらず、この投資信託において併合の書面決議が可決された場合にあつても、当該併合に係る一または複数の他の投資信託において当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他の投資信託との併合を行うことはできません。

(反対者の買取請求権)

第52条 第46条に規定する信託契約の解約または前条に規定する重大な約款の変更等を行う場合には、書面決議において当該解約または重大な約款の変更等に反対した受益者は、受託者に対し、自己に帰属する受益権を、投資信託財産をもって買取るべき旨を請求することができます。

(他の受益者の氏名等の開示の請求の制限)

第53条 この信託の受益者は、委託者または受託者に対し、次に掲げる事項の開示の請求を行うことはできません。

1. 他の受益者の氏名または名称および住所
2. 他の受益者が有する受益権の内容

(公告)

第54条 委託者が受益者に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。

(信託約款に関する疑義の取り扱い)

第55条 この信託約款の解釈について疑義が生じたときは、委託者と受託者との協議により定めます。

上記条項により信託契約を締結します。

2020年9月10日（信託契約締結日）

委託者 東京都千代田区平河町二丁目7番9号
農林中金全共連アセットマネジメント株式会社
代表取締役社長 吉田 一生

受託者 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
取締役社長 長島 巖

(附表)

1. 約款第 6 条の別に定める金融商品取引清算機関は、株式会社日本証券クリアリング機構とします。

